

採択者一覧

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|------------|--------------------------------|
| 兵庫県 | 上田 高蔵 | 接触機会を避けるため玉葱掘取機を導入し作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 久次目 一則 | 軽四貨物導入により接触機会を避け、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 河合 幸太郎 | 機械化により省力化を図り接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 長尾 文善 | 省力化機械の導入により、接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 安村 誠二 | 作付作業を自動化にし、人の接触を減らす作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 中山 洋司 | 省力機械を導入し作付面積を増反し売上げを伸ばす |
| 兵庫県 | 名主川 直治 | 省力化機械導入により、接触機会を避け人的効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 佃 芳圭 | 省力化機械導入により接触機会を、避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 平野 和浩 | 省力化機械の導入により接触機会を避け、作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 沖田 嘉秀 | 省力化機械導入と人手の確保し三密を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 片山 恵一 | 機械の導入により、作業の効率化を図る。 |
| 兵庫県 | 村上 幸利 | 省力化機械の導入及び、倉庫等の新築により接触を避ける。 |
| 兵庫県 | 原口 俊彦 | 省力化機械導入により、接触機会を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 久保 雅一 | 省力化機械導入により、接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 堤 茂樹 | 機械導入により、作業効率を上げ密を防ぐために一人体制をとる。 |
| 兵庫県 | 川上 祐司 | 機械化により密を避け、接触を減らし面積を維持する。 |
| 兵庫県 | 吉田 賢蔵 | 省力化機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 中家 稔行 | メッシュパレットを購入し、作業の効率化を図る。 |
| 兵庫県 | 山下 晃弘 | 収穫作業を少人数で効率よく行いまた倉庫での作業時は換気をする |
| 兵庫県 | 田村 嘉廣 | 野菜移植機で、人との接触機会を避け作業の効率化と品質の向上化 |
| 兵庫県 | 古東 信男 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 野田 吉代 | 機械導入により複数で作業していたのを1名で行う。 |
| 兵庫県 | 吉川 泰広 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 奥野 満也 | 省力化機械導入による感染症等に左右されない安定した農業経営 |
| 兵庫県 | 片岡 晴男 | 玉ねぎの収穫をアルバイトから機械にして接触機会を減らす。 |
| 兵庫県 | 金崎 由季生 | 機械導入により接触を避け作業の効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 山口 幾男 | 玉葱積み込み機械導入により人との接触を避け作業の効率を図る。 |
| 兵庫県 | 土井 秀記 | 省力化機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 太田 征二 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を向上させる。 |
| 兵庫県 | 喜田 展弘 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反 |
| 兵庫県 | 原口 育大 | 台車輸送により積み下ろし作業時の密を避け、省力化を図る |
| 兵庫県 | 土居 敬治 | 省力化・効率化を図り経営拡大による収益向上に取り組む |
| 兵庫県 | 仲野 光矩 | 玉葱収穫機導入により作業の接触機会を避け作業効率を上げ増反 |
| 兵庫県 | 前川 久光 | 省力化機械の導入により、農業の継続拡大と次世代農業への発展。 |
| 兵庫県 | 雨堤 重喜 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業の効率化をあげ増反。 |
| 兵庫県 | 秦 敬子 | 省力化機械の導入により労働力・労働時間の減少と効率化と増反 |
| 兵庫県 | 中村 裕次 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 山形 達也 | 接触が密になる人海戦術は避け機械導入で作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 上居 昭雄 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 矢野 和人 | 密集を減らし少しでも感染症リスクを減らしたい。 |
| 兵庫県 | 藤原 幸一 | 持続可能で安定的な経営 省力化による生産拡大と接触機会低減 |
| 兵庫県 | 谷 富弘 | 省力化機械を導入して接触機会を減らし作付面積を増やす。 |
| 兵庫県 | 小池 崇之 | 機械導入による接触の軽減と作業の高能率化 |
| 兵庫県 | 片山 信二 | 省力化機械の導入により、生産コスト、作業効率化を目指す。 |
| 兵庫県 | 武井 幸市 | 省力化機械を購入し今まで複数にんで行っていた作業を1人で実施 |
| 兵庫県 | 塚本 信 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 柏木 千生 | 省力機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 眞野 哲男 | 省力化機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 小畠 英明 | 省力化機械の導入で、接触を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 藤本 勇 | 省力化機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 藤本 仁志 | 新規機械の導入により接触機会を避け面積拡大を図る |
| 兵庫県 | 岩鼻 優樹 | 移植機導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 永楽 多則 | 倉庫改築による三密を防ぐコロナウイルス対策 |
| 兵庫県 | 塩浜 孝 | 機械導入により接触の機会を避け、作業性を高める。 |
| 兵庫県 | 吸原 明宏 | ネット販売を導入し、品質向上とともに広報活動を展開する。 |
| 兵庫県 | 岸野 和正 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 村居 侑 | レタス包装機導入により3密を避け作業効率も上がり増反する |
| 兵庫県 | 中野 賀世子 | 省力化機械導入により作業効率を上げて増反し、売上を回復する。 |
| 兵庫県 | 水本 次郎 | 省力化機械導入で玉ねぎ品種を早生にシフトし売上回復拡大をする |
| 兵庫県 | 松本 光雄 | 機械化し密接作業を避け作業場の清掃と換気を行い予防につとめる |
| 兵庫県 | 菊井 洋輝 | 省力化機械導入により、他者との接触機会を避ける。 |
| 兵庫県 | 中川 勝喜 | 機械化導入で省力化し接触機会を避け作業効率向上で増反する。 |
| 兵庫県 | 三善 秀夫 | 省力化機械の導入により人を雇わずに一人で農作業を行う。 |
| 兵庫県 | 船越 裕正 | 新規機械導入で接触機会削減、作業効率UPと高品質野菜を実現 |
| 兵庫県 | 上村 真司 | 安心安全環境下で作業効率向上を図り増反に努める。 |
| 兵庫県 | 齊藤 勝 | 接触機会を避ける為、省力化機械導入、増反が出来、労力減少 |
| 兵庫県 | 坂本 裕司 | ピッカーを導入し、接触機会を避け、面積拡大に努める。 |
| 兵庫県 | 桜木 克則 | 接触機会を減らして効率と環境を良くし、健康な子牛を育てる。 |
| 兵庫県 | 奥井 正紀 | 研修生の雇入れと、機械力により作業効率を上げた。 |
| 兵庫県 | 阿部 卓也 | 省力化機械導入により、接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 藤岡 聡 | 運搬車輛を増車する事により、各自保有する事ができる。 |
| 兵庫県 | 倉本 英城 | 作物の収穫 出荷時に作業効率を良くして、密集すること避ける |
| 兵庫県 | 赤松 正幸 | 省力化機械の導入により1人が出来、人との接触を避けられる。 |
| 兵庫県 | 祖山 曉而 | 作業着を導入することにより作業の効率を図る |
| 兵庫県 | 濱口 佳弘 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 濱川 保男 | 省力化機械を導入し作業効率を上げ増反する。接触機会を避ける |
| 兵庫県 | 藤井 孝春 | 省力化機械導入により、接触機会を減らし作業効率を上げる。 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|------------|--|
| 兵庫県 | 植野 真弓 | 省力化機械導入による接触機会の回避と生産効率向上増反取り組み |
| 兵庫県 | 井実 和紀 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 高木 清史 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率上げ増反する |
| 兵庫県 | 藪田 昌士 | 省力化機械導入により少人数でも作業効率が上がるようにしたい。 |
| 兵庫県 | 山本 益充 | 省力化機械導入により接触機会を減らし作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 田中 研次 | 省力化機械導入や運搬用軽トラック購入により接触機会を低減し、作業効率を上げ増反す |
| 兵庫県 | 乙井 康弘 | 省力化機械を導入し、接触機会を避け作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 古池 功 | 玉葱移植機導入により接触機会を減らし作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 木田 益寿 | きちまる農園開設により商品のブランド化。 |
| 兵庫県 | 川上 圭介 | 機械導入により複数名での作業を減らし一人作業を増やす |
| 兵庫県 | 三好 敬二 | 玉葱収穫機の導入により作業の接触機会減少作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 山崎 忠孝 | 省力化機械導入で接触機会を避け機械共用できる特産物作りを行う |
| 兵庫県 | 安田 豊 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 栗原 英俊 | 省力化機械を導入する事で人との接触を減少させ効率化を図る |
| 兵庫県 | 位高 慶亮 | 省力化機械導入により3密防止を図り、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 榎本 千恵美 | 運搬車追加により作付増反に対応かつ密接を避ける |
| 兵庫県 | 坂本 頼保 | 手作業による密を回避する為に機械の導入による一人作業 |
| 兵庫県 | 野田 博 | 省力化機械により、家族作業、共同作業の接触機会を避ける |
| 兵庫県 | 馬話 裕也 | 機械の導入により、接触を減らし、省力化で作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 橋本 和明 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 溝口 保夫 | 機械化体系を確立し、接触機会を避け作業効率をあげ増反する |
| 兵庫県 | 前田 勉 | 機械の購入によりコロナ感染の影響を少なくする。 |
| 兵庫県 | 山口 久夫 | 高品質作物を作る事により優位的販売を目指します。 |
| 兵庫県 | 岸上 広樹 | 省力化機械導入により、接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 野口 義英 | レタス作付拡大のための高処理能力機械の導入 |
| 兵庫県 | 橋本 政昭 | 機械を導入し、なるべく手作業を控え、密をさける |
| 兵庫県 | 藤川 寛葵 | ボール打ち機を導入し1人で作業をし効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 神木 伸啓 | 良い品物を効率良く生産し、家族経営から法人化を行い安定供給。 |
| 兵庫県 | 中西 顯次 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率上げ増反する |
| 兵庫県 | 竹川 大輔 | webページ充実による新たな販路開拓とPR活動 |
| 兵庫県 | 里深 隆史 | リフトを導入して密接を避けながら作業効率を上げ、軽減を図る |
| 兵庫県 | 矢野 昌美 | ハウス導入により多人数での作業による接触機会を軽減する |
| 兵庫県 | 尾瀬 栄 | 現在のマルチャーは2軒共同使用しており今回単独機械導入により効率化を計る |
| 兵庫県 | 居内 育代 | 省力化機械の導入により、接触機会をさげ、作業効率をあげる。 |
| 兵庫県 | 武田 剛 | 省力化機械の導入により接触機会を避け、作業効率を上げたい。 |
| 兵庫県 | 廣内 邦夫 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 山田 和弘 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反を図る |
| 兵庫県 | 真野 知 | 機械を導入により、作業効率が上がり、労力が楽になる。 |
| 兵庫県 | 富山 勝己 | 省人化機械導入による栽培管理体制の強化と売上の向上 |
| 兵庫県 | 西村 泰雄 | 人との接触をさける意味での省人化による生産効率の向上 |
| 兵庫県 | 藤原 清一 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率上げ増反する |
| 兵庫県 | 山口 高司 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ面積を増反 |
| 兵庫県 | 阿部 由香子 | 新しく米作に挑戦しようと思う |
| 兵庫県 | 榎本 晃秀 | リフト導入 収穫作業効率上げ圃場から直接出荷倉庫内作業無くす |
| 兵庫県 | 藤本 典生 | コロナの感染防止と作業場の環境改善 |
| 兵庫県 | 藤本 和宏 | 省力化機械導入により少人数体制でも出来る作業の効率化 |
| 兵庫県 | 坂 秋男 | マスク、アルコール消毒の徹底を行います。 |
| 兵庫県 | 山口 勝 | レタス包装機の導入により接触機会をさげ作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 安田 英世 | 機械導入により雇用を減らし接触をさける。作付面積を維持する。 |
| 兵庫県 | 森原 弘喜 | 省力化導入し接触機会を避け作業スペースを広げ人材確保したい |
| 兵庫県 | 矢野 順三郎 | 省力化機械導入による接触機会の減少と人間、機械の消毒の確立 |
| 兵庫県 | 嶋 雅夫 | 省力化機械導入で接触機会を避け作業効率を上げ維持向上を図る。 |
| 兵庫県 | 近藤 嘉之 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 片山 恭宏 | 省力化機械化により、接触を少なくする。効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 吉田 文洋 | 省力化機械導入により、接触機会を避けながら作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 仲野 周次 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 増田 耕二 | 三毛作の拡大による「作業効率アップ」の機械購入作戦 |
| 兵庫県 | 前田 光一 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 桐本 尚 | 収穫作業省力化で作業の能率を上げ品質の良い玉葱を出荷する。 |
| 兵庫県 | 曾根 健 | 省力化機械導入により接触機会を減らし作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 奈良 敬宏 | 省力化機械の導入、吊り玉ねぎよりコンテナ採集へ移行する。 |
| 兵庫県 | 納 敏和 | 省力化機械導入し接触機会を下げ作業効率を上げ長期間経営する |
| 兵庫県 | 野上 吉郎 | 部外者との接触、立入の制限 |
| 兵庫県 | 中山 三千夫 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 岡居 修二 | 機械導入により、作業人員を分散して効率を上げ増産する。 |
| 兵庫県 | 森 英久 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 矢野 暢久 | 効率化を図るため、省力化機械を導入し、接触機会を減らす。 |
| 兵庫県 | 山崎 弘 | 省力化機械導入により接触機会を避け、作業効率をあげたい。 |
| 兵庫県 | 山口 正 | 省力化機械導入により、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 吉田 慎太郎 | アルバイトが来れないので、機械導入が必要。 |
| 兵庫県 | 吉田 昌史 | 感染防止に繋がる省力化機械導入で作業力確保と生産量増加を図る |
| 兵庫県 | 正木 義徳 | 移植機導入で時間的効率を上げ、増反により売上も増加させる。 |
| 兵庫県 | 入谷 友章 | 機械購入により接触を避け、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 国中 昭二 | 効率を重視した、作業分担により、3密を避けた作業に努める |
| 兵庫県 | 土居 健二 | 省力化機械の導入により接触機会を少なくし作業効率化を行う。 |
| 兵庫県 | 森本 直樹 | 玉葱作付面積を維持するため作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 中原 和美 | 省力化機械導入により、作業効率を上げ、接触機会が減少できる。 |
| 兵庫県 | 宮崎 芳行 | 接触が軽減する。仕事の効率化と、良質時の収穫、増反。 |
| 兵庫県 | 村上 あけみ | 省力化機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 仲田 勝美 | 機械を導入す、人と人との接触を避けて、作業効率を上げる |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|-----------------------------|---------------------------------|
| 兵庫県 | 丸田 祐二 | 玉葱作業の接触を避けながら玉葱の収穫、出荷を行なう。 |
| 兵庫県 | 堀井 昭三 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 野口 政司 | 接触機会を減らす省力化機械導入作業効率を上げ生産性増大を図る |
| 兵庫県 | 濱口 晴一 | 接触機会低減と省力化高率化につながる機械を導入する |
| 兵庫県 | 原淵 聖治 | 省力化機械を導入しインターネット販売などで売り上げ向上を目指す |
| 兵庫県 | 仲野 良昭 | 機械導入により、接触機会を減らし、かつ生産性を向上させる |
| 兵庫県 | 北内 秀樹 | 省力化、機械導入はもとより各個人の緊張と努力が必要である |
| 兵庫県 | 富長 寛 | 省力化機械を導入、作業員間の接触機会を減らし、規模を拡大する |
| 兵庫県 | 角所 亨 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 山上 芳敬 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 木下 稔基 | 省力化機械導入により接触機会を減らし作業効率・品質を改善 |
| 兵庫県 | 中田 佳克 | たまねぎ移植の機械化による人力削減と感染の防止 |
| 兵庫県 | 原口 敏明 | 新しく機械導入による作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 片山 浩一 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 柏木 皓 | 人と人の接触を減らす玉葱拾い上げ機械の導入と無人販売の導入 |
| 兵庫県 | 下野 貴大 | 省力化機械の導入と接触機会を避けるための作業場拡張。 |
| 兵庫県 | 原口 晴基 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 坂本 龍亮 | 機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ出荷量を増やす |
| 兵庫県 | 大谷 和広 | 省力化機械の導入により3密を防止し作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 平野 善一 | 機械の導入により力仕事を減らし作付けを増やしていく。 |
| 兵庫県 | 榎本 晃治 | 機械導入により接触機会を減らし作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 武田 憲人 | 玉葱収穫の手作業を機械化し、作業員の接触機会と労働時間を減少 |
| 兵庫県 | 前山 修治 | 販売価格が下がったため、飼育頭数を増頭し、販売頭数をふやす。 |
| 兵庫県 | 彦坂 登 | 他より品質の良い農産物を引き続き生産する。 |
| 兵庫県 | 上島 正純 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 祖山 彰文 | 省力化機械導入により、接触機会を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 武市 和也 | 倉庫内作業の3密状態(密閉、密集、密接)を改善する。 |
| 兵庫県 | 榎本 昭博 | 野菜苗移植機導入による作業効率向上と接触機会の回避 |
| 兵庫県 | 田村 俊樹 | 機械の導入をし、密を避け、作業効率を上げ売り上げに努めたい |
| 兵庫県 | 石金 政宏 | 養牛カメラ導入による出産時の事故を減らすための事業。 |
| 兵庫県 | 小井 豊 | 省力化機械の導入で接触機会を避け、作業効率を上げ増反に対応 |
| 兵庫県 | 土田 れい子 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ、増産する。 |
| 兵庫県 | 西濱 芳浩 | 省力化機械を導入し、コスト削減と高品質な農産物を作る。 |
| 兵庫県 | 山口 将輝 | 運搬車の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 前川 務 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 木曾 忠司 | 増台することで圃場まで別々に移動して3密を防ぐ。 |
| 兵庫県 | 野上 雅一 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 奈良 照久 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 中山 克己 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 宮本 昌彦 | 省力化機械同により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 川西 正人 | 作業場の使わない物は外へ出し、できるだけ広く作業場を使う。 |
| 兵庫県 | 榎本 繁秋 | 個人購入ではあるが組合員に貸し出し全員が効率向上となる |
| 兵庫県 | 久米 正純 | 省力化機械の導入により、接触機会が減少し作業効率がUPする |
| 兵庫県 | 坂東 真二 | 省力化機械を導入し接触機会をさげ、高価格野菜を作りたい。 |
| 兵庫県 | 石上 広之 | 省力化機械を取り入れ接触を避け効率を上げ生産を増やしたい。 |
| 兵庫県 | 上田 融 | 今まで手作業でしていたのを機械を入れて人と人の密集をなくす。 |
| 兵庫県 | 権原 幸博 | 機械の導入により作業の効率を上げ体力を維持したい。 |
| 兵庫県 | 田村 真次 | 人を雇うよりフォークリフトを導入し人との接触を避け玉葱を作る |
| 兵庫県 | 入谷 隆史 | 収穫機械の導入により、特に単独と成り果たせる様な体制を取る。 |
| 兵庫県 | 天田 忠 | 機械導入により接触機会を減少させ作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 沼田 日出男 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 谷 重弘 | 機械導入し接触密度を避け、作業効率を上げたい。 |
| 兵庫県 | 出口 欽一 | 堆肥散布システム構築により省力化(労力軽減)と感染防止を図る |
| 兵庫県 | 株式会社エイシン (代)黒田英豊 | 作業内容を分散し、3密を避け、出勤時間をずらす。 |
| 兵庫県 | 村上 昌子 | 機械化により接触を減らす。 |
| 兵庫県 | 前田 幸男 | 作業に手間取るので、機械導入で作業効率を良くする。 |
| 兵庫県 | 株式会社アクアヴェルデAWAJI 代表取締役 豊田公隆 | 環境適応型施設園芸を開始し、露地栽培とハイブリット農業の確立 |
| 兵庫県 | 奈良 祥午郎 | 機械収穫により、人と人の接触を減らし、感染リスクをなくす。 |
| 兵庫県 | 加野 雅則 | 野菜施設を整備し、作業効率を上げ、売り上げ拡大を行う。 |
| 兵庫県 | 村本 任 | 省力化機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 富山 安友 | 省力化機械導入により接触機会を作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 山口 喜壹 | 機械化3密避ける集出荷作業省力化薬草野菜携わるブランド力UP |
| 兵庫県 | 真野 梅治 | 機械導入により省力化と土物、葉物野菜の増反を図る |
| 兵庫県 | 小島 仁 | 輸入が困難となるため自国生産が重要となる |
| 兵庫県 | 河井 利澄 | 衛生面に特に気を配り、体調に気を付ける過重労働にしない。 |
| 兵庫県 | 前川 泰仁 | 機械導入で少人数での作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 田中 茂晴 | 省力化機械の導入で作業効率を上げ農産物を適宜収穫で質を上げる |
| 兵庫県 | 太田 成則 | 接触機会の減少と生産拡大により、持続可能で安定的な経営。 |
| 兵庫県 | 真野 順隆 | 機械導入によって接触機会をさげ作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 大谷 修 | 直売での消毒の徹底、密にならないように客の動線を配慮した販売 |
| 兵庫県 | 山村 千秋 | 省力化機械の導入により作業員の接触機会をさげ作業効率を図る |
| 兵庫県 | 田崎 一広 | 省力化機械軽四貨物導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反 |
| 兵庫県 | 金一 寿彦 | 効率的な機械化により生産性、安全性を図り作業効率を上げたい。 |
| 兵庫県 | 阿部 康弘 | 省力化機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 坂口 賀信 | 省力化機械の導入により接触機会を減らし、農作業の効率化を図る |
| 兵庫県 | 神田 拓治 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げたい。 |
| 兵庫県 | 阿部 周二 | 省力化機械導入により作業効率がよくなる |
| 兵庫県 | 山際 浩之 | 省力化機械導入により接触をさげ、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 立川 多津子 | マルチをすることで作業の効率を上げレタスの三毛作に取り組む |
| 兵庫県 | 谷田 禎利 | 省力化機械導入により、共同作業の削減及び作物の品質向上を図る |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|-----------------|-----------------------------------|
| 兵庫県 | 石川 剛士 | 農業用ハウスの環境整備と省力化機械導入により生産性向上を図る |
| 兵庫県 | 吉田 政和 | 人手を確保できないので機械を買いたい |
| 兵庫県 | 小林 正幸 | 省力化機械の導入により、接触機会を避け作業効率の向上に努める |
| 兵庫県 | 山本 哲雄 | 省力化導入を図り、3密の回避を徹底し作業効率をあげる |
| 兵庫県 | 山本 篤史 | ロボット機械導入することで作業時の接触をへらし、品質向上する。 |
| 兵庫県 | 山田 充 | 省力化機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 竹淵 勝司 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 黒田 安重 | 省力化機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 増田 剛 | 省力化機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 服部 祐治 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 富本 泰夫 | 省力化機械導入により効率を図る。 |
| 兵庫県 | 三野 弘二 | 玉葱定植機械により、未経験者矜持の為、接触不要並びに効率化 |
| 兵庫県 | 的崎 佳史 | 機械導入で増反していきたい。 |
| 兵庫県 | 畠田 幹生 | 機械導入により人との接触を避け作業効率をあげる。 |
| 兵庫県 | 長尾 文和 | 包装機による接触機会削減と空気清浄機による空間の消毒 |
| 兵庫県 | 中山 光正 | 出荷用車両の増大と省力機械を導入し接触機会を削減する。 |
| 兵庫県 | 山口 貴史 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上昇できます。 |
| 兵庫県 | 南 義晴 | 省力化機械導入による作業の効率化と感染予防。GAPの取得。 |
| 兵庫県 | 久米 啓右 | 玉葱収穫機の高度化で接触機会の回避と作業性を向上し増反、増収 |
| 兵庫県 | 和田 典之 | 省力機械導入により、接触機会を避け、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 青山 智哉 | 機械導入により密を避け、労働力を安定させ増反を目指す。 |
| 兵庫県 | 真野 勉 | 省力化機械導入により品質の高い作物を効率的に計画生産出荷する |
| 兵庫県 | 山口 和彦 | 機械の導入により省力化する。 |
| 兵庫県 | 新納 卓司 | 機械導入により稲作面積を拡大し作業効率を上げたい。 |
| 兵庫県 | 奥野 隆 | 省力機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ品質向上させる |
| 兵庫県 | 森田 晃史 | 野菜移植機の導入により、接触機会を避け、作業効率化を図る |
| 兵庫県 | 廣内 克幸 | 3密を避ける作業内容にする 倉庫、窓を開放して作業する |
| 兵庫県 | 松下 美佐子 | 省力化機械導入により、接触機会を避け作業効率を上げ増反を図る |
| 兵庫県 | 近藤 幸常 | 省力化と機能的な経営、感染防止対策を講じつつ規模拡大を図る |
| 兵庫県 | 松野 和博 | 畝立施肥機の導入により、接触機会を避け作業効率を上げ20%増反 |
| 兵庫県 | 村上 凱宏 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 原 貞信 | 機械の老朽化で手作業が多くなり接触機会を避ける為導入する |
| 兵庫県 | 赤松 慶久 | 玉葱仕上機の導入で接触機会を避けるとともに作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 柏木 英之 | 省力化の為玉葱収穫機を導入し接触機会の減、作業効率の向上 |
| 兵庫県 | 裏川 勝則 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 森西 昌宏 | 定植作業の為の雇人の必要もなくなり、3密の回避が出来る。 |
| 兵庫県 | 山下 大輔 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 阿部 錦也 | 玉ねぎピッカー導入による労働力確保 |
| 兵庫県 | 阿部 宮三 | 田植機を大きなのにして面積を増やした。 |
| 兵庫県 | 阿部 幸弘 | 省力化機械導入により接触機会を減らし作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 藤本 逸雄 | 機械を導入して人手不足を解消し、生産量を減らさない。 |
| 兵庫県 | 森本 容充 | コロナに負けないで物づくりにはげみ生産を増やしていきたい。 |
| 兵庫県 | 浅田 佳男 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げて増反する |
| 兵庫県 | 櫻本 雄志 | 省力化機械で、接触機会を減らし、作業の効率化で増反し収入増 |
| 兵庫県 | 稲山 益男 | 機械化を一層進めることにより、収入の回復を計る。 |
| 兵庫県 | 仲山 勝己 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 高田 和也 | 省力化機械導入による効率向上での増反と接触機会の減少 |
| 兵庫県 | 原田 洋志 | 接触機会を減らし省力化機械を導入し効率を上げ作付面積を増やす |
| 兵庫県 | 眞浦 芳行 | コロナ時代に適応した省力化、機械導入による人的接触減少 |
| 兵庫県 | 伊吹 恵一 | 車の導入により接触を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 浜田 久吉 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反につなげる。 |
| 兵庫県 | 福原 文雄 | 人との接触を減らし、なるべく機械を使う。 |
| 兵庫県 | 桑川 昌司 | 機械導入により接触を減らしたりネット販売などの販路を作る。 |
| 兵庫県 | 長尾 一成 | 密を避ける為、複数での作業を機械化 野菜移植機など購入したい |
| 兵庫県 | 奈良 美宏 | 機械導入により共同利用者との接触機会を減らし増反する。 |
| 兵庫県 | 正木 光雄 | 機械導入により接触をさげ農作業の能率を上げ玉葱の増反を図る。 |
| 兵庫県 | 小西 顯二郎 | 省力化の機械の導入により、密接をなくし、省力向上を行える。 |
| 兵庫県 | 廣岡 茂久 | 省力化機械の導入による接触機会を軽減する。 |
| 兵庫県 | 東 昌司 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げて増反する |
| 兵庫県 | 田中敏裕 | 機械化を推進し省力化、接触機会減を図り規模拡大を目指す。 |
| 兵庫県 | 北川 忠彦 | 機械導入により作業人員の減少をはかり感染機会を減らす。 |
| 兵庫県 | 高川 和久 | 機械導入により接触機会を避け反収の向上に努める。 |
| 兵庫県 | 金谷 昭 | 省力機械導入により、接触機会を避け作業効率を上げ、増反に取り組む。 |
| 兵庫県 | 榎本 彰 | 省力化機械導入により作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 安田 公哉 | 玉葱調整機導入により接触機会を避け作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 島田 典和 | 人員を減らして接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 田村 進 | 省力機械(ロボット)導入により作業効率上げ増収増益を目指す。 |
| 兵庫県 | 西田 安男 | 機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 藤本 好信 | 機械導入によって人間どうしの接触を少なくし、作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 奥野 隆史 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げて増反する |
| 兵庫県 | ㈱youふぁーむ(代有賀雄一) | 省力化の機械を導入することで接触機会を避け作業の効率化を図る |
| 兵庫県 | 上田 龍司 | 省力機械化を行いキャベツを増やしていこうと思っています。 |
| 兵庫県 | 仲田 薫 | 省力化機械導入により、接触機会を避け、良い品質の作物を作る。 |
| 兵庫県 | 喜田 能正 | 省力化機械導入により、家族経営での増反と効率化を行う。 |
| 兵庫県 | 斉藤 みつる | 移植機を導入して三密を避けて作業効率を上げて増反する。 |
| 兵庫県 | 山直 直樹 | 省力化機械導入により、密接状態を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 片山 寛 | 機械の導入により、作業効率や労働時間を減らす事ができる。 |
| 兵庫県 | 不動 茂木 | 機械導入により作業効率化 |
| 兵庫県 | 引田 実 | 省力化機械の増強により、接触機会を回避して作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 平 一孝 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げて増反する |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|-----------------------|-----------------------------------|
| 兵庫県 | 里深 幸夫 | 機械導入により雇用人数を減らし、人との接触を避ける。 |
| 兵庫県 | 秦野 耕一 | 野菜移植機の導入により、接触を減らし、作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 中田 晶夫 | レタス包装機追加導入による生産性向上と労働環境の改善。 |
| 兵庫県 | 河井 努 | 時間短縮や接触を減らす為、省力化機械導入をしたい。 |
| 兵庫県 | 菅 康人 | 出荷作業省力化の機械導入により作業効率を上げ、増反する。 |
| 兵庫県 | 齊藤 勝治 | 省力化機械導入で、接触機会を避け作業効率を上げ、増収する。 |
| 兵庫県 | 平野 修二 | 機械導入して能率化を図りたい。 |
| 兵庫県 | 藤江 均 | 玉ねぎ収穫機の導入及びコロナ感染予防の徹底 |
| 兵庫県 | 橋本 努 | 玉葱収穫機の導入により接触機会を避け作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 出口 敏昭 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 肥田 和明 | 省力化機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 園生 成人 | 省力化機械導入により、密になる接触時間を減少させる。 |
| 兵庫県 | 江本 弘幸 | 乗用マルチャー導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 廻角 素輝 | 畝立て専用機の導入により接触機会を減らし、効率化・増反する。 |
| 兵庫県 | 滝古 章二 | マルチを張ることで、品質の良い安全で綺麗なレタスを生産。 |
| 兵庫県 | 鈴木 明子 | 安全性の高い作物を作るために接触機会を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 浜崎 昌弘 | 機械の導入により、省力化を図り、人との接触を最小限に抑える。 |
| 兵庫県 | 浜本 純一 | 省力化機械の導入により作業の効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 榎本 統 | レタスクリーン出荷、作業場消毒時間確保の為機械化 |
| 兵庫県 | 庄田 正義 | 機械化によって密着を無くし、作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 江本 憲二 | 機械を導入により効率よくしております。 |
| 兵庫県 | 豊田 雅一 | 機械の導入により多品種の生産が可能となり経営の安定化を図る |
| 兵庫県 | 中山 揮三郎 | 省力化機械導入により、少人数でも効率向上によって売上をあげる |
| 兵庫県 | 山岡 進 | 機械化し作業人員を減らす密をさける為 |
| 兵庫県 | 加藤 彰一 | 省力化機械の導入で人員削減を図り密接を避け効率向上を目指す |
| 兵庫県 | 以頭 勇作 | 省力化機器の導入と3密を避け作業の効率化を上げる。 |
| 兵庫県 | 坂本 博文 | 省力機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 佐藤 博 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業しようと思っている |
| 兵庫県 | 山崎 泰秀 | 機械化導入により3密を回避しコロナ感染防止を図る |
| 兵庫県 | 赤穂 文子 | 一人でも農作業が出来る様省力化の機械導入する。 |
| 兵庫県 | 河淵 節子 | 牧草収穫機と大型換気扇の導入による生産性向上と環境の改善 |
| 兵庫県 | 箕浦 達二 | 機械導入による省力化で、接触機会が避けられ、効率も上がる。 |
| 兵庫県 | 原 佳男 | 省力化機械の導入により、人の接触を減らし、感染症を防止する。 |
| 兵庫県 | 福原 久勝 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 剛 一夫 | 機械導入により省力化。接触機会を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 大浜 昌治 | 機械導入により作業効率を上げ、接触機会も減らして増反を行う。 |
| 兵庫県 | 大住 恵康 | 機械導入により人との接触を避け、安全に作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 中島 光利 | 育苗機の利用とプラウ耕起によるレタス管理作業の効率化。 |
| 兵庫県 | 岡本 隆文 | 接触機会を避け省力化機械導入により作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 釜井 慎一 | 省力化機械導入により、接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 桑川 和央 | 省力化機械導入による接触回避を計る。 |
| 兵庫県 | 宇山 昭彦 | 野菜移植機を導入することにより3密の内の接触削減に取り組める |
| 兵庫県 | 上村 邦弘 | 省力機械を導入し、接触機会を避け、作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 松尾 年充 | 省力化機械を導入し、接触機会を減らし作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 芝先 健治郎 | 省力化機械導入により、接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 吉田 一晶 | 機械を導入し、接触機会をさける |
| 兵庫県 | 菅浦 達也 | 省力化機械を導入し、地元中山間地域の活性をしていきたい |
| 兵庫県 | 安田 文洋 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率上げ増反する |
| 兵庫県 | 島田 将之 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率上げ増反する |
| 兵庫県 | 市川 とよ子 | 機械の導入による人手の必要な作業の少人数化を図る |
| 兵庫県 | 藤井 晶介 | 機械導入により、作業効率を上げて増反する接触機会を避ける |
| 兵庫県 | 久田 弘弘 | たまねぎ収穫機導入による生産性向上と労働環境の改善 |
| 兵庫県 | 下川 省一 | 省力化機械の導入により接触機会を避け出荷量の回復を図る。 |
| 兵庫県 | 荒井 誠次 | 省力化機械の導入により接触機会を避け、作業効率向上を図り増反する。 |
| 兵庫県 | 北岡 節二 | 省力化機械導入により接触機会を減らし作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 金山 俊行 | 省力化機械の導入により接触機会を避け、作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 前川 博司 | 全自動野菜移植機による接触機会低減事業 |
| 兵庫県 | 松下 和義 | 全自動移植機の導入により、作業員を3人から1人へ減らす。 |
| 兵庫県 | 秦 友保 | 三毛作農業による淡路島ブランドを安心して持続経営できる農業 |
| 兵庫県 | 上田 佳宏 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げたい。 |
| 兵庫県 | 株式会社A&H | 玉ねぎ収穫作業における省力・省人化 |
| 兵庫県 | 堤 きよみ | 手数料の縮減と高付加価値化を図り、売上を回復する。 |
| 兵庫県 | 前田 重徳 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率上げ増反する |
| 兵庫県 | 榎本 有見子 | 省力化機械導入により、接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 株式会社はらだ (代原田勇) | 玉葱掘り取り機の導入による収穫作業の省力化 |
| 兵庫県 | 谷本 尚之 | 歩行4条玉葱移植機導入事業 |
| 兵庫県 | 鈴木 俊和 | 田植え機の追加導入 |
| 兵庫県 | 株式会社佑宜 | 省力化機械の導入により品質の向上及び売り上げの向上となる |
| 兵庫県 | 西岡 一博 | 省力化機械の導入により、接触機会を避け、作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 阿萬 尚大 | 移植機導入により接触機会を避け作業効率を上げ品質向上増反する |
| 兵庫県 | 安田 計二 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 田村 定次 | 機械導入により密の時間を少なくし、作業効率を上げ、増反する。 |
| 兵庫県 | 立川電工業株式会社 代表取締役 立川 善久 | 増反。レタス包装機導入で密接を避け作業効率を上げ耕作面積維持 |
| 兵庫県 | 後藤 新一 | 機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げ、継続生産する。 |
| 兵庫県 | 白瀬 英明 | 機械化と省力化、規模拡大による経費削減策 |
| 兵庫県 | 榎本 清一郎 | 機器の配置転換し、ウィルス対策として喚起改善し効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 神田 一彦 | 人数を必要な作業を機械化し、最小限の作業員で栽培する。 |
| 兵庫県 | 嶋本 和昭 | 省力化機械導入により接触機会を減らし作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 田辺 良雄 | 省力化機械導入により、人と人との接触を避け、増反を図る。 |
| 兵庫県 | 近藤 拓也 | 機械導入より計画通りの作付可能。3密を避け作業効率上げ増反。 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|------------|---------------------------------|
| 兵庫県 | 黒田 吉郎 | 省力化機械導入により接触を避け作業効率を上げることができる。 |
| 兵庫県 | 藤井 健治 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 今出 和豊 | 省力化機械導入により接触の機会を避け作業を簡素化し増反する。 |
| 兵庫県 | 土居 博美 | 機械導入により、自力で飼料作物を育て、飼料費を削減する。 |
| 兵庫県 | 田中 章文 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を向上し増反する。 |
| 兵庫県 | 道上 延彦 | 省力化機械導入により外部労力を減し、他人との接触機会を減す。 |
| 兵庫県 | 小西 敏充 | 省力化機械導入により、接触機会を避け作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 田中 良美 | 省力化機械の導入、作業員間の接触を減らし、作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 高田 尚 | 接触機会を避け、感染のリスクを下げ、たまねぎ面積を増反する。 |
| 兵庫県 | 位高 正直 | 玉葱取り入れ機械の導入により作業時の接触機会減少を図る |
| 兵庫県 | 前川 敏博 | 機械の導入により省力化及び接触機会を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 川上 命 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 武田 佳則 | 省力化機械導入により、少人数で適期収穫を行い増反する |
| 兵庫県 | 池田 仁 | フォークリフト導入による作業の合理化 |
| 兵庫県 | 下賀 淳司 | 省力化機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 豊原 庄二 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 古住 和章 | 作業員を家族のみとし、他者との接触をなくす |
| 兵庫県 | 仲野 長利 | 労働力確保困難の玉葱苗移植機、玉葱収穫機を導入します。 |
| 兵庫県 | 秦 健 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 山形 博昭 | 省力化機械導入により接触機会を避け、作業効率の向上を図る |
| 兵庫県 | 中田 達雄 | 省力化機械の導入により接触機会を減らして農業の維持に務める。 |
| 兵庫県 | 藤川 俊次 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ、増反する。 |
| 兵庫県 | 田中 一夫 | 機械を入れて密を無くす。 |
| 兵庫県 | 仲田 武明 | 運搬車両の増設とパソコンによる電子申請等を活用する。 |
| 兵庫県 | 上田 順裕 | 労働力確保が困難な為、機械導入で省力化を図り、増反を目指す。 |
| 兵庫県 | 安田 敏弘 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反に取り組む |
| 兵庫県 | 榎本 至宏 | 作業員の間隔を2m以上空けて密を避けて作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 植野 恭子 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 阿部 雅一 | 購入者の要望に応えるため、機械化を図り玉葱を増産する |
| 兵庫県 | 北崎 義幸 | 省力化機械導入により、接触機会を避け、作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 藤原 芳晴 | 省力化機械の導入により接触機会を避け効率化を図り増反する。 |
| 兵庫県 | 阿部 展也 | ピッカー導入で省力化を図りたい |
| 兵庫県 | 新田 禎彦 | 省力化機械導入で接触機会を避け作業効率を上げ経営の継続を図る |
| 兵庫県 | 上島 一成 | 玉葱ピッカーの導入による作業効率向上と雇人との接触機会の軽減 |
| 兵庫県 | 齊藤 良典 | 作業効率を高めるため出来る限りワンマン作業へ移行 |
| 兵庫県 | 宮下 孝司 | 省力機械導入で密を避け安心して作業ができるので増反できる |
| 兵庫県 | 中村 十美子 | 機械の導入によって、人との接触も少なくなり経営継続できる。 |
| 兵庫県 | 田浦 昇 | 収穫機の導入により、接触機会をさげ、作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 浜田 勝美 | 省力化機械等により接触機会を避け、作業効率を上げ、増反する。 |
| 兵庫県 | 榎本 孝司 | 機械を導入して、作業員数を削減し、感染リスクを減らす。 |
| 兵庫県 | 藤井 義文 | 省力化機械導入により接触機会の低減、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 高田 孝夫 | 機械導入により、接触機会を削減しながら、作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 山本 昇 | 省力化機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 堤 直也 | 機械の導入により3密を避け作業効率UPができ規模拡大に繋がる |
| 兵庫県 | 清水 重弘 | 増反のために作業効率の向上を狙い、省力化機械を導入する。 |
| 兵庫県 | 楠本 文彦 | 接触機会を減らすため作業小屋の空間拡大と動線の改善・確保 |
| 兵庫県 | 田村 寿雄 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 榎本 千也 | 機械導入により、密を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 稲崎 慎也 | 人の接触を減らし各自の機械化作業により全体面積売りの向上 |
| 兵庫県 | 榎本 恭典 | 省力化機械導入により接触機会を避け効率を上げ品質を保つ。 |
| 兵庫県 | 折口 佳宏 | 支柱設置・トンネル被覆の省力化で品質のレタスを出荷する。 |
| 兵庫県 | 榎本 清子 | 生産ラインの構築と接触機会を避け作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 前川 禮子 | 繁殖和牛を増頭して売上の減少を回復したい。 |
| 兵庫県 | 児玉 裕仁 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 若口 善一 | 機械導入で接触機会をへらし、新型コロナウイルス感染を防止する |
| 兵庫県 | 田中 信七 | 省力化機械の導入により接触機会を回避し作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 竹本 明生 | 倉庫の換気能力を上げることでウイルスの蔓延を防ぐ。 |
| 兵庫県 | 河崎 節子 | 省力化機械を導入により接触機会を避けると共に作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 石橋 正雄 | 省力化機械の導入により接触機会を減らし作業効率を増反する |
| 兵庫県 | 田村 拓資 | 省力化により、接触機会をさげ作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 藤江 三千丈 | 省力化機械の導入により人手不足を解消し作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 東良 利行 | 省力化機械導入で人との接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 武田 拓樹 | 密を避ける為 省力化機械を導入する。 |
| 兵庫県 | 仲野 良彦 | 省力化機械を導入により 接触機会を避け作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 川崎 信吾 | 機械導入により接触機会を避け作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 松山 嗣子 | リフト導入、作業場改修による玉ねぎ作業の省力化と感染症対策 |
| 兵庫県 | 野口 俊 | 出荷作業スペース確保により接触機会を減らし出荷量を増加させる |
| 兵庫県 | 大谷 たまえ | 省力化機械の導入による持続経営を図る。 |
| 兵庫県 | 武岡 一雅 | 省力化機械の導入により接触感染リスク低減可能な農業への転換 |
| 兵庫県 | 新田 貴之 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 田村 充生 | 機械化導入により接触機会を避け、作業効率及び品質向上を目指す。 |
| 兵庫県 | 増田 吉彦 | 手作業だった玉葱の掘取りが機械の導入により作業効率上がる。 |
| 兵庫県 | 武田 憲明 | 省力化機械の導入で作業員間の接触機会を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 村本 透 | 生産品目を省力化機械等の導入によりコストダウンを図りたい。 |
| 兵庫県 | 土井 義博 | 更なる生産コストの見直しにより効率化を図りたい。 |
| 兵庫県 | 谷池 隆宏 | 省力化機械導入により、接触機会を避けつつ、作付面積を増やす |
| 兵庫県 | 原 貞治 | 省力化機械の導入により接触機会をさげ作業の効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 大住 和也 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 内原 宏明 | 機械導入により、作業員数を減らすことで人との接触を避けられる |
| 兵庫県 | 中川 雅浩 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|-------------------------|---------------------------------|
| 兵庫県 | 山岡 有 | 機械の導入により私と妻が接触機会を避ける事ができ増反できる。 |
| 兵庫県 | 上田 和代 | 省力化機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 岡本 恵子 | 省力化機械導入により接触機会をさげ作物効率上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 児玉 豊 | 接触機会を少なくする為に、機械を導入し省力化を図る。 |
| 兵庫県 | 山形 郭斗 | 機械を導入し人との接触を避け品質の良い農産物を生産する。 |
| 兵庫県 | 入谷 孝男 | 省力管理機を導入する事で、3密を避け健康で作業したい。 |
| 兵庫県 | 久井 清文 | 作業を省力化機械を導入して接触機会を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 米田 実知子 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 河西青果株式会社 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 奥井 宏幸 | 省力化機械導入や作業工程の見直しで接触機会を避け作業効率向上 |
| 兵庫県 | 島田 智充 | 野菜全自動移植機導入による生産性向上と労働環境改善の為 |
| 兵庫県 | 福永 絃一 | 玉葱抜き取り作業の省力化及び出荷調整時の換気 |
| 兵庫県 | 木下 毅彦 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 神木 修 | 機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反品質向上をする |
| 兵庫県 | 川西 伸尚 | 省力機械を導入し、接触機会を減らし作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 喜田 富和 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 真野 栄作 | 作業場2階を改造し1階の物を整理し換気扇を付け換気をよくする |
| 兵庫県 | 橋本 和幸 | 玉葱ピッカー導入により、接触機会を減少させ作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 廣島 憲 | 機械の導入をして接触機会を減らして作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 田中 正美 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 居内 聖明 | 3密に注意して機械導入により作業効率を上げ収益を上げる。 |
| 兵庫県 | 高丸 直樹 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 居内 秀世 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 武田 泰守 | 接触機会を減らす為機械を導入し三毛作に取り組み。 |
| 兵庫県 | 出口 雅恭 | 機械を導入し対面による出荷作業を避け効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 堀川 彰久 | 成形機のトラクターに肥料の散布機導入によりレタスを増反する。 |
| 兵庫県 | 川端 章弘 | 機械化により人手不足を補え、また3密を避けることができる。 |
| 兵庫県 | 山下 高生 | 機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 由良 弘志 | 省力化機械導入により高齢な親の負担軽減と作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 阿部 洋祐 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 古川 和寛 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ反収を上げる |
| 兵庫県 | 谷口 道夫 | 作付面積拡大による売上向上。機械導入による省力化、接触減。 |
| 兵庫県 | 木本 弘文 | 新規機械導入により接触機会を減らし作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 江本 道夫 | マルチャー導入により2人の手作業を避け作業効率回転率を上げる |
| 兵庫県 | 勝浦 尚士 | 省力化機械導入し作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 柏尾 友康 | 省力化機械導入により単独作業を可能にし複数の作業を減らす |
| 兵庫県 | 三宅 嘉幸 | 機械の購入でコンテナ運びがなくなると思う |
| 兵庫県 | 宮地 英夫 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 坂本 明久 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 清水 貴一 | 人手不足により機械導入し作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 佐藤 繁俊 | 直接販売に積極的なPRを行い、個人宅配の直販等にも努力する。 |
| 兵庫県 | 山岡 勉 | 機械の導入で接触機会を減らし、効率を上げ、増反し、増収を図る |
| 兵庫県 | 多田 雅一 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 山野 安弘 | 機械を導入することで接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 新崎 照明 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | at green合同会社・(代表社員)田辺 健 | GAP認証玉ねぎ鉄コン収穫機導入による省力化、生産・販路拡大 |
| 兵庫県 | 榎本 晴文 | 玉葱移植機等の購入により作業時間の短縮 |
| 兵庫県 | 藤井 照久 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げたい。 |
| 兵庫県 | 沼田 義章 | 移植機の導入により、接触機会を避け、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 村上 賢輔 | 機械導入により接触機会を避けて感染防止と作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 土居 裕章 | 接触機会を減らし、機械化していき、生産面積を増やしていく。 |
| 兵庫県 | 松下 良卓 | 省力化機械を導入し、人と人との接触機会を避け作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 飛田 啓介 | GAP認証玉ねぎの鉄コン収穫機導入による生産拡大・経営持続化 |
| 兵庫県 | 豊田 達也 | マルチ作業機械導入により家族で作業ができ知人との接触回避可能 |
| 兵庫県 | 山崎 真一 | 野菜移植機の導入で省力化・効率化、密接等を減らし増反を図る。 |
| 兵庫県 | 秦 計幸 | 省力化機械の導入により、作業効率を上接触機会を減らす |
| 兵庫県 | 前川 修一 | 野菜全自動移植機導入による生産性向上と労働環境の改善のため |
| 兵庫県 | 榎井 昌己 | 作業場を広げ、人との間隔を広げる |
| 兵庫県 | 辻村 英世 | 移植機の導入により、人の接触機会を避け、作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 清水 昭男 | ローバレーとラッピングマシンと2カ所分散作業が出来ると |
| 兵庫県 | 片井 為雄 | 省力化、機械導入により3密と接触機会を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 川本 啓二 | 接触を最小限にマスク手洗の徹底、消毒液携帯徹底、帰宅後即入浴 |
| 兵庫県 | 山口 駿治 | 少人数化、時間短縮により接触機会を減らし効率化を図る。 |
| 兵庫県 | 有限会社 福池不動産 | 機械導入により、臨時雇用を減らし、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 阿部 一生 | 省力化機械導入により接触機会を減らし増反する。 |
| 兵庫県 | 鈴木 博之 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 越岡 次男 | 省力化機械導入によって作業効率を上げ増反したい。 |
| 兵庫県 | 田中 将裕 | 省力化機械導入で接触機会を無くし、生産効率を上げ、増反する。 |
| 兵庫県 | 島田 喜章 | 収穫機導入により、作業員間の接触を減らし、効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 金生 光弘 | 省力化機械導入により効率を上げ、増反することができる。 |
| 兵庫県 | 柏尾 忠男 | もし、コロナに感染したら、重症化するかと思ひ、購入した。 |
| 兵庫県 | 上村 雅信 | 田んぼや作業場では3密を避け、離れて仕事をやる。 |
| 兵庫県 | 藤原 一雄 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 那須 純也 | 積極的に省力化機械を導入し接触機会の低減と作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 松井 宗弘 | 機械導入で接触機会を避け作業効率、品質向上を踏まえ増反を図る |
| 兵庫県 | 前川 義美 | 機械導入で野菜作付維持増反することで子牛の売上減少を補いたい |
| 兵庫県 | 鈴木 悟司 | 省力化、効率化の可能な機械の導入により、接触機会を減らす |
| 兵庫県 | 榎原 義弘 | 省力化機械導入により、3密を避けて作業効率を上げて増反する |
| 兵庫県 | 清川 光博 | 共同での機械だとハンドル等接触機会が増えるので個人所有にした |
| 兵庫県 | 森 壽彦 | 省力化機械導入により接触機会をさけて作業効率を上げて増反する |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|------------|--|
| 兵庫県 | 坂田 浩之 | 省力化機械導入、ハウス乾燥場～出荷作業場まで接触機会を避ける |
| 兵庫県 | 白瀬 暁之 | 移植機導入により他の従事者との接触機会の密度が低減できる。 |
| 兵庫県 | 倉本 裕 | 省力機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 黒田 稔 | あらゆる作付けシーンにおいて省力化を進める |
| 兵庫県 | 嶋田 通次 | 機械化の導入により、作業者が減少し、密接するのを避ける。 |
| 兵庫県 | 玉久保 博和 | ピッカー導入による玉葱拾い込み作業の省力化を図る。 |
| 兵庫県 | 田中 茂廣 | 玉葱移植機を導入し、雇人数を減らし、感染機会を減少させる。 |
| 兵庫県 | 山口 誠治 | 分鏡監視カメラと作業車の増台により接触機会を軽減する |
| 兵庫県 | 宮本 昌宜 | 機械台数を増やし、密を避けつつ、増産する。 |
| 兵庫県 | 藤本 健介 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 久米 啓充 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 榎本 昭裕 | 機械導入により、品質向上と増反を行う。 |
| 兵庫県 | 清水 雄一 | 収穫機導入による省力により接触機会を下げつつ規模拡大を図る。 |
| 兵庫県 | 黒田 圭一郎 | 作業効率を上げ接触機会を減らし、規模拡大のため機械導入する。 |
| 兵庫県 | 倉淵 敏貴 | 省力機械導入により接触機会を避け、作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 原口 竹夫 | 省力化機械導入により、接触機会をさげ、作業効率を上げ増反し経営継続を目指す。 |
| 兵庫県 | 高木 義男 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 堀川 順司 | 省力化機械導入により、接触機会の軽減と雇用困難時の経営持続。 |
| 兵庫県 | 北内 克幸 | 省力化機械の導入で、雇人数の減少と確立により経営の安定化。 |
| 兵庫県 | 真野 博司 | 省力化機械導入により作業効率をあげ、加工キャベツの増反を図る。 |
| 兵庫県 | 松下 文夫 | 野菜の定植機械を導入し、作業の省力化を図り接触機会を避ける。 |
| 兵庫県 | 萩原 弘昭 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 片桐 梅子 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ経費の削減。 |
| 兵庫県 | 堀部 繁樹 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 土井 正行 | 省力化機械導入により、接触機会を少なくし、作業効率をあげる。 |
| 兵庫県 | 家中 誠一 | 人の接触をさげ機械での省力化作業にとりかきたい。 |
| 兵庫県 | 阿部 千晃 | 出荷作業の分業化により接触機会をさげ効率を上げ収入につなげる |
| 兵庫県 | 仲野 亨 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 長坂 克己 | 省力化機械の導入により、接触機会を避け作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 武岡 孝 | 行動(生活)を地元中心で心がけている。 |
| 兵庫県 | 前田 隆生 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 坂本 雅彦 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 古井 一昭 | 機械を購入し短縮した作業を行う事で、接触を避けた効率良い生産 |
| 兵庫県 | 伊吹 智則 | 収穫機の導入による作業効率化・接触機会削減・規模の拡大 |
| 兵庫県 | 増井 進和 | 省力化機械導入で接触機会を避け、作業効率を上げ増反し収益確保 |
| 兵庫県 | 垣 幸司 | 省力化機械導入により接触を避け作業効率と肥育牛の成績を上げる |
| 兵庫県 | 盛野 元 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ経営を継続 |
| 兵庫県 | 正木 康文 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増収する。 |
| 兵庫県 | 森 俊勝 | 機械が共同使用の為、接触機会を避け、コロナ感染症を回避する。 |
| 兵庫県 | 川口 博央 | 機械導入により作業効率を上げ、増反する。 |
| 兵庫県 | 坂東 としみ | 機械導入で作業効率を上げ、接触機会を避ける。 |
| 兵庫県 | 鴻原 尚美 | 機械の導入で労働力不足解消、接触機会回避、収益回復、増産 |
| 兵庫県 | 小谷 真弓 | 省力化機械導入により接触機会を減らし作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 中島 始 | 省力化による農業経営の維持拡大と労働時間の根本的な見直し。 |
| 兵庫県 | 前川 利明 | 移植機導入で三密を避けて、作業効率を上げて行く。 |
| 兵庫県 | 細川 浩嗣 | 機械の導入により、接触機会を避けると伴に作付面積を増やす。 |
| 兵庫県 | 山口 悟 | 個人で機械導入をし、接触機会を避け、作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 武田 知大 | 役割分担と機械導入で接触減らし作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 島田 勝郎 | 省力化機械の導入で、臨時雇用の削減、感染症の予防と経営持続。 |
| 兵庫県 | 川口 繁樹 | 省力化機械を導入し、作業前に手の消毒を心掛けマスク着用 |
| 兵庫県 | 裏川 光洋 | 省力化機械導入により接触機会を少なくし、少しでも増反したい |
| 兵庫県 | 川淵 宏 | 省力化機械導入により作業人数を減らし、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 阿部 佳史 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げたい。 |
| 兵庫県 | 阿部 正勝 | フォークリフト導入により、接触機会を避け、作付面積を増やす。 |
| 兵庫県 | 池本 純一 | 省力化機械の導入により作業効率を向上し労働不足の解消を図る。 |
| 兵庫県 | 土井本 稔男 | 玉葱収穫機の導入により人手削減、作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 馬野 均 | 機械導入に依り接触機会を避け作業効率を上げ増産に努める。 |
| 兵庫県 | 土居 和弘 | 機械の導入により接触機会を避け面積拡大を図る |
| 兵庫県 | 記虎 貴 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 伊吹 卓 | 省力化機械導入により、対コロナ感染に向けた栽培経営の維持 |
| 兵庫県 | 山田 芳史 | 機械化による協同作業を行い、面積拡大による収益増を目指す。 |
| 兵庫県 | 松本 昇 | 省力化機械導入により、接触機会を避け、作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 片山 昌之 | 機械化による省力化、コロナ感染防止、事業継続、規模拡大 |
| 兵庫県 | 奥野 泰三 | 省力化機械導入による接触機会の減少と、作業効率のアップ |
| 兵庫県 | 大西 秀行 | 機械導入により人員削減、作業レイアウト変更で接触機会を避ける |
| 兵庫県 | 白川 馨 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反したい |
| 兵庫県 | 村上 光 | 省力化機械導入により接触機会を減らし作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 山口 辰夫 | 省力化機械の導入により接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 仲岡 宏明 | 移植機導入により接触機会を避け増反する。 |
| 兵庫県 | 辻西 健治 | 省力化機械導入により、接触機会をさげ作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 加地 公祐 | 省力化機械導入により接触機会を減らし作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 松下 年明 | 省力化機械を導入し接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 阿部 剛士 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率を上げ、増反する。 |
| 兵庫県 | 阿部 活也 | 省力化機械導入により接触機会を減らし作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 榎本 明 | 省力化機械導入の増反により売上の回復を図る |
| 兵庫県 | 早川 正 | 省力化機械導入により、接触機会を避け作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 曾根 和浩 | 機械を導入によって人員削減しても作業効率の維持を目指すため |
| 兵庫県 | 壽園 浩多 | 分鏡監視システムの導入と牛舎整備による生産の省人・効率化 |
| 兵庫県 | 栄 昌祐 | 感染防止における作業間の密接機会を減らし作業の効率化を図る。 |
| 兵庫県 | 原口 良子 | 省力化機械化の効率化による生産性の向上を図り量質の改善を図る |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|--------------------------|---|
| 兵庫県 | 村上 明 | 機械導入により作業効率を上げ、人員削減により接触を避ける |
| 兵庫県 | 池田 正弘 | ブームスプレーヤー導入により接触機会を避け作業の効率を上げる |
| 兵庫県 | 齋藤 清和 | 省力機械の導入により人員の削減と圃場の拡大をしていく。 |
| 兵庫県 | (有)三田青果 | 在庫の冷蔵保管・収穫を円滑に行う為にパレットを増やす。 |
| 兵庫県 | 樋口 茂昭 | 機械導入することにより作業効率が上がリ増反できる |
| 兵庫県 | 片山 翔太 | 省力化の機械導入で自立した農業を目指す |
| 兵庫県 | 中嶋 浩一 | 作付計画を検討し市場価格の平均収益がとれるよう圃場確保し適期定植、適期収穫を確立 |
| 兵庫県 | 不動 隆永 | コロナに負けず省力化機械導入により売上回復を図る |
| 兵庫県 | 西久保 文代 | 玉葱収穫機を導入し、作業効率化を図り、土づくりに力を入れる。 |
| 兵庫県 | 久保田 修 | 機械導入により人件費を削減し、減少した収入をカバーする。 |
| 兵庫県 | 田中 幸二郎 | 省力化機械導入により、接触機会を避け作業効率上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 喜田 英樹 | 機械の導入で人員の少数化 |
| 兵庫県 | 南あわじ山形農園(有) 代表取締役 山形 真也 | 機械導入による密の改善と作業の効率化 |
| 兵庫県 | 眞野 和典 | 農業省力化機械と感染防止機器を導入しコロナ対策に資する |
| 兵庫県 | 長谷 幸洋 | 密を避け、作業効率を上げ、増反するための省力化機械の導入 |
| 兵庫県 | 齊藤 昌三 | 全自動野菜移植機の導入により接触機会を避け作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 山平 睦 | 移植機による省力化及び均一な定植での効率化及び品質向上を図る |
| 兵庫県 | 流営農組合 (代表者) 原田 敏行 | 稲作の省力化と新たな営農体制の導入 |
| 兵庫県 | 仲野 秀和 | 半自動移植機導入により接触を避け、作業効率を上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 川野 啓太 | 効率的な機械化により生産性、安全性を図り、作業効率を上げたい。 |
| 兵庫県 | 鴻原 左和 | 機械導入によって接触機会を避け作業効率を上げていきたい。 |
| 兵庫県 | 古川 豊 | 機械導入により接触機会を避け効率を上げ所得の増大を図る。 |
| 兵庫県 | 井筒 有咲 | 省力化機械導入により体力温存により作業効率上げ増反する。 |
| 兵庫県 | 里深 学 | 省力化機械の導入で接触機会を避け、作業効率を上げる |
| 兵庫県 | 原 尚良 | 機械化と可能な限り作付け面積を維持したい。 |
| 兵庫県 | 柏木 賢治 | 省力機械の導入により接触機会を減らし作業効率を上げて増反する |
| 兵庫県 | 入口 輝幸 | 飛沫感染対策をとり効率的な作業により作業者間の接触時間を削減 |
| 兵庫県 | 留田 幸大 | 動画配信による販路拡大。若者雇用へ向け農業の魅力アピール。 |
| 兵庫県 | 能勢 勇 | 草刈り作業の省力化による感染予防 |
| 兵庫県 | 高木 規之 | 大幅な売り上げ減少をこれから出荷するりんどうを市場出荷することによって回復を目指す |
| 兵庫県 | 一般社団法人朝来市棚田林業再生事業 | ホームページから消費者への通販サイト開設による販売量の増加 |
| 兵庫県 | 井上 吉信 | 省力化による、感染拡大予防と農地保全の両立 |
| 兵庫県 | 田中 一成 | 接触機会を減らすための、省力化と感染防止対策 |
| 兵庫県 | 長谷川 正明 | 安全安心を最優先で取り組む 長谷川アグリ |
| 兵庫県 | 西浦 勝治 | 作業等の効率化 |
| 兵庫県 | 宮代 美慧子 | 販路変更拡大による良質米選別機器導入と感染拡大防止対策事業 |
| 兵庫県 | 株式会社堺口農事未来研究所 代表取締役 平峰英子 | 農業用ドローン導入による生産の効率化と労働環境の改善 |
| 兵庫県 | 成田 市雄 | 温湯消毒機導入による水稲苗の良質化及び省力化 |
| 兵庫県 | 谷岡 敏雄 | 作業の省力化と品質の向上化により所得向上を目指す |
| 兵庫県 | 大井 広光 | 刈り取り作業の省力化 |
| 兵庫県 | 堀名 文男 | 新型コロナウイルス感染症による米価下落対策事業 |
| 兵庫県 | 谷垣 博宣 | 機械化をすすめ、最小人数で効率の良い農業を目指す。 |
| 兵庫県 | 関岡 謙介 | 花苗の底面給水による省力化 |
| 兵庫県 | 中谷農事組合法人 代表理事組合長 松井 栄作 | 経営面積拡大に伴う作業負担の軽減、効率化のための機器の購入 |
| 兵庫県 | 河本嘉一 | ソーシャルディスタンス |
| 兵庫県 | 清水 浩次 | 3密を避け、品質向上・収量向上・売上向上を目指す。 |
| 兵庫県 | 小崎 富士夫 | 機械の合理化と労力軽減 |
| 兵庫県 | 西沢 泰裕 | マルチャーを利用し生分解性マルチを張る。圃場までの除雪。 |
| 兵庫県 | 栗原 安信 | 水稲、野菜の複合経営の省力化 |
| 兵庫県 | 株式会社 百合地営農 | 密にならないようするため機械の導入で効率化を図る |
| 兵庫県 | 高尾 仁 | 農産加工品とコマのネット販売促進のためのWEBサイト構築事業 |
| 兵庫県 | 吉岡正人 | ぶどう産地を底支える山地生産力の省力化 モノレール導入 |
| 兵庫県 | 小川 勇 | 地域内循環経済を回す。地産地消強化し地元生産地元消費拡大する。 |
| 兵庫県 | 福井 美治 | 収穫、運搬、包装など作業の効率と省力化機械導入で労働力減少。 |
| 兵庫県 | 和田 利幸 | 乾田直播による省力化を行い、作業員の接触機会を軽減を図る |
| 兵庫県 | 福井 邦夫 | 作業効率の向上と接触機会の削減に向けた省力化機械の導入 |
| 兵庫県 | 小西 與一 | 管理機を導入することによる畝立整形作業の省力化 |
| 兵庫県 | 新田 拓樹 | 採草作業の効率化 飼料費の経費削減 |
| 兵庫県 | 森田 強 | ドローンの導入による作業の効率化及び省人化 |
| 兵庫県 | (農) 河谷営農組合 代表理事組合長 岡田 光行 | ブームスプレーヤーの導入による密接の解消と作業時間の短縮 |
| 兵庫県 | 三谷 壽洋 | コンバインの性能アップによる作業効率の向上及び接触軽減 |
| 兵庫県 | 松本 和憲 | ハンマーナイフモアの導入による草刈の省人化 |
| 兵庫県 | 土肥 利幸 | ドローン、畦塗機の導入による省力化と作業時間の短縮 |
| 兵庫県 | 小西 敏明 | マルチャー付管理機導入による作業効率の向上及び接触機会の軽減 |
| 兵庫県 | 藤原 大樹 | 機械化による人との接触減少と規模拡大 |
| 兵庫県 | 綿田 謙 | ローコストオペレーションの実現と衛生管理の徹底による防疫強化 |
| 兵庫県 | 田畑 善延 | コロナ感染拡大防止に向けた、農業機械の導入と販路拡大 |
| 兵庫県 | 根岸 謙次 | ドローン導入による施肥防除の効率化と換気扇設置による感染防止 |
| 兵庫県 | 岡田 喜良 | 新たな販路開拓と環境整備 |
| 兵庫県 | 山本 利蔵 | スマート農業の取組み |
| 兵庫県 | 長谷川 薫 | 里芋の出荷準備作業(土落とし・ひげ根とり・選別)の機械化 |
| 兵庫県 | 北村 宣弘 | 作業空間の安全確保と省力化機械の導入による労働時間の削減 |
| 兵庫県 | 中西 正博 | フレコン出荷による3密の防止 |
| 兵庫県 | 岡森 敏幸 | ①事業若返り、②事業拡大、③生産性向上 |
| 兵庫県 | 農事組合法人 府市場農産 代表理事尾藤光 | スピードスプレーヤーの導入により、労働者の接触機会を減らす |
| 兵庫県 | 柳澤 賢二 | 柳澤農場コロナ対策経営回復事業 |
| 兵庫県 | 株式会社 Teams 代表取締役 新免 将 | 他国の食糧輸出入が減少し、国内生産野菜、米の消費が見込める |
| 兵庫県 | 飯田 正治郎 | Withコロナ 経営継続事業 |
| 兵庫県 | 飯田 栄 | コロナ対策画期的事業 |
| 兵庫県 | 藤原 銀治郎 | フレコン出荷による作業の効率化・省力化・接触リスクの軽減 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|--------------------------|------------------------------------|
| 兵庫県 | 飯田 康明 | 草刈り業務の内製化 |
| 兵庫県 | 青山直也 | 作業場の増設(作業者との密を避けるため、就労環境の整備) |
| 兵庫県 | 高田 敏幸 | 農業者の健康管理事業 |
| 兵庫県 | 株式会社お米のきたむら 代表取締役 北村真二 | ドローンによる省力化・接触機会を減らす生産と農産物の品質向上 |
| 兵庫県 | 才崎 信治 | フレコン計量器とフレコン導入で糞溜り～出荷のライン作業の効率化 |
| 兵庫県 | 長谷川 直大 | 機械導入による接触時間短縮と雑草抑制で減農薬・品質向上の実現 |
| 兵庫県 | 仲川 弘之 | 水稲収穫作業の省力化と生もみの品質向上 |
| 兵庫県 | 中嶋 敏博 | ①生産体制(ぶどう、人参栽培)の効率化・省力化 |
| 兵庫県 | 寺田正文 | コロナ禍の影響を乗り越えるための作付販売の転換計画 |
| 兵庫県 | 立脇 収平 | 施肥機導入 |
| 兵庫県 | 加藤 睦夫 | 稲作の省力化の為に機械の導入と室内作業時の環境改善。 |
| 兵庫県 | 瀬尾 雅仁 | 地域農家の乾燥受託作業を受けるための新型コロナ対策 |
| 兵庫県 | 中務 喜紹 | そば粗選機導入による、出石そばの品質の向上、歩留りアップ |
| 兵庫県 | 小川 出 | 労働力の軽減 |
| 兵庫県 | 農事組合法人 ひらた営農組合 | 側条施肥で、省力化と接触機会の減少 |
| 兵庫県 | 稲葉初夫 | コロナ対策による機械化及び作業効率化計画 |
| 兵庫県 | 中井 勇一 | 新型コロナ感染予防の為、除草作業の機械化による |
| 兵庫県 | 五十嵐 章造 | コロナに負けない取組 |
| 兵庫県 | 中川 美由紀 | コロナ対策コンバイン事業 |
| 兵庫県 | 有限会社植田農園 代表取締役 植田博成 | 接触機会減少による農業生産管理の環境整備事業 |
| 兵庫県 | 農業生産法人(有)あした 代表取締役 霜倉 和典 | 省力化をはかるための、ドローン活用 |
| 兵庫県 | 梓野 光明 | 機械導入による長時間労働の解消と、健康管理に関する労働環境整備 |
| 兵庫県 | 森井 正彦 | コロナ対策に向け作業の代替、効率性の向上、牛舎内の環境整備 |
| 兵庫県 | 小西 康之 | 生産工程管理の省力化による「3密の解消」および「収量向上」 |
| 兵庫県 | 今井 浩幸 | ハロー導入により労働 力不足の克服と少人数化 |
| 兵庫県 | 井上 孝士 | 勤務体制と機械導入による接触機会の削減と利益向上の両立 |
| 兵庫県 | 三上 裕也 | 白ネギの調整機の導入による作業の効率化および感染対策 |
| 兵庫県 | 小川 恭弘 | 白ネギの新ブランド化・産地化に向けた機械の導入 |
| 兵庫県 | 野世 英子 | ドローンの導入により労働負担の軽減と安全な作業性の向上を図る |
| 兵庫県 | 能勢 明宏 | 白ネギ収穫・選別調整作業の時間削減・密接回避 |
| 兵庫県 | 大谷 正代 | 乾燥機・もみすり機・選別計量機の新規購入及び作業場の改修 |
| 兵庫県 | 中村 秀行 | 円滑な合意形成の促進・生産コストダウンによる事業継続 |
| 兵庫県 | 田中 市郎 | 感染症の不安を取り除く対策 |
| 兵庫県 | 田中 一馬 | 分娩監視システムによる分娩事故ゼロ及び発情発見システムの構築 |
| 兵庫県 | 植田 光隆 | フォークリフト導入による作業の省力・効率化 |
| 兵庫県 | 岡村 英和 | グレンタンク式コンバインの導入 |
| 兵庫県 | 池成 昇 | さつまいも収穫機の導入による作業の省力化 |
| 兵庫県 | 福井 亮一 | 省力化機械の導入による労働力の確保と労働時間の削減 |
| 兵庫県 | 門村 和己 | ラジコン草刈り機の導入による作業の省力・省人化 |
| 兵庫県 | 中井 克己 | ラジコン草刈り機導入による作業の省力化 |
| 兵庫県 | 岡 孝志 | 機械化を進め、人よりきれいな、白い、美味しい米を作りたい。 |
| 兵庫県 | 田中 充 | 堆肥散布システム導入による作業効率、向上、省力化の実現 |
| 兵庫県 | 吉田 和博 | 省力化のための機械導入。および、飛沫感染予防に関する提案 |
| 兵庫県 | 井上 登士郎 | 省力化&作業距離確保による機械導入、倉庫内作業時の環境改善 |
| 兵庫県 | 田中 定美 | 美味しい「つちかおり米、食べて元気に」をテーマに生産アップ |
| 兵庫県 | 農事組合法人 アイガモの谷口 代表理事 谷口正友 | 高品質及び省力生産技術の向上とインターネット販売の売上向上事業 |
| 兵庫県 | 上垣 康成 | 感染防止策の為に機械導入 |
| 兵庫県 | 西岡 昇 | 西岡農園コロナ対策経営回復事業 |
| 兵庫県 | 和田 健治 | 和田農園コロナ対策経営回復事業 |
| 兵庫県 | 岡田 丈一 | 新型コロナウイルス感染防止事業(乗用除草機、ぬか散布機の導入) |
| 兵庫県 | 豊嶋 良和 | 葉物野菜調整機の導入により省力化およびネット通販等販路拡大 |
| 兵庫県 | 木戸 孝太郎 | 葉物野菜調整機の導入により省力化およびネット通販等販路拡大 |
| 兵庫県 | 中川 和真 | 機械化による作業の効率化と密になりにくい取り組み |
| 兵庫県 | 株式会社 やぶさん 代表 藤岡 美智夫 | 複数人で作業を行わない |
| 兵庫県 | 浅井 昌透 | 施設花卉生産業(農業) |
| 兵庫県 | 矢野尾清佑 | 3密対策された収穫物仕分出荷作業場への改修工事 |
| 兵庫県 | 浅井 崇紀 | 液肥混入器導入及びプラグ苗購入による従業員の接触機会の軽減 |
| 兵庫県 | 寺田 幸造 | 設備導入による作業効率化と接触機会の削減。 |
| 兵庫県 | 谷村昭雄 | 機械導入による除草作業効率アップで生産性の向上とコロナ対策 |
| 兵庫県 | 株式会社Amnak 代表取締役 藤田 彰 | ネット販売による販路拡大を目指す。 |
| 兵庫県 | 北山 愛 | 農作業の一部自動化による新たな生産体制の構築事業 |
| 兵庫県 | 松田 秀一 | 販売・作業・労務管理等の改善による人と人との接触機会を減らす |
| 兵庫県 | 吉村 英美 | コロナ対策経営回復事業 |
| 兵庫県 | 仮谷義則 | 収穫作業の効率化 |
| 兵庫県 | 金谷 智之 | 3密を避けるための省力化機械の導入 |
| 兵庫県 | 木下 計介 | 圃場の草刈り作業での身体負担の軽減と作物の秀品率の向上 |
| 兵庫県 | 小川 高行 | 小川農場コロナ対策経営回復事業 |
| 兵庫県 | 梶原 泰輔 | 水稲稲刈り作業にグレンタンク式のコンバインを導入 |
| 兵庫県 | 藤井 暢 | 乗用田植え機の導入 |
| 兵庫県 | 岡村 康平 | 従業員や研修生との接触をできるだけ避けるために機械化する。 |
| 兵庫県 | 篠岡 昌代 | 米の乾燥等の業務委託の中止。空調環境の改善。梱包の工夫。 |
| 兵庫県 | 藤原俊幸 | 管理道・畔の草刈り作業 農業機械の洗浄作業 |
| 兵庫県 | 野村 悟 | ハンマーナイフモアの導入 |
| 兵庫県 | 足立 洋介 | 品質の良い農作物を生産し多くの方へ販売し収益を上げる。 |
| 兵庫県 | 堀之内 智裕 | 農業機械(ニンジン洗浄機)の導入による労働効率の向上 |
| 兵庫県 | 松田 卓巳 | 有機栽培米の生産販売 |
| 兵庫県 | 鴨谷 康隆 | 機械導入による |
| 兵庫県 | 藤原 正治 | 高齢者の耕作地の継続耕作。及び心疾患等の作業軽減。密状態での作業回避 |
| 兵庫県 | 株式会社 村上ファーム 村上 彰 | 導入機械により、作業者の作業軽減と三密状態の解消。 |
| 兵庫県 | 株式会社社縁の風農場 代表取締役 細見 守 | 密を避け少人数で短時間に効率よく作業を行う環境の整備 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|-----------------------------|--|
| 兵庫県 | 衣川 修 | 省力化 密を避けるためにハロを購入した。 |
| 兵庫県 | 寺尾 稔 | 牧草刈り取り機の導入による、作業の効率化 |
| 兵庫県 | 寺尾 智也 | 堆肥散布機の導入により、作業の効率化と地域との耕畜連携 |
| 兵庫県 | 岩花 玉男 | ステアローダー導入による省力化と生産力の向上 |
| 兵庫県 | 岩花 進 | 分娩監視カメラと発情発見装置の導入における省力化 |
| 兵庫県 | 上垣 勇吾 | 但馬牛繁殖経営を一生継続するための布石に |
| 兵庫県 | (株)森脇畜産 代表取締役 森脇雄一 | 分娩監視カメラの導入 |
| 兵庫県 | 森脇 薫 明 | 分娩監視カメラの導入と、温水洗浄機による作業場の清浄 |
| 兵庫県 | 合同会社 高橋牧場 | 但馬牛、神戸牛のさらなる品質向上に向けて |
| 兵庫県 | 高橋 副武 | 市場性の高い健全な子牛生産 |
| 兵庫県 | 尾塩 温史 | 大型機械導入による省力化 |
| 兵庫県 | 農事組合法人 太尾営農 理事長 山口 幹男 | 集団での草刈り等で密接を避けるためにアーム式草刈り機の導入 |
| 兵庫県 | 井藤 真輔 | ブルーベリー棚設置による、管理作業の省力化。 |
| 兵庫県 | 長谷川 弘 | 作付け品目変更による売上回復 |
| 兵庫県 | 株式会社岩屋営農 代表取締役 井藤 泰明 | 高収益野菜の機械化栽培技術確立による省力化、接触機会の減少。 |
| 兵庫県 | 有限会社 福永農産 小井 佳代 | 『発券機の導入』 |
| 兵庫県 | 岡本 将司 | 粉碎機械・野菜洗浄機導入による省力化と品質向上。 |
| 兵庫県 | 株式会社みつヴァレッジ | トマト等の直販比率向上およびエネルギーコスト削減への取り組み |
| 兵庫県 | 小林 一雅 | 密を避けての作業を行うための作業場の環境改善、省力化に取り組む |
| 兵庫県 | 福畑 小百合 | 省力化のための機械導入。室内作業時の環境改善。オンライン販売の導入 |
| 兵庫県 | 西影 昌久 | 衛生的な環境を整備し作業の軽減・効率化 |
| 兵庫県 | 鈴木 広史 | 宅配事業の拡大に向けた新たな商品開発と販路の新規開拓 |
| 兵庫県 | 加瀬澤 智昭 | ドローンによる防除体系の確立 |
| 兵庫県 | 長尾 光弘 | 機 械導入することで人員・労働時間の削減 |
| 兵庫県 | 株式会社 中村営農 大成 正悟 | 作業機械の導入 |
| 兵庫県 | 有限会社 夢前夢工房 取締役 衣笠 愛之 | ①イチゴの安定生産 ②ハウス内のウイルスや病原菌、気温上昇の抑制:冷房+加湿+ |
| 兵庫県 | 高橋 一仁 | 新たな品目として畑作の複合化を 計画 |
| 兵庫県 | 有限会社環境微生物研究所 代表取締役 村田 敏朗 | 今回導入する移植機及び形成盤により作業効率を改善し、出荷調整時間が短縮させること |
| 兵庫県 | 株式会社 猪篠ファーム 代表取締役 藤原嘉朗 | 新しい機械装置の導入による省人化 |
| 兵庫県 | 飯塚 祐樹 | 導入機械による作業時間の短縮及び人員の削減 |
| 兵庫県 | 加門和弘 | 機械の導入による作業軽減 省力化 |
| 兵庫県 | 前川 純也 | 新しく機械の導入 |
| 兵庫県 | 株式会社山田営農 代表取締役 廣岡 典幸 | 農作業において導入機械により作業効率化・人員削減を行い労働力の分散したの作業を計 |
| 兵庫県 | 森田 博也 | 色彩選別機の導入 |
| 兵庫県 | 前川 直毅 | 品質向上・省力化のための機械導入 |
| 兵庫県 | 田作 樹奈 | 【全自動野菜育苗播種機の導入による接触機会の低減及び省力化推進 |
| 兵庫県 | 小山内 陽介 | 省力化と感染防止を実現する生産体系の実現と就労環境の整備 |
| 兵庫県 | 前田 泰良 | 接触機会を減らすことが大きな要因と考え、機械の大型化作業機による省力化を図る。 |
| 兵庫県 | 農事組合法人 坂坂営農組合 代表理事 山口 謙 | アーム式草刈機を導入 |
| 兵庫県 | 株式会社 ささ営農 代表 八木正邦 | 新規機械の導入による作業の効率化 |
| 兵庫県 | 株式会社 フジ工房 藤本 俊祥 | 省力化機械等導入による接触機会の削減と労力・コストの軽減 |
| 兵庫県 | 塚本 芳文 | 省力化機械の導入による作業の効率化と労働経費の削減 |
| 兵庫県 | 有限会社玉田学習社 代表取締役 玉田 誠 | 作業倉庫の環境改善及び市場へ安定供給を行う作物と在庫の確立 |
| 兵庫県 | 芦谷 彰紀 | 省力機械の導入による労働時間と労力の削減を図り、発展できる経営を目指す。 |
| 兵庫県 | 高曾 邦雄 | GPS搭載田植機により田植え時の密を防ぐ為の事業 |
| 兵庫県 | 竹田 陽一郎 | 「直売所兼作業所の3密改善の為の『組合せ秤』の導入」 |
| 兵庫県 | 竹田 吉礼 | ・自動カーテン装置導入による労働時間と労力の削減を図り、省力化を目指す。 |
| 兵庫県 | 宮本 佳悟 | 循環扇の導入による施設の空気の入れ換え |
| 兵庫県 | 田淵 利英 | 経費の見直し、草刈作業の人員費の削減 |
| 兵庫県 | 小河 純一 | 肥料散布機導入による作業員の接触軽減 |
| 兵庫県 | 濱村 忠司 | 省力化、規模拡大計画 |
| 兵庫県 | 株式会社御津サンファーム 代表取締役 柴田陽介 | 油圧シリンダーによる畑のインフラ整備 |
| 兵庫県 | 木田 雅也 | 畝立同時播種機の導入 |
| 兵庫県 | 大西 泰文 | 自動製函機の導入、清切り土寄せ機の導入 |
| 兵庫県 | 門内 盛哉 | 畝立て同時播種機導入で効率化 |
| 兵庫県 | 株式会社博農 代表取締役 八木隆博 | 畝立て・マルチ張り作業を機械化することによる「密」防止事業 |
| 兵庫県 | 田淵 大勝 | 乗用草刈機導入による人員削減 |
| 兵庫県 | 濱野 高行 | 機械化による単独作業(フォークリフト・肥料散布機導入) |
| 兵庫県 | 柴田 きょう子 | 機械化による作業員の人員削減 |
| 兵庫県 | 福水 啓二 | オフセットモーター導入による草刈作業等の効率化 |
| 兵庫県 | 株式会社 グリーンファーム損西 代表取締役 猪澤 敏一 | 省力機械の導入による労働時間と労力の削減を図り、経営継続のための計画的な規模拡大 |
| 兵庫県 | 株式会社ファーム揖保の里 代表取締役 本田博保 | 乗用管理機搭載電動施肥機を購入し粒状肥料散布の効率を図る。 |
| 兵庫県 | 前田 遼詞 | 自動航行ドローンによる作業性効率化と作業者間の接触機会の軽減 |
| 兵庫県 | 濱村 直哉 | フォークリフトの導入 |
| 兵庫県 | 高尾 礼三 | 新機械導入により少人数化、効率化を図り、3密を避けることが期待できる |
| 兵庫県 | 中塚 啓守 | ・稲作業の省力化と雇用者作業の分散化 |
| 兵庫県 | 神尾 征典 | 省力化機械の導入による作業人員の削減と出荷調整作業の簡略化 |
| 兵庫県 | 苗村 武大 | 管理機導入による中耕除草、省人化と生産管理向上の実現。 |
| 兵庫県 | 橋爪 美智子 | 乗用ネギ管理機の導入による労働時間の削減を作業の効率化 |
| 兵庫県 | 吉田 勝博 | 品質向上、省力化のための機械の導入 |
| 兵庫県 | 株式会社KY田中農園 代表取締役 田中一成 | 新たな産品導入によるリスクヘッジ及び生産性向上で事業継続 |
| 兵庫県 | 尾川 和男 | 農業散布ヘリコプターによる省力化 感染症対策 |
| 兵庫県 | 株式会社 百姓 代表取締役 小倉 篤 | 水稲栽培の省力化による担い手農家の新たな共同作業体制の構築 |
| 兵庫県 | 宮脇 信一郎 | 稲麦大豆作の省力化と新たな営農体制の導入 |
| 兵庫県 | 株式会社 杉本農産 代表取締役 原田 和直 | 大豆作業生産向上対策 |
| 兵庫県 | 丸尾 友明 | |
| 兵庫県 | 守岡 秀典 | 野菜の出荷物パッケージング・包装機器 |
| 兵庫県 | 前川 勇人 | 発送の転換でピンチをチャンスに変える！ |
| 兵庫県 | 吉本 康二 | 【今後の直売所品目増加とネット販売対策に作物の多角化栽培】 |
| 兵庫県 | 西村 啓二 | 新型コロナウイルス感染症対策機械設備整備事業 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|--------------------------------|--|
| 兵庫県 | 山本 輝美 | 粗飼料作業生産品質向上対策 |
| 兵庫県 | 沖中 誠 | コロナ感染防止ぶどう販売拡大対策事業 |
| 兵庫県 | 小川 敬生 | 密労働環境の低減と労力分散 |
| 兵庫県 | 保村 祐治 | 野菜生産作業省力化対策 |
| 兵庫県 | 伊東 敬文 | 《設備導入による、作業効率の向上》 |
| 兵庫県 | 武田 逸人 | 複数で作業していた里芋定植と毛羽取作業を一人で実施することにより密接を避ける。 |
| 兵庫県 | 中越 満 | 堆肥散布作業省力化事業 |
| 兵庫県 | 春本 鉄夫 | 省力化機械の導入による苗生産の効率化 |
| 兵庫県 | 藤本 浩 | 省力化機械の導入による労働人員の削減 |
| 兵庫県 | 株式会社 山本営農 | 新規販路の開拓のための出荷方式の転換による機械装置の導入 |
| 兵庫県 | 株式会社みかつき e 三木 伸雄 | 乗用草刈り機導入による省力化・労働力軽減 |
| 兵庫県 | 豊永 雅典 | 高収益作物の品質向上と作業効率アップに向けた機械装置の導入。 |
| 兵庫県 | 合同会社ひらふくファーム 原田 健吾 | 畝立て機等の導入による省力化 |
| 兵庫県 | 東徳久地区農事組合法人 | 労働力分散のための省力化機械の導入 |
| 兵庫県 | 藤原 智 | 密を避け作業効率をアップ |
| 兵庫県 | 前角 清 | 動力噴霧器・肥料散布器などの導入により人との接触感染を防ぐ。 |
| 兵庫県 | 永井 修身 | 機械化での接触機会の減少と省力化による生産量向上 |
| 兵庫県 | 橋本 克己 | 機械化による接触機会軽減と省力化、地力アップによる品質向上 |
| 兵庫県 | 農業生産法人 橋本農園株式会社 代表取締役 橋本 竜介 | 感染防止・作業省力化 |
| 兵庫県 | 橋本 匠 | 露地野菜の機械化による省力作業体系の確立 |
| 兵庫県 | 橋本 平 | 乗用野菜移植機の導入 |
| 兵庫県 | 橋本 誠二 | 地域ブランド品を中心とした規模拡大 |
| 兵庫県 | 横山 薫 | 機械化による省力化と感染機会の軽減、就労環境の整備 |
| 兵庫県 | 農事組合法人八幡宮農組合 代表理事 芦原安男 | 持続的な作業効率の改善と衛生管理による感染予防の取り組み |
| 兵庫県 | 花 房 正 幸 | ドローンの導入により作業の省力化、接触機会減少による感染予防 |
| 兵庫県 | 東田 麻美 | ブルーベリー省力化栽培(人との接触機会減少による感染予防) |
| 兵庫県 | 松尾 克己 | 機械の導入により、施肥・播種・除草剤散布作業の省力化。 |
| 兵庫県 | 猪坂 貴弘 | 米需要回復拡大に対応するため作業の効率化や品質向上の取組み。 |
| 兵庫県 | 音瀬 陽一 | 機械化推進による露地野菜増加計画 |
| 兵庫県 | 小林 由孝 | 観光販売分をスーパー等への出荷に転換 |
| 兵庫県 | 玉田 公一 | 機械導入による新規販路の開拓及び農作業の効率化 |
| 兵庫県 | 株式会社ふぁ～みんサポート東はりま 代表取締役社長 木下直樹 | 高性能機械の導入により作業効率と作業の安全性を高める |
| 兵庫県 | 株式会社清か米 代表 清野 治明 | 接触機会を低減し、高品質化を目指した次代へ繋ぐ農業の創造。 |
| 兵庫県 | 本倉 英樹 | 感染防止対策を強化し、売上向上に向け、販路の開拓に取り組む。 |
| 兵庫県 | 東田 哲也 | 機械設備導入による省力化及び作業の効率化を図り感染防止の取組 |
| 兵庫県 | 中村 将司 | 少人数、短時間での作業方式、販売方式を構築する。 |
| 兵庫県 | 大西 範裕 | 省力化機械導入による新型コロナウイルス対策と規模拡大 |
| 兵庫県 | 坂 田 耕 祐 | 作業の機械化による感染拡大防止と、生産拡大の両立。 |
| 兵庫県 | 福留 かおり | 肥料散布機による省力化と作業場の掃除消毒で就労環境の改善 |
| 兵庫県 | 小 林 直 樹 | 環境に優しい省力化技術により品質向上 |
| 兵庫県 | 山 西 宣 嘉 | 省力化技術による、少人数での作業性の向上と売上回復 |
| 兵庫県 | 松尾 一久 | 省力化機械導入による栽培面積の拡大 |
| 兵庫県 | 農事組合法人志方東農組合 代表理事 丸山 良作 | 志方東農組合における新型コロナウイルス感染拡大防止対策 |
| 兵庫県 | 農事組合法人みやまえ営農 代表理事 佐伯真究 | 収穫時の接触機会減少対策から運搬車導入で収穫作業の省力化 |
| 兵庫県 | 永井勝志 | 冬路地野菜で挽回。 |
| 兵庫県 | 農事組合法人ファーム稲加見谷営農 代表 小山和彦 | 自ら移さないよう3密に気を付けて、でも情報交換は密にしよう。 |
| 兵庫県 | 外山 明由 | 3密を避けて、マスク及びアルコール消毒の徹底 |
| 兵庫県 | 農事組合法人 ファーム草谷 代表理事 藤本 勝彦 | 「経営の合理化(水稲作付け面積の縮小)」 |
| 兵庫県 | 山口 順治 | ポット土入れ作業の省人化による接触機会削減 |
| 兵庫県 | 松井 義輝 | 高品質高糖度トマトを中心としたweb販売・商談体制の構築 |
| 兵庫県 | 花房 宏俊 | 被覆資材変更及び自動巻上げによる品質向上と作業の効率化 |
| 兵庫県 | 坂元三郎 | マニアスプレッターの購入 |
| 兵庫県 | 山口 堅司 | イチゴ栽培施設の換気性能向上工事 |
| 兵庫県 | 井上 幸一 | 主力品目の割合を減らし、新たな品目の導入で総収益を上げる。 |
| 兵庫県 | 山崎 理生 | コロナウイルス感染防止のための自動化技術導入事業 |
| 兵庫県 | 株式会社LEAD 都倉 貴博 | 土壌改良の強化と作業効率化による利益率の向上 |
| 兵庫県 | 福田 修 | 草刈り作業のソーシャルディスタンスの確保と機械化による効率化 |
| 兵庫県 | 植田 諒介 | 品質のよい花苗を省力化、効率的に出荷 |
| 兵庫県 | 魚住 嘉彦 | 自動灌水と調製用ハウスの導入による接触機会の減少 |
| 兵庫県 | 福原 史生 | 密集を避けつつ環境に配慮した農業経営 |
| 兵庫県 | ㈱ファームかんの 代表取締役 納庄捷正 | 野菜移植機導入による作業効率改善と経営規模拡大 |
| 兵庫県 | 坂口 則隆 | 換気システムの導入と監視カメラによる作業の効率化 |
| 兵庫県 | 株式会社 神戸井相田牧場 代表取締役 井相田弘幸 | 分娩発見から子牛飼育管理の効率化・感染対策についての取組み |
| 兵庫県 | 株式会社バーリーミート 代表取締役 中尾 恭明 | 肉牛飼育管理の効率化・省力化 |
| 兵庫県 | 松田 和彦 | 機械等の導入により作業を効率化し作業者の接触回数を減らす。 |
| 兵庫県 | 上田 真吾 | 省力化と接触機会を減らす生産に取り組むための機械装置導入 |
| 兵庫県 | 藤原 壮造 | 30kgを背負い肥料を撒く人員と労力の軽減と、苗補給時に運転者と補給者の距離が確 |
| 兵庫県 | 笹倉 範久 | 機械装置 |
| 兵庫県 | 桑村 初真 | 労働者の接触機会を減らす省力化の為の乗用草刈機導入 |
| 兵庫県 | 中瀬 武人 | 農業の省力化と人材にたらない新しいスタイル |
| 兵庫県 | 株式会社丹波農商 代表取締役 大塚 敦史 | 省力化を図り、接触機会を減らす生産に取り組むための機械装置導入自社のネット通販 |
| 兵庫県 | 有限会社まるきん農林 代表取締役 堀 謙吾 | 品質が向上した品物を提供することにより顧客満足度のアップ！！ |
| 兵庫県 | 株式会社丹波婦木農場 代表取締役 婦木 克則 | 保管施設の増設による廃棄食材の減少 |
| 兵庫県 | 株式会社 耕す 代表取締役 小林武史 | 枝豆調整機導入による3密防止及び作業効率化 |
| 兵庫県 | 株式会社 Gradus代表取締役 足立幸子 | 販売方法の多様化と強化、作業の効率化と三密の回避 |
| 兵庫県 | 株式会社竹岡農園 代表取締役 竹岡正行 | 草刈り作業を効率化して地域の機械化を促す事業 |
| 兵庫県 | 岩元 清志 | きれいな有機野菜の生産を拡大し地域の新たな特産品に |
| 兵庫県 | 荻野 善之 | 農業 |
| 兵庫県 | 高杉 佐登志 | 播種時のうね立てと収穫作業時の効率化に伴う接触、密接の解消 |
| 兵庫県 | ひょうたん農場株式会社代表取締役 須原隆一 | インターネットを活用した営農管理・新たな販路、顧客の開拓 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|--------------------------|-----------------------------------|
| 兵庫県 | 藤原 均 | 最新の田植え機の導入による作業の効率化と農業経営の継続 |
| 兵庫県 | 長尾 安博 | WEB利用による通信販売の開始 |
| 兵庫県 | 近藤 道廣 | 省力化のための農業機械の導入による作業の効率化 |
| 兵庫県 | 大槻 康弘 | 高性能田植機の購入による作業効率の改善及び接触機会の低減 |
| 兵庫県 | 株式会社CKF 代表取締役 荻野一馬 | 小豆、大豆播種機・カンヨ研磨洗浄機(なた豆用)導入による作業効率化 |
| 兵庫県 | 矢持 和人 | 農作業の機械化・大型化による共同作業の回避 |
| 兵庫県 | 東浦 昭 | 高性能機械の導入による作業効率の改善と省力化 |
| 兵庫県 | 株式会社芦田ポーター | 感染防止対策と自社商品PRチラシの作成 |
| 兵庫県 | 大槻 良 | 作業員間の距離を広げるため牛舎レイアウトの変更。 |
| 兵庫県 | なかで農場合同会社代表社員 中出栄二 | 省力機械の導入で従業員の接触機を低減 |
| 兵庫県 | 岩本 元 | 省力化機械の導入による、省人化と作業効率の向上をはかる |
| 兵庫県 | 福井 喜康 | 直売所出荷野菜の安定化を目指す |
| 兵庫県 | 宮崎 徹 | 新たな生産方式に向けた作業環境の整備による効率化 |
| 兵庫県 | 丹波リーフ株式会社 代表取締役 堂本 憲造 | ホームページでの販売強化と新しい品目栽培による拡張 |
| 兵庫県 | 日原 広宣 | 省力化の為に機械導入 |
| 兵庫県 | 高木 力 | 除草体制の見直しをして機械化と省力化により3密を避ける！ |
| 兵庫県 | 末利 公一 | 省力化機械を導入し、労働不足解消・3密状態を作らない経営 |
| 兵庫県 | 余田 拓馬 | 余田ファーム:ビニールハウス内1名でも生産できる体制の確立 |
| 兵庫県 | 太田 光宣 | インターネットを活用した営農管理・新たな販路、顧客の開拓 |
| 兵庫県 | あしだ農産 葦田 明 | 色彩選別機導入による3密の回避 |
| 兵庫県 | 井上 陽平 | 新たな様式による、里山保全と農作業の取り組みと作業場づくり。 |
| 兵庫県 | 農事組合法人丹波北御油アグリネット理事 田辺 均 | 事業継続・回復のための生産・販売方法の確立・転換 |
| 兵庫県 | 高野 亨 | 機械化・効率化・規模拡大 |
| 兵庫県 | 株式会社一葉舎 代表取締役 三井 優生 | 養液肥混入自動灌水機による省力化 |
| 兵庫県 | 樹丹波たかみ農場(代)高見康彦 | 顧客のニーズに応え、販売単価の向上を目指す |
| 兵庫県 | 細見 浩司 | 管理機の導入による省力化 |
| 兵庫県 | 農事組合法人丹波みずまる代表理事荻野真 | 販路拡大に向けての設備投資 |
| 兵庫県 | 合資会社あぐり丹波 無限責任社員 久下聖太 | 殺菌資材の購入によりウィルスを除去し安全な畜養園を経営する |
| 兵庫県 | 有限会社 カンナンファーム代表取締役 河南 一夫 | 家庭用鶏卵商品のパッキングの自動化 |
| 兵庫県 | 山本 竜矢 | 家畜運搬車のウインチ取り付け |
| 兵庫県 | 山本 定夫 | 農業用ドローンによる農薬散布 |
| 兵庫県 | 寺内 昭則 | 発情発見システムの導入による作業の省力化、効率化 |
| 兵庫県 | 高橋 麻美 | 人手を借りて手刈りしていた麦類の収穫機械化 |
| 兵庫県 | 垣内 和敏 | 省力化のための機械導入、作業時の環境改善 |
| 兵庫県 | 荻野 朝雄 | 機械化により人との接触を最小限にする。 |
| 兵庫県 | 浅田 浩伸 | 粟の収穫時の3密防止のため |
| 兵庫県 | 正木 真一郎 | 接触機会を減らす省力化機械の導入により作業の効率性向上を図る。 |
| 兵庫県 | 藤田 博泰 | 省力化機械導入による省力化 |
| 兵庫県 | 株式会社シンプヤファーム 代表取締役 渋谷博久 | 機械導入による作業効率化と人件費の削減による経営改善事業 |
| 兵庫県 | 為乗 朗 | グレンタック式自脱コンバイン導入による作業効率化 |
| 兵庫県 | 井上 喜一 | 無人販売機導入によるCOVID-19感染拡大防止と販売高向上 |
| 兵庫県 | 井上康弘 | 人員削減と施設滞在時間減少を行い感染リスクを回避 |
| 兵庫県 | 井上篤志 | 自動販売機による濃厚接触機会を削減する無人販売事業 |
| 兵庫県 | 井上 富雄 | 畝たて成型機導入による省力化及び出荷数量の拡大 |
| 兵庫県 | 井上 文二 | 除草作業軽減による生産性向上事業 |
| 兵庫県 | 永岡 治 | 環境にやさしい栽培と省力化技術による品質販売量の向上 |
| 兵庫県 | 金月 幸秀 | 農作業の機械化による労働の省力化及び効率化 |
| 兵庫県 | 冨本 正樹 | 木材チップ導入による土壌改良及び害虫の軽減 |
| 兵庫県 | 鷺野 沙織 | 清掃・梱包作業の効率化による労働力の補填 |
| 兵庫県 | 三浦 一成 | 分業化による作業効率の向上と濃厚接触機会の削減推進事業 |
| 兵庫県 | 三浦 孝 | 作業の効率化による花壇苗品質向上事業 |
| 兵庫県 | 三浦 正夫 | GPS・側条施肥機能付き田植え機導入によるコスト削減 |
| 兵庫県 | 三浦 泰弘 | 野菜包装機導入による作業省力化及び感染拡大防止 |
| 兵庫県 | 三浦 優一 | 継続的な土づくりによる生産性向上事業 |
| 兵庫県 | 三浦 康嗣 | 除草作業の機械化体系の確立による経営改善事業 |
| 兵庫県 | 秋定 正人 | 施設栽培と露地栽培の両立による経営の安定化 |
| 兵庫県 | 渋谷 要 | 人・地球にやさしい農業経営withコロナ 事業 |
| 兵庫県 | 小西 悠介 | ストックの直播栽培計画 |
| 兵庫県 | 松田 茂宏 | 安心な野菜を摂取してコロナに負けない身体を作ろう事業 |
| 兵庫県 | 森本 章夫 | 除草作業軽減による生産性向上事業 |
| 兵庫県 | 森野 和彦 | 栽培期間中化学合成農薬不使用米栽培事業 |
| 兵庫県 | 杉本宗幸 | 作業効率・衛生面管理で、より良い労働環境づくり事業 |
| 兵庫県 | 清水 啓文 | 定植機導入による人件費の削減と作付面積拡大及び感染拡大防止 |
| 兵庫県 | 西金 政彦 | 農業機械のグレードアップによる省力化と濃厚接触削減事業 |
| 兵庫県 | 石丸 雄也 | 自動化機械導入による作業性の省力化・生産力向上事業 |
| 兵庫県 | 石谷 智哉 | ストックの直播栽培による作業省力化と感染リスク対策 |
| 兵庫県 | 赤松 良英 | 良品生産に集中するための作業の省力化及び効率化 |
| 兵庫県 | 谷井 敬一郎 | 栽培用ベンチ導入による品質向上と作業員の接触を減らす環境整備 |
| 兵庫県 | 中田 敏彦 | 感染拡大防止に配慮した農作業の省力化による規模拡大事業 |
| 兵庫県 | 中尾 博文 | リターンカルチによる作業省力化と生産性UP事業 |
| 兵庫県 | 仲西 英喜 | アースオーガ導入による排水の改善と品質の向上 |
| 兵庫県 | 樽本 聡 | イチゴ包装作業の省力化 |
| 兵庫県 | 鶴田 善久 | 情報公開誰でも見学可脱サラ就農モデル経営安定事業 |
| 兵庫県 | 定連 仁 | 作業効率化による規模拡大と作業環境適正化事業 |
| 兵庫県 | 土田 正弘 | 機械化による出荷・堆肥施用作業の省力化事業 |
| 兵庫県 | 廣澤 義敬 | 地域一丸、野菜作り活性化事業 |
| 兵庫県 | 井上 博嗣 | 野菜定植機械の導入事業 |
| 兵庫県 | 永原 弘志 | いちご育苗作業の効率化と新たな品目への取組による規模拡大事業 |
| 兵庫県 | 奥井 重柱 | 地域の食料としての役割を明確にして見える関係をつくる |
| 兵庫県 | 河合 孝治 | 市場出荷の安定化と消費者ニーズに応える直売所販売の強化 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|-------------------------|--|
| 兵庫県 | 櫻原 彰人 | 機械を利用した持続的な営農事業 |
| 兵庫県 | 小池 佳裕 | 省力化機械を導入した農業継続事業 |
| 兵庫県 | 株式会社小池農園こめハウス 代表取締役小池 潤 | 省力化機械の導入による労働時間の削減と作業の効率化 |
| 兵庫県 | 垂井 敏和 | 自走式草刈機の導入 |
| 兵庫県 | 前山 文明 | 集落営農持続に向けた農業経営継続事業 |
| 兵庫県 | 村上 一 | 効率的な経営と感染防止に取り組む新たな農業継続事業 |
| 兵庫県 | 藤本 孝二 | ラジコン草刈機による作業効率向上による稲作管理業務の刷新 |
| 兵庫県 | 二星 敬 | 野菜定植機械導入事業 |
| 兵庫県 | 白川敏弘 | 白ねぎ調整作業省力化および袋詰め作業省力化による品質向上 |
| 兵庫県 | 吉田 昭 | 水田除草機による水稲経営の拡大、HP開設による販売方法の多様化 |
| 兵庫県 | 笠木 洋和 | 環境に優しい省力化技術と土づくりによる品質の向上 |
| 兵庫県 | 玉置 寛明 | 接触機会を減らす省力化技術と栽培環境改善技術で品質向上 |
| 兵庫県 | 農事組合法人高和第一生産組合・寺口 大一 | インターネット販売と購入しやすい販売体系の確立 |
| 兵庫県 | 財田 義隆 | 新規導入機器による作業効率・品質の向上 |
| 兵庫県 | 坂口 敏文 | ハウス内環境の自動制御と遠隔操作の導入 |
| 兵庫県 | 三島 孝博 | お米用の自動選別機導入による省力化と非接触作業化による感染防止の取り組み |
| 兵庫県 | 寺口 一英 | 運搬車の導入 |
| 兵庫県 | 寺本 浩 | スパイダーモアの導入 |
| 兵庫県 | 甘果園 松下 勇人 | バックホー導入 |
| 兵庫県 | 進士 元宏 | 電動運搬車導入による作業の効率化と接触低下によるコロナ感染症防止 |
| 兵庫県 | 田坂 修 司 | 栽培環境の省力化技術による品質向上及び機械の導入による作業の効率化 |
| 兵庫県 | 田中 順 | 人との接触を極力減らし、なおかつ省力化のための機械を導入して土づくりをする。 |
| 兵庫県 | 藤井 和彦 | 稲藁堆肥の混入による有機栽培と減農薬栽培を目指す |
| 兵庫県 | 藤田 幸司 | 新規導入機器による作業効率・品質の向上 |
| 兵庫県 | 藤本 巖 | 運搬車と自走草刈機の導入 |
| 兵庫県 | 藤本 広恵 | 生産作業時における機械化による要因減 |
| 兵庫県 | 有田 真也 | 新たな計量装置導入による調整作業の省力化 |
| 兵庫県 | 鷺尾 二三夫 | 稲作直播栽培(事業) |
| 兵庫県 | 國廣 孝夫 | 感染防止と品質管理徹底の為に空気清浄設置 |
| 兵庫県 | 櫛橋 克治 | 大型機械化、省力化により、感染防止と放棄田畑を防止する。 |
| 兵庫県 | 有限会社 グリーン紫遊 取締役 西馬 良一 | 作業負担の減少と作業性の向上を狙った省力化機械の導入 |
| 兵庫県 | 西馬 和則 | スマート農業の積極的な導入による省力化と持続可能な農業の実現 |
| 兵庫県 | 南 高広 | 省力化機器の導入による作業時間の短縮と収量の安定性の向上 |
| 兵庫県 | 藤田 賢次 | 農作業の効率化と作業そばの収量回復に向けた省力化の実施 |
| 兵庫県 | 竹中 一郎 | コンバインの導入により労働時間削減と省力化、兼業農家の継続 |
| 兵庫県 | 坊坊 孝幸 | 省力化機械の導入による労働時間削減と計画的な設備導入 |
| 兵庫県 | 西馬 昌典 | 共同作業を円滑に進めるため、省力化のための機械を導入し、人員を削減しながら作業効 |
| 兵庫県 | 池本 浩一 | 農作業の効率化と収量販売先回復に向けた省力化の実施 |
| 兵庫県 | 松村 貞勇 | 技術を次世代に継承する菜の花米ブランドの確立を図る。 |
| 兵庫県 | 藤本 克己 | 省力機械の導入による労働時間削減と計画的な設備導入 |
| 兵庫県 | 竹中 敏勝 | 省力化機械の導入による労働時間削減と計画的な設備導入 |
| 兵庫県 | 神出観光どう園 岩坂 要 | 観光ブドウ園のコロナウイルスへの取り組み |
| 兵庫県 | 森岡 繁信 | 作業効率向上のため、省力化機械の導入と感染予防対策の強化 |
| 兵庫県 | 森本 正志 | 設備の近代化、新しい機械の導入 |
| 兵庫県 | 正井 充和 | より高品質で良食味の農産物を食卓にお届けする |
| 兵庫県 | 西馬 正 | 接触機会をなるべく減らし安全な農産物を今後も出荷したい |
| 兵庫県 | 西馬 基生 | 省力化機械の導入による労働時間の削減と設備の導入。 |
| 兵庫県 | 浅原 泰公 | 省力化機械の導入による労働時間の削減と計画的な設備投入 |
| 兵庫県 | 前田 千秋 | 省力化機械導入による作業効率向上と安定的な生産と出荷量の確保 |
| 兵庫県 | 大西 享文 | 施肥付田植機の導入による省力化の実現 |
| 兵庫県 | 大西 光男 | ブロードキャスター導入による 作業効率化・省力化 |
| 兵庫県 | 大西 優作 | 省力化機械の導入による労働時間の削減と能率アップした農業展開 |
| 兵庫県 | 丹田 一宏 | 省力化機械導入による労働時間の削減と品質向上及び面積拡大 |
| 兵庫県 | 中井 義政 | コンバイントレーラーを導入 |
| 兵庫県 | 中井 知広 | 省力化機械導入による労働時間の削減と高品質の農産物の生産 |
| 兵庫県 | 中井 裕美子 | ①カート式噴霧器の導入 ②自動灌水装置の導入 |
| 兵庫県 | 中井 亮介 | 肥料散布機、マルチ回収機、ネットワークカメラ等の機器類導入 |
| 兵庫県 | 中井 良希 | 機械導入による省力体系の確立 |
| 兵庫県 | 中井 良文 | 省力化することにより作業時間を作り体力を維持しながら地域の耕作放棄地の解消に力を |
| 兵庫県 | 長元 和也 | 「観光どう園 園主のコロナウイルスへの取り組み」 |
| 兵庫県 | 長田 真人 | ハウス作業時、扇風機を導入し感染を防ぐ |
| 兵庫県 | 田中 創吉 | 施設栽培・露地栽培両立による強い経営体制づくり |
| 兵庫県 | 田中 隆雄 | 機械導入による省力化と作業場の環境改善への取り組み |
| 兵庫県 | 藤本 英和 | 省力化きかいの導入により少人数での作業を可能にする。 |
| 兵庫県 | 平田 敬士 | 省力化機械の導入、作業場の分別化による対応。 |
| 兵庫県 | 本郷 あゆみ | 都市近郊での無人販売 |
| 兵庫県 | 末松 義弘 | 省力化を図り、健康に留意しながら感染防止を行い経営を進め、生産拡大を図り、売り上 |
| 兵庫県 | 洲上 健一郎 | 人との直接の接触を避け、ウイルスの原因となる作業の削減及び省力化 |
| 兵庫県 | 中井 良博 | 手作業を、コンボを取り入れることにより省力化を図り作業人数を減らす |
| 兵庫県 | 中島 嗣弘 | 省力化機械の導入による労働時間削減と計画的な設備導入 |
| 兵庫県 | 辻 正則 | 省力化機械の導入による労働時間の削減と計画的な設備の導入 |
| 兵庫県 | 芦田 賢太郎 | 無人防除機による作業改善で無理、無駄ムラをなくす |
| 兵庫県 | 安田 美佐江 | 省力化機械の導入による感染症時の業務体制の構築 |
| 兵庫県 | 井上 直美 | 労働時間削減のため機械を導入 |
| 兵庫県 | 金澤 泰之 | 計画的に農業機械・設備の更新を行い、省力化と効率化を図ります。 |
| 兵庫県 | 穴田 泰久 | 省力化をすすめ、集落の農地を請け負って田畑を拡大する。 |
| 兵庫県 | 汐谷 保 | 機械導入により品質の向上と作業時間の削減 |
| 兵庫県 | 松村 定幸 | レザコンテナと昇降機導入による作業効率の向上 |
| 兵庫県 | 増田 卓士 | 省力化機械の導入により、作業効率を上げ規模の拡大に対応する |
| 兵庫県 | 大西 悦次 | 省力化機械の導入により人手の削減及び効率化。 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|-----------------------------|--|
| 兵庫県 | 竹中 正己 | 手植えで行っていた苗の植付作業を定植機を利用することによって作業の時間短縮を図り |
| 兵庫県 | 田中 利樹 | 省力化のための機械導入、環境対応のための機械導入 |
| 兵庫県 | 藤田 泰利 | 省力化機械の導入による労働時間の削減、規模拡大、堆肥の導入。 |
| 兵庫県 | 藤本 猛 | 肥料散布機、動力噴霧機、農業専用車の配備で作業効率の向上 |
| 兵庫県 | 野間 照賀 | 省力化機械の導入による労働時間の削減と計画的な設備導入 |
| 兵庫県 | 香月 誠 | 省力化機械の導入による労働時間の短縮と経費の見直し |
| 兵庫県 | 藤原 強嗣 | 機械導入による人員削減・作業効率化に向けた取組 |
| 兵庫県 | 常石 剛志 | 省力化のための機械・設備等の導入・更新と作業場、施設設備等の消毒の実施 |
| 兵庫県 | 伊藤 新 | 省力化機械の導入による作業効率の向上 |
| 兵庫県 | 合同会社 小麦生活 加古 隆一 | 新規販路開拓 |
| 兵庫県 | 梶 暢彦 | 省力化機械の導入による労働時間の削減と計画的な設備等 |
| 兵庫県 | 古川 明生 | レザークンテナで省力化して作業時間の短縮 |
| 兵庫県 | 高見 智 | 省力化機械の導入による労働時間の削減と計画的な設備導入 |
| 兵庫県 | 坂口 二郎 | 省力化機械の導入による労働時間の削減と計画的な設備導入 |
| 兵庫県 | 山口 浩 | 省力化機械の導入によるソーシャルディスタンスの確保、及び労働時間の削減 |
| 兵庫県 | 田中 達也 | 機械の導入による省力化体系の構築 |
| 兵庫県 | 神尾 武司 | 高性能田植機の導入による、作業の省力化と生産規模の拡大 |
| 兵庫県 | 森 岡 栄 造 | 家族経営からの脱却と次世代に託せる農業の確立 |
| 兵庫県 | 浅川 元子 | 環境にやさしい技術導入による販路拡大と省力化で作業人員減 |
| 兵庫県 | 石井 直樹 | 環境にやさしい省力化技術と土づくりによる米の品質向上 |
| 兵庫県 | 石井 秀樹 | 機械併用作業による省力化・生産量増進 |
| 兵庫県 | 茨木 計雄 | 環境にやさしい無農薬栽培を重視し、尚且つ省力化をめざす |
| 兵庫県 | 今城 里華 | 美味しいは身体に優しい |
| 兵庫県 | 川崎 福子 | 環境・衛生面の改善、作業効率化と土壌づくりによる品質向上 |
| 兵庫県 | 櫛田 峻太 | 機材導入による作業の効率化 |
| 兵庫県 | 黒田 泰嗣 | 省力化(人材・機材)による作業の効率アップ及び品質向上 |
| 兵庫県 | 合同会社 エーススクール 田中 康晃 | 環境にやさしい省力化技術と土づくりによる品質向上 |
| 兵庫県 | 山陽Amnak株式会社 代表取締役 藤田 雅哉 | 機械化による管理省力化による労働生産性の向上 |
| 兵庫県 | 嶋田 広子 | 人との接触を減らしながらも品質向上 |
| 兵庫県 | 田中 良宏 | 自走式法面草刈機と農業用軽トラックの導入による省力化 |
| 兵庫県 | 谷 雅裕 | 人との接触を減らし、一人作業を増やす・土づくりによる品質向上 |
| 兵庫県 | 谷 康廣 | :一過性の従業員と、常時従事者の接触機会の低減による感染リスク低減 |
| 兵庫県 | 谷 裕美 | 就業可能時間の減少を見こした作業労力の低減と、圃場廃棄分の商品化 |
| 兵庫県 | 戸田 誠一郎 | 移植機で省力化による生産性向上 |
| 兵庫県 | 戸田 敏洋 | 農地の作付条件、水はけ等条件の向上 |
| 兵庫県 | 戸田 文雄 | 省力化、土づくりによる品質の向上と安全安心の野菜生産 |
| 兵庫県 | 富岡 俊志 | 案にきれいに補助者にも優しくさらなる使いやすさを |
| 兵庫県 | 中野 久美子 | 生産、流通、販売、消費者に安心・安全な営農活動 |
| 兵庫県 | 萩原 隆喜 | 時間短縮・排ガス・ホコリ対策を行い、環境にやさしい農業を目指す |
| 兵庫県 | 橋本 勝夫 | 機械導入による作業員削減と労働環境の改善 |
| 兵庫県 | 藤田 彰大 | GPS付き機器導入による土づくりと労働環境の改善 |
| 兵庫県 | 藤田 和夫 | 薬剤散布の機械化による労力削減 |
| 兵庫県 | 藤田 聡 | 機械導入による作業の効率化と生産量アップ |
| 兵庫県 | 藤本 益三 | コロナに負けない、後継者を活用した農業の継続と作業の効率化 |
| 兵庫県 | 藤原 よし子 | 機械導入により、三密・労力軽減・時短と作物の品質向上 |
| 兵庫県 | 政井 雅樹 | 環境に優しい省力化技術と土づくりによる品質向上 |
| 兵庫県 | 山口 淳夫 | 袋詰め作業の自動化 |
| 兵庫県 | 山口 浩和 | 感染リスク対策及び省人化対策 |
| 兵庫県 | 和田 恵 | 土づくりによる品質向上と労働環境改善 |
| 兵庫県 | 和田 龍好 | 土づくりによる品質向上と省力化、時間短縮による労働環境の改善 |
| 兵庫県 | 嘉藤 一夫 | 機械の導入によって、人との接触を減らす。 |
| 兵庫県 | 吉川 典久 | 作業の省力化により人との接触を防ぎ、効率化と売り上げの向上を目指す。 |
| 兵庫県 | 小山 茂 | 密の解消・省力化の実現、喚起の徹底、生産力の向上を目指す |
| 兵庫県 | 沼田 重幸 | 省力化機械の導入による作業効率の向上と感染防止 |
| 兵庫県 | 正木 孝速 | 省力化設備の導入による労働時間の削減と計画生産 |
| 兵庫県 | 正木 修 | 倉庫改修による作業場拡大、作業環境の整備 |
| 兵庫県 | 西海 久雄 | 遊休農地の根絶と米の品質向上 |
| 兵庫県 | 株式会社 ナチュラリズム 代表取締役 大皿 一寿 | 大麦、小麦生産の強化及び共同作業の実施 |
| 兵庫県 | 池上 義貴 | 除草と有機物投入を省略化した新技術及びWEBページの開設による販路開拓 |
| 兵庫県 | 竹内 あや | 感染対策をとりつつ機械導入により省力化、効率化 |
| 兵庫県 | 北井 周一 | 接触機会を減らし、作業の省力化を図るために機械を導入する |
| 兵庫県 | 北井 保 秀 | 作業の省力化とバイオスティミュラントを活用した持続可能農業 |
| 兵庫県 | 北川 正之 | 省力化機械の導入による労働時間の削減と従事者の安全確保 |
| 兵庫県 | 水澤 充 | |
| 兵庫県 | 株式会社Agreem KOBE 代表取締役 萬谷 智咲 | 玉ねぎの生産・販売の拡大を柱に対面作業を回避した上での省力化 |
| 兵庫県 | 赤松 順子 | あげの草刈りを機械で省力化 |
| 兵庫県 | 赤松 利広 | 機械導入で省力化し、感染対策に努める |
| 兵庫県 | 浅井 俊博 | 高品質野菜のリモート管理型環境制御栽培による生産・売り上げの拡大 |
| 兵庫県 | 敦見 裕充 | FG出荷への切り替え |
| 兵庫県 | 今井 孝治 | 感染症対策に努め、作業効率化により生産量拡大・所得回復に取り組む。 |
| 兵庫県 | 今井 健夫 | スパイダー草刈り機を導入し2人作業を1人作業で感染防止を図る |
| 兵庫県 | 碓永 徳重 | 省力化による作業効率の向上・省人化による密の回避 |
| 兵庫県 | 碓永 芳輝 | 業務内容の合理化・省力化をすすめ収益の上がる経営を目指す。 |
| 兵庫県 | 梅谷 宏樹 | 省力化の為の新規機械の導入と作業環境の改善 |
| 兵庫県 | 岡野 靖司 | 省力化で技術力向上し品質の向上を勧める |
| 兵庫県 | 木下 真規 | 稲葉利用による高収益果樹の品質安定生産 |
| 兵庫県 | 佐藤 洋彰 | 省力化による仕事の効率アップと収益の向上 |
| 兵庫県 | 佐野 正和 | 高機能の移植機導入 |
| 兵庫県 | 高見 博幸 | 移植機を購入して、作業効率をあげることにより、接触機会を減らす。 |
| 兵庫県 | 竹内 貢 | 機械化による効率化及び品質向上・安定供給 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|-------------------------|---|
| 兵庫県 | 立花 宏昭 | 省力化・接触機会を減らす有機農業を行う。 |
| 兵庫県 | 谷本 尚美 | 省力化機械・付属品の導入による労働時間の削減と計画的な設備導入と感染予防 |
| 兵庫県 | 橋本 齊 | 労働量確保が困難になるため省力化機械を導入 |
| 兵庫県 | 林 毅 | 日射制御型拍動灌水装置の導入 |
| 兵庫県 | 久國 二郎 | 品質向上と省力化・省人化を図り、経営安定を目指す |
| 兵庫県 | 久森 義郎 | 自走式草刈機を導入 |
| 兵庫県 | 藤井 伸彦 | 機械による省力化で事業継続に努める |
| 兵庫県 | 藤澤 淑久 | 一人作業への設備対応 |
| 兵庫県 | 藤田 充 | 省力化で技術力が向上し品質の向上を助める |
| 兵庫県 | 藤原 俊昭 | バッテリー式運搬車を導入 |
| 兵庫県 | 藤原 博行 | ハウス内環境 空気浄化計画 |
| 兵庫県 | 藤原 昌之 | 機械化による接触機会を減らした雇用者が安心できる職場づくり |
| 兵庫県 | 前田 常貴 | 省力化機械導入による面積増加の対応 労働力の確保 |
| 兵庫県 | 松井 雅広 | |
| 兵庫県 | 水澤 裕文 | 感染時の経営継続の体制構築と、作業効率化による品質・所得向上。 |
| 兵庫県 | 安尾 憲太郎 | 施設内の設備導入による品質向上化 |
| 兵庫県 | 安尾 浩明 | 複数で行っていた農作業を専用機械を使用する事により、密接を避けソーシャルディスタ |
| 兵庫県 | 安福 健剛 | 省力化により、人員削減(接触を減らす)・品質と経営の安定 |
| 兵庫県 | 安福 博旨 | 機械導入による効率化と販路回復・維持・拡大 |
| 兵庫県 | 安福 雅信 | モアの導入 |
| 兵庫県 | 安福 元章 | 深耕・反転耕起による地力増進・品質向上。 |
| 兵庫県 | 山本 達也 | 草刈作業の省力化 |
| 兵庫県 | 山本 正樹 | 機械化等の設備投資による労力軽減・品質向上 |
| 兵庫県 | 吉岡 義彦 | 田植機の購入 |
| 兵庫県 | 吉田 正泰 | 機械化導入により省力化を図る。 |
| 兵庫県 | 萬谷 廣行 | 玉葱の生産・販売・販路拡大 |
| 兵庫県 | 吉田 英雄 | 作業時の三密を少なくする、作業の効率化を図る。 |
| 兵庫県 | 株式会社キヤルファーム神戸 | 直接販売及び、体験農園による、個人客増加への取組 |
| 兵庫県 | 株式会社川西牧場 川西 巖 | 自社牧場における繁殖・肥育の一貫経営への転換 |
| 兵庫県 | 農事組合法人 うすなが農畜産組合 碓永 嘉彦 | 分娩監視システム等による子牛生産力の強化、労働力の省力化 |
| 兵庫県 | 池本 俊彦 | ICT機械導入による軽労化 |
| 兵庫県 | 吉川 隆士 | 高速度で田植のできる機械の導入により応援者との接触時間の短縮を図る事で感染対策と |
| 兵庫県 | 室山 典之 | 「労働力省力化及び新型コロナウイルス感染防止の為の機械化 |
| 兵庫県 | 林 英孝 | 作業等の効率化と機械化に取組 |
| 兵庫県 | 萩 利志生 | 布袋を持たなくてよいコンバインを導入 |
| 兵庫県 | 中西 賢 | 農業における新型コロナウイルスに対する経営安定促進 |
| 兵庫県 | 勝見 禎諒 | 管理機の導入による省人化及び省力化 |
| 兵庫県 | 白阪 末雄 | 全自動草刈り機の導入による草刈り作業の省人化と効率化 |
| 兵庫県 | 林 直行 | 側条施肥の可能な田植機の導入による省力化と効率化を図る |
| 兵庫県 | 富谷 勉 | 省力化機器導入による労力の削減と省人化 |
| 兵庫県 | 林 和彦 | 作業機械導入による効率化と感染リスク減少 |
| 兵庫県 | 新田 穰 | 側条施肥の可能な田植機の導入による作業の効率化と省人化 |
| 兵庫県 | 内藤 富美代 | 管理機RV黒大豆土寄せセットDX導入により、作業効率を上げ作業人員を減らし、密着 |
| 兵庫県 | 中西 重喜 | 有機栽培での手取除草での密をなくすため、水田駆動除草機を使用し密を避け効率化を計 |
| 兵庫県 | 大町 宗弘 | 地域の耕作放棄地を減らすため、機械化により規模拡大。 |
| 兵庫県 | 菅野 雅章 | コロナの影響によりお酒の需要が減少し、より良い酒米が求められるため品質向上に努める |
| 兵庫県 | 河野 文孝 | イベント等の販売から、ネット販売への転換と、加工品への取り組み。 |
| 兵庫県 | 血池 正則 | 機械化により省力化し、次世代がしやすくなる環境作りに取り組む。 |
| 兵庫県 | 真下 辰一 | 人との接触を減らすために、新たにネット販売を開拓し作業効率を30%UPする。 |
| 兵庫県 | 池鍋 秀和 | コロナ対策白大豆自動色彩選別機の導入 |
| 兵庫県 | 小西 元八 | 省力化・効率化による感染防止対策 |
| 兵庫県 | 畑中 正和 | 共同作業による感染症軽減事業 |
| 兵庫県 | 中井 久雄 | 販売力をあげる！ |
| 兵庫県 | 農事組合法人 神戸ビーフ 山垣和宏 | フオークリフト・換気扇の導入による作業効率の向上と畜舎環境の改善に伴う経営継続 |
| 兵庫県 | 中川 優 | 作業所を統合、作付け拡大等により売上の回復と感染拡大防止 |
| 兵庫県 | 和田 茂 | 秋作業時の感染リスク低減と、食用米の品質向上による販売拡大 |
| 兵庫県 | 辻井 稔 | 作業の機械化を行い、作業員の密集・密接を防ぎ、重労働の軽減を図る |
| 兵庫県 | 中川 賢志 | 農業機器導入による作業効率化。短縮時間を品質向上に当てる。 |
| 兵庫県 | 宮脇 宏文 | 防除機を導入し安定した商品の販売、作業の省力化、生産数維持及び増産 |
| 兵庫県 | 相良 正巳 | 新型コロナウイルスの影響を待ちする商品を増やしネット販売をする |
| 兵庫県 | 藤本 和宏 | コロナ対策で蜜を避ける為機械を導入し生産量増大にも寄与する。 |
| 兵庫県 | 中谷 有希 | オーナー制・黒大豆のインターネット販売の導入、黒大豆の品質向上、省エネ・省力化の |
| 兵庫県 | 石井 孝政 | 省力資材の導入による面積拡大・効率化・接触機会の減少 |
| 兵庫県 | 藤原 浩之 | 土づくりによる品質向上、機械導入による省力化 |
| 兵庫県 | 藤原 敏充 | 生産面積拡大の為、機械化による省力化 |
| 兵庫県 | 片山 保一 | 誰でも運転できる、接触機会を減らす単独作業の効率化AT軽トラ導入 |
| 兵庫県 | 山下 敬和 | 稲作生産の省力化と集落営農組織の強化 |
| 兵庫県 | 小西 康朗 | 農業散布ドローン納入事業 |
| 兵庫県 | 淡河花き部会 部会長 吉田 栄男 | 出荷作業を省力化し蜜を避け品質保持環境を整え販売高増大を目指す |
| 兵庫県 | 株式会社 東馬場農園 代表取締役 東馬場 伶司 | 自動農業散布ロボット及びブローワーの導入による感染拡大防止 |
| 兵庫県 | 木下 健二 | 米の収穫作業時の人員の削減及び作業の省力化の取り組み。 |
| 兵庫県 | 樋口 和広 | 露地野菜品目作付け拡大を目指した定植作業の機械化 |
| 兵庫県 | 芝野 博章 | 水稲作業の効率化と安全性向上の取り組みにむけた機械導入 |
| 兵庫県 | 植田 達士 | 水田を維持し野菜栽培面積を拡大するための作業環境整備 |
| 兵庫県 | 木下 茂嘉 | 省力化資材と感染予防材の導入で、生産及び経営の継続に努める。 |
| 兵庫県 | 松原 伸元 | 農作業の効率化向上及び販売開拓による接触機会の減少の取り組み。 |
| 兵庫県 | 岡 博文 | 酒米の売り上げに頼らない作物の生産の実施を行う |
| 兵庫県 | 金久 豊 | 効率の良い機械を導入することによる省エネ・省力化・少人化への取り組み |
| 兵庫県 | 小畑 賀津子 | 水稲栽培での労力削減と効率化の向上 |
| 兵庫県 | 北芝 孝男 | 省力・効率化と労力配分を目指した個性ある生産販売体制の取組 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|------------------------------|---|
| 兵庫県 | 上仲 良一 | 高効率機械導入による省エネ、省力化、省人化への取り組み事業 |
| 兵庫県 | 松田 泰稔 | 販路拡大のため、新規店舗への出荷実施 |
| 兵庫県 | 下浦 正士 | 直接接触の少ない集荷への転換、直売所3か所新規出荷(集荷のみ⇒トラック輸送⇒搬入) |
| 兵庫県 | 善入 大介 | 密になりやすい環境を改善し、従業員と消費者の安心につなげる。 |
| 兵庫県 | 株式会社 こうべファーム 代表取締役 奥町 年一 | 米の乾燥調整・袋詰め作業と、畔塗や籾穀処分作業の省力化 |
| 兵庫県 | 上元 清治 | 大型機械の有効活用により、作業時間を減らし、人と人の接触機会を減らす |
| 兵庫県 | 奥田 雅己 | 高設栽培増設による高品質いちごの収穫量向上及びネット販売拡充 |
| 兵庫県 | 山角 和史 | 管理機の新規導入 |
| 兵庫県 | 辻井 豊子 | 作業の効率化・省力化。少人数による作業で感染予防 |
| 兵庫県 | 植田 勝也 | いちごの品質向上で、ブランディング化、ハウス内環境の改善 |
| 兵庫県 | 鷲尾 浩治 | |
| 兵庫県 | 下澤 雅雄 | 売れる品種への転換と機械化による省力化で感染症対策 |
| 兵庫県 | 大西 俊浩 | 最新フォークリフト導入で体に優しい農業を |
| 兵庫県 | 南 清 | 自走式草刈機の導入により省力化し人との接触リスクの軽減 |
| 兵庫県 | 西 勉 | 省力化と感染予防対策をして、地元へフィードバック |
| 兵庫県 | 芝 卓哉 | 草刈作業の効率化。食品加工して、売上げを上げ、コストを削減 |
| 兵庫県 | 一般社団法人北神みそ 代表理事 中西 和子 | 省力化機械を導入し安全な労働環境と製品を提供する |
| 兵庫県 | 山根 康史 | 農業機械導入により農作業の省力化と農産物の品質向上を図る |
| 兵庫県 | 根 木 伸 文 | いちご狩り売上減少に対して収穫～出荷で販売額増加へ向けた整備 |
| 兵庫県 | 有)西牧場 西 昭彦 | ミストの導入と伝染病対策車両消毒マットの整備による経営継続 |
| 兵庫県 | 西 啓之 | 自走式ロールペーラーの導入による作業効率の向上に伴う経営継続 |
| 兵庫県 | (株)原田いちごファーム(代)原田真司 | 作業軽減と換気効率の向上 |
| 兵庫県 | 眞造 達夫 | スマート農業による省力化・低コスト化水稲作業の実践 |
| 兵庫県 | 中上 之 仁 | スマート農業・環境制御技術によるハウストマトの収量増加 |
| 兵庫県 | 吉本 章 | 人の接触を減らし作業効率の向上。自家産牧草生産による低コスト化 |
| 兵庫県 | 株式会社 千丈寺農産 代表取締役 仲田 嘉典 | 省力化機械・資材の導入による人員削減 |
| 兵庫県 | 吉本 大佑 | 繁殖管理装置・スタンションによる効率化・人員の省力化。 |
| 兵庫県 | 田中 実 | 園芸作物の定植・土寄せ作業の機械化 |
| 兵庫県 | 有限会社テスタモンテ 代表取締役 東和田文之 | 人件費削減・販路新規開拓 |
| 兵庫県 | 小野 梢 | 換気による感染防止対策の実施と、運搬車による省力・省人化 |
| 兵庫県 | 檜田 幸吉 | 作業車には一台に一人以上乗らない マスク着用 手洗い 時間をずらす |
| 兵庫県 | 米谷 聡 | 生産・収穫・出荷・販売作業の省力化・省人化 |
| 兵庫県 | 辻本 由美子 | 機械導入による省力化 |
| 兵庫県 | (株)おおいに農園 (代)大西則和 | ハウス栽培の自動化による省力・省人化で感染予防対策の実践 |
| 兵庫県 | 前中 広和 | トラクター・運搬機の導入による農産物の生産・収入補填 |
| 兵庫県 | 有坪 民雄 | 人員削減のためのドローン導入 |
| 兵庫県 | 新谷 仁志 | 生産力向上と省力化対策事業 |
| 兵庫県 | 室山 浩 | 機械導入による作業の効率化 |
| 兵庫県 | 稲鍵 文彦 | 機械化によりローコスト経営を目指し、従業員の健康を守る |
| 兵庫県 | 蓬菜宣俊 | 省力化による接触機会の減少と牛舎内の間に対策を徹底する。 |
| 兵庫県 | 円丁 一良 | ヘルパーが安全に働きやすい環境とし、消毒を継続実施する。 |
| 兵庫県 | 今枝 宏治 | 機械導入による作業の単独化と規模拡大、WEBと宅配による販路拡大 |
| 兵庫県 | 仲 美都志 | 機械導入による人員削減 |
| 兵庫県 | 森本 久之 | 機械農業導入による効率化と地域農業への継承 |
| 兵庫県 | 森井 豊 | 省力省人化によるコロナ感染リスクを軽減するための機械導入事業 |
| 兵庫県 | 河池 均 | 管理機(土寄せ機)の導入による省力化と面積拡大 |
| 兵庫県 | 大川瀬富農株式会社 代表取締役 岡本 義久 | 黒大豆オーナー制の継続・発展のための基盤整備 |
| 兵庫県 | 田中 茂和 | 3密環境のコメ調整作業で、機械化と省力化で感染リスク低減。 |
| 兵庫県 | 下浦 篤 | 自動灌水装置による省力化と収量の増加 |
| 兵庫県 | 中西 郁 | 機械導入による六次産業化と販売方法の転換並びに販路開拓 |
| 兵庫県 | 荒川 成美 | 機械導入による除草の省力化とオーガニック移行 |
| 兵庫県 | 株式会社JP MEGA FARM 代表取締役 妻鹿 亮輔 | 販売ページの開設による新たな販路の開拓 |
| 兵庫県 | 植谷 晃一 | 販売チャンネルの多様化 |
| 兵庫県 | 久山 敬二 | 密集作業回避と品質向上、感染拡大のための機器導入事業 |
| 兵庫県 | 福田 秀章 | 持続可能な生産体制の確立。 |
| 兵庫県 | 奥野 直実 | 「人と地球にやさしい農と食 2020～」 |
| 兵庫県 | アグリラボヤマジ株式会社 代表取締役 海山 鐘二 | 環境に配慮した省力化技術の導入と、土壌細菌による品質向上 |
| 兵庫県 | 伊藤 祐介 | ウイングモア導入による防草作業効率と作業者接触機会の減少等 |
| 兵庫県 | 森崎 真優美 | めざせ、農産物のクリーンアップ! ~クイック&タッチレス調整~ |
| 兵庫県 | 東 純平 | にじんじん洗浄機導入による効率化を図り接触機会を減らす |
| 兵庫県 | 農事組合法人十倉農組合 | ソーシャルディスタンスのとれた地域特産物の黒大豆振興 |
| 兵庫県 | 農事組合法人小柿農 | 喫緊の課題獣害対策とPRホームページ作成による販売の拡大 |
| 兵庫県 | 西条 光治 | 自動灌水の取り組み |
| 兵庫県 | 小林 伯夫 | 作業人員の省力化・接触減のための機械化事業 |
| 兵庫県 | 溝畑 晃 | 農産物の新規販売方法の開拓、並びに作業の効率化 |
| 兵庫県 | 塚本 真守 | 機械化による生産性の向上 |
| 兵庫県 | 農事組合法人 三田酒井農園 代表 酒井 靖子 | 新しい出荷資材の導入による労力削減・人員削減 |
| 兵庫県 | 坂西 健治 | コロナ禍に負けない強い農業体制への取り組み |
| 兵庫県 | 山田 啓郎 | 運動スタンション設置による省力化、トイレ設置による感染予防 |
| 兵庫県 | 森本 守 | 省力化のための機械・設備の導入・更新 |
| 兵庫県 | 前田 和宏 | 機械導入省力化で密を避けて品質の良い物作ってお届けします。 |
| 兵庫県 | 南 弘 | 肥料等散布機の導入及び自動選別計量機の更改 |
| 兵庫県 | 乙馬 光宏 | 畝立成型機、マルチャー導入による接触機会の減少と作業効率化 |
| 兵庫県 | 尾栢 稔 | 冬季施設栽培での収量増加 |
| 兵庫県 | 福岡 英明 | 機械導入による省力化と人員削減 |
| 兵庫県 | 上青野農組合 組合長 森元 和夫 | 枝豆の出荷調整施設の導入による省力・省人化事業 |
| 兵庫県 | 株式会社 ながしお農場 代表取締役 永 塩 有 | 機械導入による省力化と人員削減 |
| 兵庫県 | 松本 圭央 | 機械による省力化への取組 |
| 兵庫県 | 田畑 浩一 | ニンジン洗浄機導入による効率化と密の回避 |
| 兵庫県 | 前川 正男 | 省力化機械の導入による労働時間の削減と計画的な設備導入 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|-----------------------------|---|
| 兵庫県 | 畑本 一男 | 田植え同時処理(肥料・農薬)可能田植え機導入による作業効率改善 |
| 兵庫県 | 西田 均 | 経営継続のための省力、省人、効率化を目指した強い生産体制作りへの取り組み |
| 兵庫県 | 南 豊 | 省力化、環境・安全対応等のための機械の導入 |
| 兵庫県 | 有限会社 梅脇牧場 代表取締役 梅脇 成公 | カーフハッチ導入による接触低減で安全の確保 |
| 兵庫県 | 阪本 恵子 | 都市近郊有休農地の利用・生産効率向上のための事業 |
| 兵庫県 | 古東 寛章 | 役割分担の明確化と作業効率の向上並びに安定生産への挑戦 |
| 兵庫県 | 阪上 淳子 | 果樹園草刈り・剪定・枝処分作業接触機会削減事業 |
| 兵庫県 | 溝口 美都子 | 乾燥野菜等加工品の充実 |
| 兵庫県 | 松屋 喜三郎 | 農業を続けていくために労力の低減を目指した取り組み |
| 兵庫県 | 相山 尚和 | 温室の増設ならびに最新空調設備の導入 |
| 兵庫県 | 今中 一郎 | 作業の機械化による感染防止対策 |
| 兵庫県 | 鳴海 武 | 荷造りの省力化機械の導入により労働時間と接触機会を削減。 |
| 兵庫県 | 株式会社玉珠 代表取締役中西健二 | 太ねぎ等の作業を効率化し、新たな働き方を作る。 |
| 兵庫県 | 井上 孝男 | 無人販売へ転換を行う事で、人の接触を減らし、24時間体制の販売を可能にし、増収 |
| 兵庫県 | 北田喜彦 | 【環境制御システムを利用した栽培確立と新たな販売形態に挑戦する】 |
| 兵庫県 | 北田敏治 | 【環境制御システムを利用した栽培確立と新たな販売形態に挑戦する】 |
| 兵庫県 | 吉村 義信 | 資材の導入により作業効率を向上し人との接触をへらす |
| 兵庫県 | 吉村光晴 | 野菜用自動販売機を設置することによる販路(売上)拡大 |
| 兵庫県 | 高木 健治 | 無人販売機の設置により、接触を減らした販売をおこなう |
| 兵庫県 | 古塚純平 | 接触機会削減の為に環境制御及び販売面の拡充 |
| 兵庫県 | 西口 昌利 | 作物の収穫から出荷までの保存期間商品の鮮度および安定を図る。 |
| 兵庫県 | 今北芳生 | ドローンを導入し、3人で作業していた防除作業を、1で行う。 |
| 兵庫県 | 山下 正司 | 稲作における作業の省力化・省人化 |
| 兵庫県 | 西村 彰夫 | 機械化による作業省力化及び人員削減 |
| 兵庫県 | 島中 新二 | 機械導入による作業省力化・コロナに左右されない販売方法の確立 |
| 兵庫県 | 西治 二郎 | 無人販売機導入によるコロナに左右されない販売方法の確立 |
| 兵庫県 | 笹原 篤史 | 感染予防策を施し、今年度の観光農園実施を目指す |
| 兵庫県 | 時水 義治 | 機械導入による省力化で質の良いいちじくをたくさん生産する |
| 兵庫県 | 小寺 清隆 | 直売・オーナー制ハウスの消毒及び省力化体系の確立 |
| 兵庫県 | 小山 正之 | トラックによる無人販売・移動販売の実施 |
| 兵庫県 | 芦田 茂 | 日持ちする作物へ転換をすることで、収入の安定化を図る。 |
| 兵庫県 | 松浦 三義 | 作業の省力化と連作土壌の再生によるトマトの収量増加と品質向上 |
| 兵庫県 | 西川 裕雄 | 省力化と土づくりによるナスの品質向上と栽培品目の増加 |
| 兵庫県 | 阪上 一寛 | 自宅直売所の無人化 |
| 兵庫県 | 辻 康博 | 液肥混入器の導入による省力化と栽培状況にあわせた最適施肥 |
| 兵庫県 | 久保 繁 | 畝たて機によるマルチ作業の効率化 |
| 兵庫県 | 阪部 和夫 | 灌水の省力化と数値化による作物の品質向上 |
| 兵庫県 | 一般社団法人 ファーム神津 | 省力化機械の導入による労働時間の削減と計画的な栽培体系造り |
| 兵庫県 | 中島 弘喜 | ロボット防除機による作業効率化と自動販売機による無人直売所化 |
| 兵庫県 | 神田 徂迪 | ネギむき機の導入による省力化と栽培量の増加 |
| 兵庫県 | 前田 陽一郎 | トラクター作業の機械化 |
| 兵庫県 | 古結 正 | 自宅直売所の改造 |
| 兵庫県 | 阪上 孝男 | 省力化と土づくりによるかんしょの品質向上と栽培品目の増加 |
| 兵庫県 | 株式会社アソシアディスカバリー 代表取締役 西田明光 | 人員負担を軽減する為の機械化導入により効率化を図る |
| 兵庫県 | 上殿 美仁 | 稲作の省力化と新たな営農体制の推進 |
| 兵庫県 | 大嶋 重徳 | 農業機械の整備による接触機会の減少、省人化体系の確立 |
| 兵庫県 | 加味 智彦 | 農業機械の整備による接触機会の減少、省力化体系の確立 |
| 兵庫県 | 熊井 芳信 | 農業機械の整備による接触機会の減少、省人化体系の確立 |
| 兵庫県 | 農事組合法人スリーエス営農組合 代表理事 久保義則 | 農業機械の整備による接触機会の減少、省人化体系の確立 |
| 兵庫県 | 片山 徹 | 農業機械の整備による接触機会の減少、省人化体系の確立 |
| 兵庫県 | 田中 義時 | 機械導入による省力化、換気による従業員、お客さん確保 |
| 兵庫県 | 辰己 喜一 | 農業機械の整備による接触機会の減少、省人化体系の確立 |
| 兵庫県 | 津里 栄正 | 省力化機械の導入により労働力不足と品質向上 |
| 兵庫県 | 堂阪 秀雄 | コロナにも負けない生産体制を確立するための省力化を図る |
| 兵庫県 | 富永剛志 | 農業機械の整備による接触機会の減少、省人化体系の確立 |
| 兵庫県 | 中野 耕太郎 | 農業機械の整備による接触機会の減少、省人化体系の確立。 |
| 兵庫県 | 中村 賢司 | 機械装置等費・農業機械の整備による接触機会の減少、省人化体系の確立 |
| 兵庫県 | 橋本 佳之 | 地域資源を活かした持続的農林業環境整備事業 |
| 兵庫県 | 畑 正敏 | 農業機械の整備による接触機会の減少、省人化体系の確立 |
| 兵庫県 | 鍋谷 淑子 | 農業機械の整備による接触機会の減少、省人化体系の確立 |
| 兵庫県 | 前西 治 | 農業機械の整備による接触機会の減少、省人化体系の確立 |
| 兵庫県 | 栴川 隆博 | 農業機械の整備による接触機会の減少、省人化体系の確立 |
| 兵庫県 | 紫合 崇絵 | 水稲生産効率化による園芸作物の生産拡大事業 |
| 兵庫県 | 松本 安弘 | 稲作の省力化と規模拡大 |
| 兵庫県 | 小林 一茂 | 水田溝切機導入による品質向上および省力化 |
| 兵庫県 | 藤本 和敬 | 農業散布用並びに直播ドローン |
| 兵庫県 | 西山 哲也 | 色彩選別機の導入による作業効率の向上と品質向上 |
| 兵庫県 | 末廣 茂美 | JAみのり指導の下、良質米の生産により消費拡大を目指す |
| 兵庫県 | 農事組合法人 曾我営農組合 代表理事組合長 竹内 康隆 | 播種機導入による作業効率の向上と作業人員の削減 |
| 兵庫県 | (株)英耕ファーム・堀田 耕紀 | 省力化機械の導入による作業効率の向上 |
| 兵庫県 | 伊藤 智彦 | 稲作において省力化の為に籾殻散布コンテナの導入 |
| 兵庫県 | 株式会社 岡本営農互助会 代表取締役 藤井悦雄 | 農業散布用ドローンを活用し、効果的な農業散布をする。 |
| 兵庫県 | 依藤 幹男 | 放置田も含めて、経営規模拡大のチャンスと捉える。 |
| 兵庫県 | 石古 哲也 | 省力化機械の導入による労働時間の削減と新規事業の開拓 |
| 兵庫県 | 大西 喜久 | 作業従事者の感染防止 |
| 兵庫県 | 井上 智恵子 | 設備投資による作業効率の向上 |
| 兵庫県 | 細田 英明 | 省力的、一貫化による高付加価値高収益の黒大豆の栽培方法の確立 |
| 兵庫県 | 吉田 研一 | 丹波黒大豆への生産シフト |
| 兵庫県 | 足立 洗輔 | 接触機会を減らす生産方法への転換及び作業効率の改善 |
| 兵庫県 | 吉田 茂雄 | 接触機会を減らす生産方法への転換及び作業効率の改善 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|---------------------------|--|
| 兵庫県 | 吉仲 康二 | 黒大豆安定生産及び生産拡大への取り組み |
| 兵庫県 | 篠原 督佳 | 接触機会を減らす生産方法への転換及び作業効率の改善 |
| 兵庫県 | 谷尾 諭 | 自動操舵システム付田植機導入(施肥機・除草剤散布機・防除剤散布機付) |
| 兵庫県 | 溝端 明生 | 空中散布による省力化と省人化の強化 |
| 兵庫県 | 上月 邦弘 | 飯米の直販を拡大すべく、販路網の拡充を進めております。 |
| 兵庫県 | 藤川 克弘 | 日本酒の消費低迷を受け、玉ねぎの機械化、規模拡大をはかる。 |
| 兵庫県 | 有限会社 三草酪農場 代表取締役 佐治一行 | 上質堆肥の生産販売 |
| 兵庫県 | 農事組合法人 稲尾下宮農組合 代表理事 竹本義治 | 水稲における動力式運搬車導入による省力化、作業効率の向上 |
| 兵庫県 | 二杉 圭一 | 醸造用米から、うるち米への転換し販売先の確保 |
| 兵庫県 | 朝井 千尋 | 農業用ドローン導入による作業の省力化 |
| 兵庫県 | 朝井 嘉都由 | トラクター取付け用草刈り機導入による感染予防と人員削減を図る。 |
| 兵庫県 | 内橋 勝信 | 豆刈機導入による収穫作業の省力化 |
| 兵庫県 | 村上 正典 | 農業用ドローンの導入による施肥・防除作業の省力化 |
| 兵庫県 | 平田 一雄 | 土壌改善による面積当たりの収量増加を図る。 |
| 兵庫県 | 松原 豊樹 | 田植機導入による資材費削減、省力化作業を目指す。 |
| 兵庫県 | 栢田 翔太 | ドローン導入による低コスト生産を目指す。 |
| 兵庫県 | 藤原 久和 | フレコン出荷軽量機導入による密集作業の回避 |
| 兵庫県 | 東野 豊 | 新たに園芸作物(じゃがいも)に取組み、収入確保に取り組む。 |
| 兵庫県 | 藤井 義光 | 園芸作物(黒大豆)の面積拡大による収支改善 |
| 兵庫県 | 藤井 信彰 | 水稲主体の経営から園芸作物(黒大豆)面積拡大、収支確保を図る。 |
| 兵庫県 | 神月 芳博 | 園芸作物(黒大豆)での収支確保 |
| 兵庫県 | 株式会社AgLiBright 藤岡啓志郎 | 生産代替による農薬・肥料散布の高頻度化に伴う機械投資 |
| 兵庫県 | 芦田 芳明 | 移植機の導入による作業の省力化 |
| 兵庫県 | 遠藤 義則 | 省力化に通じる機械導入 |
| 兵庫県 | 樹着荷営農組合 代表取締役 今中佳昭 | フォークリフト作業による接触機会を減らし人員削減 |
| 兵庫県 | 神崎 明 | 棚田保全省力化事業 |
| 兵庫県 | 高澤 充洋 | 黒大豆兼用型中耕培土機導入によるコロナ感染機会消滅 |
| 兵庫県 | 藤田 慎平 | 機械化による省力、密にならないための感染防止対策 |
| 兵庫県 | 上羅 晋司 | 1人でも(女性でも)可能な収穫・運搬・搬出体系の確立 |
| 兵庫県 | 松本 圭司 | 除草の機械化による省力化及び労働力の分散 |
| 兵庫県 | 石田 英也 | 感染防止をしながら送り箱で知名度UPによる販売力強化事業 |
| 兵庫県 | 清原 義雄 | WEB事業を活用した販売送信事業の推進 |
| 兵庫県 | 國嶋 政丞 | 液肥混入機を設置しコロナ禍における省力化を図る |
| 兵庫県 | 桐畑 直矢 | 中山間地域における省力化実現の為、農業散布用ドローン導入 |
| 兵庫県 | 小西 大次郎 | フォークリフト導入による接触機会を減らす生産方式への転換 |
| 兵庫県 | 西田 純也 | 自動田植機の導入により作業時の補助者の削減 |
| 兵庫県 | 西田 昇一 | 収穫機の導入によって、作業員の接触機会を減らす。 |
| 兵庫県 | 農事組合法人 エコファーム多田 代表理事 西田悦治 | 黒大豆直販計画、脱粒豆(中間製品)出荷から製品豆の直販化 |
| 兵庫県 | 中居 稔雄 | 酒販減少による、酒米生産調整での主食用米への品種変更 |
| 兵庫県 | 田中 進 | 酒造好適米からうるち米に転換し、近隣に販売先の確保をおこなう。 |
| 兵庫県 | 屋度麦秋会 会長 服部 雅幸 | もち麦の品質向上と量産化と新しい作業、体制の導入 |
| 兵庫県 | 藤川 正幸 | ドローン導入による作業効率の向上と濃密作業の回避 |
| 兵庫県 | 井上 茂樹 | ドローン導入による濃密作業の回避 |
| 兵庫県 | 山田 卓也 | webページの開設により販売先の開拓と色選機による品質向上 |
| 兵庫県 | 秋山 正人 | 新規機材の導入により人員削減と生産の効率化をはかる |
| 兵庫県 | 津田 博基 | 事業継続により新規作付けの取り組みと販路開拓をする。 |
| 兵庫県 | 神戸 宣明 | 持続可能な自立的営農を目指した省力化と高収益化 |
| 兵庫県 | 湯永 耕平 | 農業体験者の密接判明の回避。農機具の導入による人的作業の省力化 |
| 兵庫県 | 西田 時雄 | フォークリフト導入による省力化と効率up |
| 兵庫県 | 古跡 真一 | ロボット草刈機の導入及び直売所の感染防止対策。 |
| 兵庫県 | 株式会社 玄米屋 代表取締役 藤本武彦 | 繁忙期の排水作業における効率化と省力化 |
| 兵庫県 | 高橋 強 | 共同作業が不可欠な今日、営農体制の構築と地域環境を守ること |
| 兵庫県 | 株式会社援農みのり 代表取締役社長 神澤友重 | 高性能機械の導入による人員削減と安全作業体制、 |
| 兵庫県 | 藤浦 哲也 | 機械装置の導入により密の低減及び生産効率の向上と品質の向上 |
| 兵庫県 | 宮脇 明 | 需要回復への転換活動 |
| 兵庫県 | 西山 貴之 | 新規田植機導入による、米の高品質化と経費削減 |
| 兵庫県 | 小藤 義勝 | 玉葱播種機、移植機導入 |
| 兵庫県 | 吉水 速生 | 省力型水稲栽培 |
| 兵庫県 | 畑 洋三 | 水稲栽培において、最も作業の集中する農繁期(3~7月)を人員削減しながら乗り切る |
| 兵庫県 | 生田 忠美 | 生産・収穫圃場で作業員間の接触を減らすための省力化機械の導入、コロナウイルス第二 |
| 兵庫県 | 畑中 良太 | ドローン導入による負担軽減と安心・安全な製品作りの場の確保 |
| 兵庫県 | 戸田 侔 | 高齢者から若者に労働力のアップするため |
| 兵庫県 | 西山 農 | ホイールローダー導入による省力化と接触機会の軽減を図る。 |
| 兵庫県 | 井藤 義治 | 選別機による品質向上により特上米比率が増加し、売上1800万円を目指す |
| 兵庫県 | 谷口 高史 | 山田錦の需要が落ちる分、多角的に黒大豆や他の作物割合を上げる。 |
| 兵庫県 | 田尻 信生 | ドローンの導入による作業の効率化 |
| 兵庫県 | 岩崎 弘明 | 岩崎農園:作業機械の購入と衛生対策 |
| 兵庫県 | 朝井 泰年 | ホームページ開設による新たな販路開拓及びPR活動 |
| 兵庫県 | 篠田 重一 | 「霧のいけうち」の設備導入と、トイレ和式便器交換など環境整備 |
| 兵庫県 | 佐藤 慶明 | 霧でソーシャルディスタンス!! |
| 兵庫県 | 山本悠生 | ソーシャルディスタンス確保と省力化の為のカブ洗浄機導入 |
| 兵庫県 | 藤本 和也 | 機械導入により密な接触を防ぎ作業の効率化をはかる |
| 兵庫県 | 有限会社 イザナギ開発 代表取締役 下土井 裕子 | 若手農業経営者の育成と淡路島の地場産業となる為の土台作り |
| 兵庫県 | 定田 敏茂 | 玉葱の冬季(11~2月)収穫で販売拡大と生産体制の確立 |
| 兵庫県 | 森 久則 | 森農園新型コロナウィルス対策プロジェクト |
| 兵庫県 | 田中 正士 | 玉葱移植機導入による生産性向上と接触機会減少 |
| 兵庫県 | 小谷 益宏 | 施肥付田植機導入による効率化省力化低コストで所得減少の緩和 |
| 兵庫県 | 岩城 寛 | 経営継続のための機械導入 |
| 兵庫県 | 森田 寿 | 中山間地における積極的な機械化による持続可能な家族農業の経営 |
| 兵庫県 | 中瀬 勝利 | 全自動移植機の導入による省力化で密を避ける |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|------------------------|--|
| 兵庫県 | 山上 敬二 | 省力化機械の導入による経営の立て直し |
| 兵庫県 | 清水 淳生 | 農業(和牛繁殖) |
| 兵庫県 | 舩越 留美 | 分岐監視システムとミニクローラ運搬車導入による作業の効率化 |
| 兵庫県 | 山本 隆通 | 農業 玉葱、野菜の生産販売 |
| 兵庫県 | 江本 義弘 | 小型色彩選別機を導入 農業経営の継続・改善を図る |
| 兵庫県 | 大原 健 | 感染防止を目的に作業効率の向上のため、省力機械の導入を行う |
| 兵庫県 | 上野 康仁 | 作業用機械導入による新型コロナウイルス感染拡大防止事業 |
| 兵庫県 | 国田 和裕 | 粗飼料の増産機械の導入 |
| 兵庫県 | 谷岡 俊明 | 高性能機械田植機の導入により、生産性の向上と経営の継続 |
| 兵庫県 | 山名 勉 | 接触機会減少と作業の効率化 |
| 兵庫県 | 萩 秀樹 | フォークリフト導入による作業の効率化 |
| 兵庫県 | 藪内 博章 | ロボキャット導入による作業の効率化 |
| 兵庫県 | 萩本 雅彦 | 機械導入による人員削減とインターネットによる販路拡大 |
| 兵庫県 | 山下 正子 | 高性能機械(玉葱掘り取り機)の導入により、人と人との接触回避 |
| 兵庫県 | 宮下 弘典 | たまねぎ栽培のオートメーション化により人と人の接触を減らす。 |
| 兵庫県 | 空處 剛 | コロナによる労働力不足解消と感染防止対策 |
| 兵庫県 | 奥野 康治 | 人手によるコンテナ搬送作業を1人で出来るクレーン付きクローラ運搬車の導入 |
| 兵庫県 | 奥田 淳 | 選別機による省力化、個人のお取り寄せ需要をとらえる規模拡大 |
| 兵庫県 | 斎藤 博司 | 経営継続補助金に販路回復と機械化で人手不足解消する。 |
| 兵庫県 | 松原 健司 | 水稲収穫の時間短縮と労働力の軽減 |
| 兵庫県 | 鳥坪 義昭 | 省力化機械導入により接触機会をさせ作業効率を上げ増反する |
| 兵庫県 | 森川 恵司 | 打倒コロナウイルス、淡路島の野菜で免疫カアップ ファイト! |
| 兵庫県 | 高橋 啓 | 代用乳自動溶解導入による子牛哺乳作業の省力化 |
| 兵庫県 | 中山 博史 | 接触機会削減のための機械導入 |
| 兵庫県 | 瀧池 佳隆 | 堆肥散布機導入による作業効率と豊かな土づくりによる品質向上 |
| 兵庫県 | 藪内 登 | 機械器具の購入。1、発情発見装置・堆肥舎改築 2、野菜機械の購入 |
| 兵庫県 | 井實 国博 | 鉄コンテナ対応コンベア付ピッカー採用による大幅省力化 |
| 兵庫県 | 萩尾 勝英 | 省力化機械導入による農業経営の継続・拡大 |
| 兵庫県 | 土屋 淳 | 収穫機、フレールモア導入による作業安全性向上事業 |
| 兵庫県 | 齊藤 仁孝 | 発情発見装置 分岐監視装置導入により省力化を図る |
| 兵庫県 | 溝下牧場株式会社代表取締役 溝下晋也 | 和牛繁殖 一年一産に向けた暑熱対策 |
| 兵庫県 | 法柏 豊治 | ①農機具(バインダー)導入と敷わらの活用による品質の向上②消毒マスク・飛沫対策、 |
| 兵庫県 | 橋本 和雄 | 適期に均質なセル苗を定植することで高品質な切花を出荷する。 |
| 兵庫県 | 坂田 正志 | 省力化のため機械化導入 |
| 兵庫県 | 岡田 智之 | 高性能機械による作業効率UPで規模拡大 |
| 兵庫県 | 打越 克英 | 機械化による牧草地の保全・効率化 |
| 兵庫県 | 川添 雅一 | 米作 |
| 兵庫県 | 横山 和直 | 野菜の生産・販売 |
| 兵庫県 | 堂内 充 | 労働作業量の減少による効率化および時間的余裕の確保 |
| 兵庫県 | 山口 正博 | 畝立施肥機の導入により、作業の効率化を図る |
| 兵庫県 | 宮崎 茂樹 | インターネットによる「淡路島野菜詰め合わせ」の販売を始める。 |
| 兵庫県 | 中野 修三 | 省力化機械導入により接触機会を避け作業効率上げ増反する |
| 兵庫県 | 野添 幹生 | フレールモアを使用する事による業務効率化 |
| 兵庫県 | 神代 健治 | 農業用ハウス管理制御システム |
| 兵庫県 | 池谷 泰典 | 玉ねぎ移植機導入による生産量アップと作業員間の接触低減 |
| 兵庫県 | 杉坂 光一 | 結束機付コンバインの導入による省力化と効率化 |
| 兵庫県 | 株式会社 池上農場 代表取締役 斎藤 亜紀美 | 「蜜の回避と換気による職場環境の改善と新たな販路開拓事業」 |
| 兵庫県 | 森 義由紀 | 農作業の機械化・省力化及びコンピュータ化による効率化 |
| 兵庫県 | 来田 哲雄 | たまねぎ移植機による省力化 |
| 兵庫県 | 古川 智恵子 | 省力化機械の購入及び感染症対策に配慮した果樹園の運営 |
| 兵庫県 | 北浦 久吉 | ショベルローラーの導入により3密回避と生産性の向上 |
| 兵庫県 | 有限会社三界産業 代表 岡田啓次 | 淡路玉ねぎ生産・販売拡大事業 |
| 兵庫県 | 新谷 英民 | 機械導入により3密を防ぎ、規模拡大して自分のブランドを作る |
| 兵庫県 | 尾家 好昭 | 新型コロナ感染症対策のための玉葱機械導入と労働力不足解消 |
| 兵庫県 | 西野 正晃 | 重量物に対する省力化と換気システム自動化への対応 |
| 兵庫県 | 株式会社 武久牧場 代表取締役 武久 勝彦 | 運動スタンションの導入による給餌作業の省略化 |
| 兵庫県 | 原田 恭子 | 機械化による、作業時間の短縮と品質向上 |
| 兵庫県 | 井高 久男 | 適期に均質なセル苗を定植することで高品質な切花を出荷する。 |
| 兵庫県 | 番匠 克巳 | ウイズコロナで元気な農業経営事業 |
| 兵庫県 | 森田 等 | 肥育農家に信頼してもらえる子牛生産 |
| 兵庫県 | 田中 あや子 | 牧草の刈り取り省力化 |
| 兵庫県 | 高田 佳秀 | 省力化機器導入及び作業環境改善による感染リスクの低減 |
| 兵庫県 | 大溝 尚宏 | ウイングハロー導入による省力化と感染拡大時のリスク低減 |
| 兵庫県 | 粟田 務 | 規模拡大事業により、収量をアップしたい |
| 兵庫県 | 正井 清隆 | 「ドローン」を活用して沢山の美味しい農作物を提供します |
| 兵庫県 | 金崎 真治 | 高品質生産や低コスト化等先進技術の導入 |
| 兵庫県 | 鈴木 智子 | 機械化による省力化、倉庫整備による環境整備と効率化を構築 |
| 兵庫県 | 桶土井 清敏 | 自走式ロールベイラー導入による梱包作業の効率化と換気扇の設置 |
| 兵庫県 | 古賀田 章 | |
| 兵庫県 | 株式会社 大坪営農 代表取締役 岡田 昭男 | 省力化によるコスト削減と施設内の感染防止策で経営の維持を図る |
| 兵庫県 | 國賀 長登 | 新種導入 |
| 兵庫県 | 大内 貴美子 | 省力化機械を導入し接触機会削減、作業効率化、生産品拡大を図る |
| 兵庫県 | 中山 正仁 | 機会分散保管で接触機会を減らすための倉庫用パイプハウスの設置 |
| 兵庫県 | 潤井 美樹 | 稲作から野菜への転換 |
| 兵庫県 | 富永 美明 | 出荷調整作業の内製化および牛舎内での感染防止対策 |
| 兵庫県 | 湯原 健一 | 作業台車の導入による省力化と人の接触機会の減少・換気扇の導入 |
| 兵庫県 | 勢戸 恒夫 | 特殊運搬車、果実仕上機の導入による作業省力化、感染防止対策 |
| 兵庫県 | 先谷 史利 | ホームページの開設による新たな販路開拓 |
| 兵庫県 | 田中 達也 | 野菜セット販売の拡大を見据えたマルチ張り等の機械化 |
| 兵庫県 | 田村 伊久男 | 販路拡大と5条植田植機導入で省力化と耕作放棄予防 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|---------------------------------|--|
| 兵庫県 | 大村 太一 | 淡路島ブランドの玉ねぎ、お米をインターネットを活用し、全国に個人宅配する。 |
| 兵庫県 | 下森 啓司 | 光選別機の導入と集塵・暑熱・感染対策による模範モデルの確立 |
| 兵庫県 | 株式会社K. ファーム 片原啓之 | 機械導入による人と人との接触を減らす |
| 兵庫県 | 葦谷 俊一 | 新しい作付けと光合成装置の導入による品質向上 |
| 兵庫県 | 鈴木 啓正 | 機械化の取組、農業用倉庫整備による作業の効率化と労働環境整備 |
| 兵庫県 | 藤野 文一 | 農業(レタス、ピーマン、米の生産及び販売) |
| 兵庫県 | 辻江 徹朗 | スキッドステアローダーの導入と空気清浄機の導入 |
| 兵庫県 | 日外 隆明 | トラクターとジャイロレーキの導入による効率化 |
| 兵庫県 | 田中 孝直 | 省力化機械の導入による労働時間の削減と新たな製品の導入 |
| 兵庫県 | 芝床 吉秋 | 芝床農業改革 |
| 兵庫県 | 里 武洋 | たまねぎ生産規模拡大と機械化による労働力の確保 |
| 兵庫県 | 中田 直 | 省力化灌水システムを導入して蜜にならない仕事環境品質向上 |
| 兵庫県 | 土井 章夫 | 省力化機械導入による、経営維持拡大 |
| 兵庫県 | 村上 健 | 作業効率化のためのショベルローダーの導入 |
| 兵庫県 | 深田 幸子 | 新型コロナウイルスによる労働力不足・省力化機械による省力化 |
| 兵庫県 | 山口 憲生 | 少人数の経営(家族のみ) |
| 兵庫県 | 出石 明 | レタス包装機導入 |
| 兵庫県 | 滝本 佳伸 | 省力化機械導入により接触機会をさげ作業効率を上げ作付面積を増す |
| 兵庫県 | 平岡 潔 | コロナ対策をし作業の省力化と観光を通して新規顧客の開拓 |
| 兵庫県 | 合同会社T-PLUS 代表 谷口彰礼 | ネット販売サイト構築と作業環境改善の為に機械の導入 |
| 兵庫県 | 清水 正隆 | 労働力軽減のための省力化機械機具導入事業 |
| 兵庫県 | 佐々木 和彦 | 直売所の無人販売化と農業機械化によるコロナ後の事業拡大 |
| 兵庫県 | 株式会社金岡光輝園 代表取締役 金岡 秀和 | 観賞用植物栽培等におけるドローンによる防除 |
| 兵庫県 | 竹内 裕貴 | 機械化による接触機会の減少及び生産性の向上 |
| 兵庫県 | あぐりーどべる株式会社 代表取締役 竹内 宏昌 | 地域でワンチーム！生産体制構築事業 |
| 兵庫県 | 井上 正幸 | 梱包機増設 |
| 兵庫県 | 伊藤 能之 | 作業場での密状態を解消するための設備の導入 |
| 兵庫県 | 井上 栄子 | 感染防止対策として作業員間の接触機会を減らすための機械導入 |
| 兵庫県 | 河合 秀信 | 単独で行う田面の不陸整正と代掻き回数の低減のための機械購入 |
| 兵庫県 | 岸本 雅之 | 感染予防対策と生産性の向上、作業の効率化を図る為の機械の導入 |
| 兵庫県 | 橋本 一代 | 機械導入による感染予防対策と作業の省力化と効率化の取組み |
| 兵庫県 | 神足 吉郎 | 接触機会の削減と作業の効率化をはかるための省力化機械の導入 |
| 兵庫県 | 水田 耕平 | 機械設備導入による接触機会の削減と省力化、効率化の促進 |
| 兵庫県 | 大内 一幸 | 機械設備導入による接触機会の削減と作業の省力化、効率化の促進 |
| 兵庫県 | 柏木 謙 | 接触機会削減に向け移植機を導入した感染予防対策と生産性の向上 |
| 兵庫県 | 有限会社 かんらん 代表取締役 井上 学 | 感染防止対策として作業員同士の接触機会を無くします。 |
| 兵庫県 | 櫻井 岳 | 省力化機械の導入による三密と労働時間削減と計画的設備導入 |
| 兵庫県 | 株式会社 クローバーファームJAあかし 代表取締役 古河 克規 | 作業時で接触機会を減らし単独で安全に作業をする為の機械の導入 |
| 兵庫県 | 丸岡 薫 | 農業機械設備の充実と、省力化等に取り組み農業経営を継続する。 |
| 兵庫県 | 農事組合法人 西横田営農組合 代表理事 古角 尚登 | 【みんなで工夫してコロナウイルス感染症を乗り越え隊】 |
| 兵庫県 | 芥川フーズプランニング株式会社 代表取締役社長 小牧 延隆 | 機械導入による草刈り作業の効率化と接触機会を減らす |
| 兵庫県 | 竹内 幹博 | ドローン導入による肥料農薬散布の効率化及び作業人員の削減 |
| 兵庫県 | 山崎 哲史 | 各作業効率化による必要人員削減、及びネット販売による販路拡大 |
| 兵庫県 | 小池 昭仁 | 草刈作業の負担軽減・人員削減とうち玄米の品質向上 |
| 兵庫県 | 藤原 護 | 牧草の自給 |
| 兵庫県 | 株式会社 中塚農園 中塚 良行 | 新型コロナウイルスの影響緩和とその後の飛躍の為の事業 |
| 兵庫県 | 轟 治 | 省力化機械体制の確立で食味米への生産切り替え、規模拡大 |
| 兵庫県 | 前川 将哉 | 農業用ドローンを活用した省人化、アルコール散布での拡大予防 |
| 兵庫県 | 藤田 良光 | 機械化による省力化及び事業拡大とコロナの感染対策 |
| 兵庫県 | 農事組合法人 あぐりーど玉野 代表理事組合長 玉田 和美 | 「ドローンを活用した組織間連携による水稲大規模経営」 |
| 兵庫県 | 板井利貴 | 油圧ショベル用ハンマーナイフモーター導入で作業効率を上げる。 |
| 兵庫県 | 高橋 順一 | AIによる情報共有とBCP対策及びネット販売による売上増 |
| 兵庫県 | 田先 洋平 | スマート農業の実践による経営強化と感染症拡大防止対策 |
| 兵庫県 | 福永 淳平 | ワインの委託醸造から自社醸造への転換のための機械導入事業 |
| 兵庫県 | 株式会社ten 代表取締役 名古屋 敦 | 酒米の有機栽培を活路とした高付加価値製品の生産と販売の強化 |
| 兵庫県 | 山本 義明 | 労働力減少を機械化による省力対応と新規作物栽培への取組 |
| 兵庫県 | 仲田 正純 | ぶどう生産における、省力化機械の導入による防除作業の効率化 |
| 兵庫県 | 今安 公位知 | 品質向上、省力化に向けて、高省力機能付機器の導入 |
| 兵庫県 | 藪西 史丈 | 作業場兼倉庫(納屋)の改修 |
| 兵庫県 | 吉田 雅茂 | 宅配伝票の記入用のドットプリンターとサーキュレーター導入 |
| 兵庫県 | 藤原 繁実 | ドローン導入と従業者・事務所・作業場等の衛生管理 |
| 兵庫県 | 農事組合法人 吉祥の里積賞農組合 理事小池正憲 | 労働集約作業の田植から直播による省力化作業への転換 |
| 兵庫県 | 米村 潤之 | 酒米から飯米への生産品種変更に伴う農業倉庫修理等予防対策 |
| 兵庫県 | 小野 真也 | 山田錦のブランド化、規模拡大、機械化、地域の大規模化をめざす。 |
| 兵庫県 | 安居 勲 | 堆肥散布機及び稲わら結束機の導入による接触人員の削減 |
| 兵庫県 | 山本 洋太郎 | 自動冷却及び防除機導入、のぼり旗設置販売強化 次亜塩素酸で消毒 |
| 兵庫県 | 住野 宏仁 | 機械化及び外注・業務委託による労力と人員の省力化。 |
| 兵庫県 | 常深 裕史 | 作業機械と作業車(運搬)の導入と環境整備による作業の効率化 |
| 兵庫県 | 榎わさび 代表取締役 岸本万里子 | 農業用ドローンとマニースプレッド導入による接触機会リスクの低減と作業効率の向上を |
| 兵庫県 | 河合 真一 | 消費者から需要の多いジャガイモの新規生産販売の展開 |
| 兵庫県 | 北山農産有限公司 | 少人数化・省力化で滞りなく進めている作業体系の確立 |
| 兵庫県 | 片山 隆嗣 | 水稲移植高機能田植機導入事業 |
| 兵庫県 | 小林 誠 | フォークリフト、ライスホルダー導入による省人化・省力化 |
| 兵庫県 | 木村 義則 | 作業の省力化と接触機会を減らす生産体制の構築 |
| 兵庫県 | 宮本 隆人 | 新規機械の導入により、人との接触を短縮させる。 |
| 兵庫県 | 株式会社 イシダ | 作業場の増設 |
| 兵庫県 | 浅田 直樹 | 小規模農業経営に合致した省力化機械導入とネットによる販路開拓 |
| 兵庫県 | 若原 政信 | 機械導入で省力化と作業効率向上、作業環境の改善。 |
| 兵庫県 | 松本 栄一 | 密を回避する省人化システムの導入 |
| 兵庫県 | 富嶋 希樹 | 水稲収穫及び出荷等に伴う運搬作業の省力化、省人化事業 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|-------------------------------|-------------------------------------|
| 兵庫県 | 近都 正夫 | 施肥機付き田植機を導入することで、省力化、品質向上に努める。 |
| 兵庫県 | 松井 貴美子 | 酒米生産主体からうるち米生産主体に転換 |
| 兵庫県 | 北山 知己 | 作業人員・工程を減らし、省力化による感染防止対策の推進 |
| 兵庫県 | 高見 将陸 | 密を避けるための機械化促進 |
| 兵庫県 | 中澤 邦夫 | 水稻の荒耕及び代かき作業の省力化の取り組み |
| 兵庫県 | 雪岡 寛生 | ハロー導入による、水田管理の省力化及び水稲品質アップ |
| 兵庫県 | 仲島 麻央 | 少人数での規模拡大 |
| 兵庫県 | 畑 一郎 | 黒豆の定植方法の変更による作業及び作業環境の改善 |
| 兵庫県 | 西田 武司 | 学生アルバイトに変わり機械化を図り接触機会を減らす。 |
| 兵庫県 | 農事組合法人丹波たぶち農場 | 自動巻き上げでみんな楽々管理 |
| 兵庫県 | 農事組合法人 西紀農産加工組合 | 密を避け、労働力減少を補い効率を上げる機械化 |
| 兵庫県 | 農事組合法人 なちゅらるは一もにー 代表理事 湊 友加 | 従業員が安心して働ける職場づくりに取り組む。 |
| 兵庫県 | 坂口 典和 | 管理機を導入 |
| 兵庫県 | 戸出 喜久 | 脱莢機を使用する事で蜜をさける |
| 兵庫県 | 吉良 正博 | 高付加価値作物のための設備導入と出荷場の感染防止対策 |
| 兵庫県 | 稲山 重之 | 機械導入 |
| 兵庫県 | 西牧 一 | 機械導入でアルバイト人数を減らし作業場の換気・消毒他対応していく。 |
| 兵庫県 | 前川 純 | トラクター作業で接触機会を減らす。 |
| 兵庫県 | 田中 泰 | 特産品の生産効率向上による生産・出荷量の維持・向上への取り組み |
| 兵庫県 | 原 喜与一 | 丹波黒大豆 脱莢作業 |
| 兵庫県 | 杉尾 誠 | スタッフ一同マスク、手洗いの励行に努め、ラジオ体操で体の健康。 |
| 兵庫県 | 酒井 享一 | ドローンによる肥料・農薬の散布 |
| 兵庫県 | 小村 巖 | コロナ過で三密を防ぐため一人作業への取り組み。 |
| 兵庫県 | 数元 博良 | 夏期のピーマン栽培に力を注ぐ共に野菜の少量多品種を直売店販売 |
| 兵庫県 | 河南昌 一 | 黒枝豆から黒さや豆の販売に転換。 |
| 兵庫県 | (株)アグリヘルシーファーム 原 智宏 | 生産コストを抑えて規模拡大 |
| 兵庫県 | 株式会社農の匠アガケ 河南芳治 | 農作業機械化で少人数作業による感染防止プログラム |
| 兵庫県 | 丹波篠山茶生産組合 組合長 原田 勇 | パウダー製造機器(茶再生加工設備)の導入 |
| 兵庫県 | 兵庫田中畜産株式会社 代表取締役 田中 久工 | 分娩・子牛のモニター監視による密を避けコロナ対策を実施 |
| 兵庫県 | 原田 憲一 | 加工品宅配・農作業効率化による販売強化と農家民宿の感染防止対応 |
| 兵庫県 | 太治 邦彦 | 省力化による感染防止及び経営安定化事業 |
| 兵庫県 | 古家後 康夫 | 家族で協力していたが、機械化による接触機会の減少に取り組む |
| 兵庫県 | 市嶋 陽一 | ドローン導入による作業省力化の実現 |
| 兵庫県 | 株式会社前川農場 代表取締役前川直和 | 人との接触を控える。長期にわたり販売が出来るようにします。 |
| 兵庫県 | (株)丹波篠山大内農場 代表取締役 大内正博 | 感染防止対策営業活動回復事業 |
| 兵庫県 | 株式会社 丹波篠山岸本農場 岸本 一朗 | 除草、防除の農薬散布機材及び、大豆中耕の機材導入 |
| 兵庫県 | 福川 裕典 | 複数人での作業から機械化による作業省力化 |
| 兵庫県 | 市村 祐高 | ドローンバッテリーの導入 |
| 兵庫県 | 澤本 辰夫 | 機械化を図り重労働を軽減し効率化を図りたい |
| 兵庫県 | 石橋 司郎 | 「ドローンによる安全で効率的な農薬散布」 |
| 兵庫県 | 太田 昌人 | 効率の良い作業機を導入することによる人手の削減 |
| 兵庫県 | 阪東 佑貴 | 労働者の感染防止対策を行った職場環境の確立 |
| 兵庫県 | 田淵 善久 | 人の集まりを減らし機械化の推進 |
| 兵庫県 | 澁谷 克彦 | 接触機会を減らすための機械導入 |
| 兵庫県 | 小林 純一 | 機械による省力化を図り、少人数で運用していく。 |
| 兵庫県 | 木村 善孝 | コロナの感染を防止しつつ事故軽減による売り上げの回復 |
| 兵庫県 | 松浦 俊明 | 牛舎のコロナ感染防止事業 |
| 兵庫県 | 一般社団法人 丹波篠山市場 代表理事 平田 俊彦 | 競り品の品質向上、新たな取り組みを増やし、売上拡大をする。 |
| 兵庫県 | (株)ゴールデンツリー 代表取締役 前田智章 | 事業継続、販売方式の転換による生産拡大、省力化 |
| 兵庫県 | 株式会社やがて 代表取締役 黒瀬啓介 | 出荷調整の機械化による密状態の回避 |
| 兵庫県 | 神谷 圭治 | 省力化に向けた農業・加工機械導入、及び加工所設置と新販路開拓 |
| 兵庫県 | 大坂 宇津実 | 枝豆栽培における作業効率化及び一次加工による新規販路開拓 |
| 兵庫県 | 澤村 寛文 | 施設内換気・蜜回避の機械導入によるお客様及び従業員の安全確保 |
| 兵庫県 | 今西 和義 | 人員削減で店頭販売へ |
| 兵庫県 | 土谷 学 | ブームスプレーヤー・小豆播種機購入。ホームページ開設とPR |
| 兵庫県 | 井 関 昭 二 | 黒豆栽培の省力化と一貫性 |
| 兵庫県 | 赤井 勝則 | 若さや豆一貫作業体系確立事業 |
| 兵庫県 | 平野 勝夫 | ネット等を通じ販路拡大したい |
| 兵庫県 | 前田 徹 | 精算経費の削減 |
| 兵庫県 | 清水 健司 | 感染対策による経営改善 |
| 兵庫県 | 小澤 和文 | 安全性重視の作業効率化と接触機会を減らした出荷方法の確立 |
| 兵庫県 | 林 克祐 | 機械化による、ソーシャルディスタンス |
| 兵庫県 | 井 関 敏 男 | 新型コロナウイルスに対する三密を無くそう。 |
| 兵庫県 | 白鶴ファーム(株) 代表取締役 永井 英雄 | 農作業省力化とコロナ感染防除 |
| 兵庫県 | 農事組合法人 丹波ささやま おただ 組合長 岸本久芳 | 蜜を避け安全な作業で作りHP・ネットで販売 |
| 兵庫県 | 株式会社丹波篠山たけし農産 代表 中島武史 | 自動脱莢機導入による省力化・効率化 |
| 兵庫県 | 細山 優 | 集落内の高齢者等のコロナ感染発生させないため本機を導入 |
| 兵庫県 | 樋口 文彦 | 草刈りの広範囲化と省力化の取り組み・土づくりによる品質向上 |
| 兵庫県 | 熊淵 弘 | 農業用ドローン導入と直販拡大で労働力抑制と売上減少の緩和 |
| 兵庫県 | 西本 輝夫 | 黒大豆の莢取りの機械化。環境の整備 |
| 兵庫県 | 有限会社 グリーンファームささやま 代表取締役 関口 恵士 | 全面受託農地畦畔の草刈作業の機械化で雇用者の減少と作業の効率化を図る |
| 兵庫県 | 有限会社藤岡牧場 藤岡勝彦 | 運動スタントロン導入による作業の効率化 |
| 兵庫県 | 株式会社丸尾牧場 代表取締役 丸尾建城 | パワーハロー導入による農作業の省力化と効率化 |
| 兵庫県 | 太田 耕治 | 扇風機の導入による作業現場での省力化と効率化を図る |
| 兵庫県 | 小泉 晶司 | 保定枠、エブリネックス(ダニ駆虫薬)導入による削蹄作業の省力化と効率化 |
| 兵庫県 | 為金 和徳 | 搾乳ロボット能力向上 |
| 兵庫県 | 増田 晃 | 新型コロナに打ち勝つ酪農経営への転換 |
| 兵庫県 | 淵上 斉 | 保定枠、エブリネックス(ダニ駆虫薬)導入による削蹄作業の省力化と効率化 |
| 兵庫県 | 有限会社ジローズディリーファーム 代表取締役 藤原太郎 | 搾乳エリアと作業エリアのレイアウト変更による作業の省力化と効率化 |
| 兵庫県 | 池鍋 久弥 | 作業人員の削減と生産性の維持 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|-------------------------|---|
| 兵庫県 | 高橋 三良 | 計画的に省力化機械を導入し、労働時間と接触機会の削減をする |
| 兵庫県 | 有限会社 グリーンファーム 取締役 木曾 耕造 | スマート機器活用による感染機会の軽減と感染予防対策の強化 |
| 兵庫県 | SDF株式会社 代表取締役 奥村 重宏 | 分娩監視カメラを設置し、分娩事故とコロナリスクを低減する |
| 兵庫県 | 栗林 真弓 | 牛舎内の衛生面強化、接触を避けるため作業分担を図る |
| 兵庫県 | 池田 進 | 換気や消毒の徹底と接触機会を減らすことで感染拡大防止をする |
| 兵庫県 | 長谷川 千春 | 分娩の事故を減らし、乳質・生産性の向上を目指す |
| 兵庫県 | 辻井 良衛 | 省力化機械導入による作業人員の削減と生産性の維持 |
| 兵庫県 | 福山 智章 | 省力化機械導入による酪農経営継続事業 |
| 兵庫県 | 森本 勇 | 酪農経営継続事業 |
| 兵庫県 | 出口 順也 | 分娩監視実施による分娩事故防止 |
| 兵庫県 | 山田 光雄 | 感染防止対策及び資材導入による省人化 |
| 兵庫県 | 永井 秀樹 | 換気・消毒の徹底と省力化機械の導入により感染リスクを低減する |
| 兵庫県 | 竹田 清 | 換気や消毒によるリスク軽減と、自給飼料増産での収益の回復 |
| 兵庫県 | 株式会社 共生舎 | 省力化機械導入により接触機会を減し感染リスクを低減する |
| 兵庫県 | 上村伸吾 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 上村 敏一 | 加工機器等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上村 孝一 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上谷 昌史 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上田弥輝 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 上田 祐樹 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 荒木 進 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 荒木 光弘 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 小林 悟一 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上西 基成 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 小林 司 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 横谷 漢 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 岡田 顕一 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 岡田 幸和 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 岡田 隆広 | 漁場探索効率化と省力化機器導入による接触機会の削減 |
| 兵庫県 | 上田 知春 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上田 良仁 | 無線機、作業機器等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 池田与志人 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 池田 豊継 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 池田 辰彦 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 池田 良成 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 荒木 寛幸 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 林 和徳 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 林 翔馬 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 山本 義彦 | 加工機器等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 山本 宣親 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 小林 五男 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 桂 三千年 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 桂 正剛 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 小林 七郎 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 森綱雄 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 森 和登 | 活魚移送ポンプの導入による省力化と品質向上及び経営改善 |
| 兵庫県 | 森 速人 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 森 一樹 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 荒木 朋宏 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 荒木 敏澄 | 無線機、作業機器導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 荒木 正人 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 桂 泰光 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 岡田 武人 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 岡田 保晴 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 岡田 達義 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上田 勝成 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上田 喜代彦 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上田 元春 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 池田 秀昭 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 山本 泰彦 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 前田 力 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 竹中 輝行 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 竹中 宏司 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 小林 貴徳 | 半自動梱包機導入による接触機会削減及び高性能魚群探知機導入による操業効率の向上 |
| 兵庫県 | 上谷 昌由 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上谷 幸喜 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 荒木 勲 | 高性能レーザー導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 荒木 文年 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 荒木 五三文 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 荒木 照光 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 荒木 和也 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 上田 通政 | レーザー機器導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 岡田 一也 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 岡田 和年 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 荒木 隆樹 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 荒木 正志 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 小林 成利 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 小林 哲夫 | レーザー機器導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 岡田 明人 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 岡田 珠晴 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|------------------|---|
| 兵庫県 | 岡田 一朗 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 岡田 恭太郎 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上田 宏明 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上田 哲広 | レーダー機器導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上田 剛輝 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上西 広也 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上村 清成 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上西 博直 | レーダー機器導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 桂 照治 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 小林 照芳 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 森 龍志 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 森 光久 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 森 直哉 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 前田 勝秀 | レーダー機器導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上谷 清 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上谷 辰雄 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 藤井 昇 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 三和幸太郎 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 小林 明信 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 竹中 陳也 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 小林 克弘 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 小林 安生 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 前田 一郎 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 前田 浩一郎 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 竹中 将仁 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 竹中 良太 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 竹中 建和 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 桂 泰正 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 森 文和 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 森 司 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 森 浩成 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 森 直人 | レーダー機器導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 上谷 一貴 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 前田 成利 | レーダー機器導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 森 敏光 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 森 和利 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 桂 年久 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 桂 武彦 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 桂 伸彦 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 山本 清人 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 桂 和仁 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 小林 勝行 | 加工機器等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 小林 春光 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 桂 優也 | 機械化による接触機会の削減、作業効率化及び経営改善 |
| 兵庫県 | 桂 満信 | 接触機会を減らす機械装置等の導入とその効果による経営改善 |
| 兵庫県 | 桂 正則 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 八瀬 満成 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 森 泰生 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 森 恭茂 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 林 伴人 | 高性能レーダー導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 田中 仁 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 高坂 一喜 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 芝原 武道 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 芝原 健二 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 山本 晃 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 森 五成 | 高性能無線機等導入による接触機会削減及び経営改善 |
| 兵庫県 | 竹岡 敏和 | AISとGPSプロットによる監視能力の向上と安全性の確保 |
| 兵庫県 | 竹岡 千尋 | AISとGPSプロットによる監視能力の向上と安全性の確保 |
| 兵庫県 | 西岡 功岳 | 航海用機器と漁労用設備の導入による三密の回避 |
| 兵庫県 | 成瀬 和也 | デジタル無線とGPSプロットによる情報共有と操業効率化 |
| 兵庫県 | 廣田 哲哉 | デジタル無線とGPSプロットによる情報共有と三密回避 |
| 兵庫県 | 山本 賢司 | デジタル無線による情報共有とフィッシュポンプによる三密回避 |
| 兵庫県 | 近藤 晃一 | 海苔集積機と自動pH計・自動塩分計導入による密防止と作業効率改善 |
| 兵庫県 | 西田 三郎 | フォークリフト導入による密防止と作業効率改善 |
| 兵庫県 | 橋本 直幸 | フォークリフト導入による密防止と作業効率改善 |
| 兵庫県 | 有限会社 岸鶴水産 岸 憲吾 | フォークリフト導入による密防止と作業効率改善 |
| 兵庫県 | 橋 純介 | 海苔集積機(スーパーリフター)導入による密防止と作業効率改善 |
| 兵庫県 | 大西 賀雄 | 海苔タンクとフォークリフトによる水揚効率化と密防止による経営改善 |
| 兵庫県 | 西尾 慎剛 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 大西 哲嗣 | フォークリフト導入による密防止と作業効率改善 |
| 兵庫県 | 大西 順之 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 株式会社 ヤマト水産 西田 義規 | フォークリフト導入による密防止と作業効率改善 |
| 兵庫県 | 松下未昭 | 無線機による迅速な連絡のやり取り、運搬用軽トラックを増車する事により三密を避け活 |
| 兵庫県 | 岡田卓也 | デジタル無線とGPSプロットによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 辻 正比公 | 高性能レーダー導入・フォークリフトを増やすことにより作業分散、人数削減による感染防 |
| 兵庫県 | 皿 成明 | GPSプロットによる監視能力の向上と安全性の確保 |
| 兵庫県 | 松下時久 | 自動PH塩分装置セットによる三密回避、リフト導入による人員削減感染防止 |
| 兵庫県 | 皿 一平 | AIS導入による僚船との位置情報等の共有、運搬用計トラックを増車する事により三密 |
| 兵庫県 | 松下英樹 | GPSプロットによる監視能力の向上と安全性の確保 |
| 兵庫県 | 宮田良三 | デジタル無線とGPSプロットによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|------------------------|--|
| 兵庫県 | 宮田豊之 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 松下 優 | GPSプロッタと無線機による監視能力向上迅速な連絡のやり取りにおける安全性の確保 |
| 兵庫県 | 高沢慎二 | GPSプロッタによる安全性の確保と無線機による迅速な連絡のやり取り |
| 兵庫県 | 宮田充雄 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 森 幸 好 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 灰野 吉一 | DSB送受信機に対応したプロッタ等の導入による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 岡田 桂昌 | 高性能無線とGPS・AISによる情報共有と効率化での経営改善 |
| 兵庫県 | 森 正 二 | AISとGPSによる監視能力向上と安全性の確保及び情報共有 |
| 兵庫県 | 大草 義 美 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 森 二 兵 | 高性能無線とGPS・魚探による情報共有と効率化での経営改善 |
| 兵庫県 | 登代米水産 株式会社 代表取締役 村瀬 晴彦 | ハタハタの選別での三密を回避し、効果的に選別して経営改善 |
| 兵庫県 | 吉岡 力男 | プロッタによる水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 衛共幸丸漁業 代表取締役 田中 壮一 | 選別機導入による魚の選別作業の省力化と接触機会の削減 |
| 兵庫県 | 鳥居 聖矢 | 27MHz 1W 高性能無線機 DR-100 |
| 兵庫県 | 高山 好治 | 27MHz 1W 高性能無線機 DR-100 |
| 兵庫県 | 小山 吉信 | 27MHz 1W 高性能無線機 DR-100 |
| 兵庫県 | 坂東 幸雄 | 27MHz 1W 高性能無線機 DR-100 |
| 兵庫県 | 炭谷 登 | 27MHz 1W 高性能無線機 DR-100 |
| 兵庫県 | 戎本 嘉明 | デジタル無線による情報共有 |
| 兵庫県 | 若松 広明 | 27MHz 1W 高性能無線機 DR-100 |
| 兵庫県 | 小山 勝彦 | 27MHz 1W 高性能無線機 DR-100 |
| 兵庫県 | 鳥居 祐介 | 27MHz 1W 高性能無線機 DR-100 |
| 兵庫県 | 若松 信之 | 27MHz 1W 高性能無線機 DR-100 |
| 兵庫県 | 鳥居 重孝 | 27MHz 1W 高性能無線機 DR-100 |
| 兵庫県 | 泉 和行 | 自動機械導入による経営改善 |
| 兵庫県 | 井上 順亮 | 作業員の距離確保と換気整備による経営改善 |
| 兵庫県 | 濱名健二 | 接触機会回避のための取り組み |
| 兵庫県 | 赤穂学 | 設備自動化による作業効率化 |
| 兵庫県 | 隅谷裕之 | 接触機会削減と感染予防に向けた取組 |
| 兵庫県 | 青柳光雄 | 省力化および作業スペース確保による経営改善 |
| 兵庫県 | 高濱 功匡 | 作業効率化による船曳網漁業者の経営改善 |
| 兵庫県 | 藤原資大 | 陸巻きネットローラー導入による作業の効率化 |
| 兵庫県 | 中谷 充晴 | 高性能無線に情報共有と設備更新による作業人員削減の取組 |
| 兵庫県 | 隅谷 健児 | 自動換気システム、機械高度化による経営継続への取組 |
| 兵庫県 | 杉野栄一 | 高性能無線によるコミュニケーション円滑化 |
| 兵庫県 | 福井 貴章 | 接触機会削減と感染予防に向けた取組 |
| 兵庫県 | 木本 良英 | 作業効率化による船曳漁業の経営化 |
| 兵庫県 | 藤原侑樹 | 通信手段確立及び品質向上による経営改善 |
| 兵庫県 | 田沼正弘 | 作業員の距離確保と換気整備による経営改善 |
| 兵庫県 | 石井正雄 | 高性能機械導入による経営改善 |
| 兵庫県 | 神吉悠太 | 高性能無線機にコミュニケーション改善及び接触機会削減の取組 |
| 兵庫県 | 赤穂新治 | 高性能無線によるコミュニケーション円滑化 |
| 兵庫県 | 海原 登喜弘 | 自動換気システム、機械高度化による経営継続 |
| 兵庫県 | 伊藤達也 | 高性能無線による情報共有と機器、作業車導入による作業の軽減 |
| 兵庫県 | 鷹濱卓也 | 無線による情報共有円滑化と運搬作業による作業効率化への取組 |
| 兵庫県 | 福山真 | 作業員間の距離を取ることに伴う感染防止対策 |
| 兵庫県 | 山本 嘉彦 | 省力化および作業スペース確保による経営改善 |
| 兵庫県 | 山本和人 | 高性能無線による連絡手段の確保及び三密回避の取組 |
| 兵庫県 | 石井健二郎 | 自動吸上げ機による作業効率化及び換気扇増設による感染予防 |
| 兵庫県 | 藤原和弥 | 高性能機械による作業効率化 |
| 兵庫県 | 小松慎弥 | 高性能無線機による情報共有と加工場拡張による感染防止 |
| 兵庫県 | 浅田 光司 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 篠田 司 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 近藤 俊彦 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 丸一 寿 | デジタル無線等による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 藤江 忠義 | フォークリフトによる接触機会削減と作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 山本 忠弘 | 高性能レーダーによる操業体制改革と経営改善 |
| 兵庫県 | 内海 春樹 | デジタル無線他による総合的改革と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 内海 一成 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 松本 衛 | フォークリフトによる接触機会削減と作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 魚住 司 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 柿本 臣則 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 柿本 幸久 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 金丸 和昌 | デジタル無線とミンシによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 丸一茂明 | デジタル無線等による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 桑名 成義 | 漁網用ミンシでの作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 山中 大成 | 操業の効率化による船曳網漁業者の経営改善 |
| 兵庫県 | 内海 明大 | 魚送ポンプとレーダーによる三密防止と安全確保による経営改善 |
| 兵庫県 | 飛田 勝 | デジタル無線等による操業体制改革と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 桑名 洋行 | デジタル無線等による総合的改革と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 嵐 竹弘 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 桑名 幸充 | 冷水機による三密解消と作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 森口 修 | 自動塩分濃度調整機による三密回避と作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 片山 守 | デジタル無線機と網巻機による情報共有と効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 中山 正行 | 陸上ネットローラーと電波機器による作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 岡田 秀幸 | 無線、GPSプロッタによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 岡田 真一 | 海苔選別機での省力化とGPSプロッタでの情報共有による経営改善 |
| 兵庫県 | 岡田 繁一 | 無線、GPSプロッタによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 岡田 伊勢雄 | デジタル無線・レーダー等による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 緒方 信 | 潮流計による水揚効率化に伴う経営改善 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|-----------------------|-------------------------------------|
| 兵庫県 | 川畑 源治 | 海苔集積機による作業効率化と人員減による経営改善 |
| 兵庫県 | 幸内 義宣 | レーダー・魚探による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 小林 寛 | レーダーによる3密回避と水揚効率化に伴う経営改善 |
| 兵庫県 | 井上 秀明 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 山田 幸治 | 情報共有化による水揚効率化に伴う経営改善 |
| 兵庫県 | 増井 義哲 | GPS魚探による情報収集と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 碓本 貴志 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 中田 芳博 | 温湿度管理システムによる作業環境改善に伴う経営改善 |
| 兵庫県 | 西村 晃司 | 水揚効率化による経営改善・魚群探知機の活用による漁場予測 |
| 兵庫県 | 松下 浩明 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 青木 国昭 | GPSプロッタ、レーダー等による水揚効率化に伴う経営改善 |
| 兵庫県 | 藤岡 琢二 | デジタル無線及び魚群探知機による情報共有と効率化での経営改善 |
| 兵庫県 | 藤岡 幸良 | 温湿度管理システムによる作業環境改善に伴う経営改善 |
| 兵庫県 | 山本 善一 | デジタル無線、プロッター、魚探による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 坂元 正樹 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 尻池 明広 | GPSプロッタ、AIS設置等による水揚効率化に伴う経営改善 |
| 兵庫県 | 竹田 博生 | 魚探、GPSプロッタによる情報収集と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 中谷 義昭 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 長原 浩一 | デジタル無線・レーダー等による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 仲原 宏治 | 魚探、GPSプロッタによる情報収集と水揚げ効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 奈良 智士郎 | レーダーによる3密対策と水揚効率化に伴う経営改善 |
| 兵庫県 | 西村 岩男 | レーダー・AIS装置等による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 藤本 利勝 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 福田 正幸 | デジタル無線とソナーでの情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 福田 昌宏 | デジタル無線とソナーでの情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 福田 一 | レーダーでの危険回避、GPSプロッタでの効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 西村 清 | レーダー・AIS装置等での情報共有と水揚効率化に伴う経営改善 |
| 兵庫県 | 西村 和基 | レーダー・AIS装置等での情報共有と水揚効率化に伴う経営改善 |
| 兵庫県 | 前田 明俊 | レーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 前田 勝彦 | レーダーによる安全操業と水揚効率化に伴う経営改善 |
| 兵庫県 | 前田 欽宏 | デジタル無線・レーダー等による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 前田 暢宏 | レーダー・AIS装置による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 榎井 慈一 | 水揚効率化による経営改善・魚群探知機の活用による漁場予測 |
| 兵庫県 | 松下 一彦 | レーダーによる3密回避と水揚効率化に伴う経営改善 |
| 兵庫県 | 安井 経敬 | レーダーによる3密対策と水揚効率化に伴う経営改善 |
| 兵庫県 | 宮崎 勝雄 | レーダーによる3密対策と水揚効率化に伴う経営改善 |
| 兵庫県 | 宮崎 幸太 | レーダーによる3密対策と水揚効率化に伴う経営改善 |
| 兵庫県 | 安井 雄也 | デジタル無線、GPSプロッターによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 森 敦二 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 山田 智昭 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 春藤 昌嗣 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 中西 能照 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 菱谷 維起 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 株式会社 長太水産 代表取締役 山崎 一馬 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 西岡 庸成 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 小濃 満 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 新居 正弘 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 橋本 友明 | AISとレーダーによる監視能力の向上と安全性の確保 |
| 兵庫県 | 中野 弘治 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 谷口 健一 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 東根 壽 | 操業の効率化による船びき網漁業者の経営改善・安全確保 |
| 兵庫県 | 山市 明伸 | 操業の効率化による船びき網漁業者の経営改善・安全確保 |
| 兵庫県 | 嶋本 善通 | AISとレーダーとプロッタによる監視能力の向上と安全性の確保 |
| 兵庫県 | 西田 幸二 | AISとレーダーによる監視能力の向上と安全性の確保 |
| 兵庫県 | 中西 権一 | AISとGPSプロッタによる監視能力の向上と安全性の確保 |
| 兵庫県 | 長野 義明 | 間くから見るへ、ISANAによる漁場探索情報の共有とデータ化 |
| 兵庫県 | 地行 正 | デジタル無線とGPSプロッタによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 長野 威夫 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 大平 純司 | レーダーとGPSプロッタによる監視能力の向上と安全性の確保 |
| 兵庫県 | 吉田 仁 | AISとレーダーによる監視能力の向上と安全性の確保 |
| 兵庫県 | 新居 只吉 | レーダーとGPSプロッタによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 橋本 泰士 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 菱谷 幸雄 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 菱谷 務 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 菱谷 康人 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 谷口 龍司 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 西田 明智 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 大平 憲次郎 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 原 一平 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 中山 正樹 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 杉谷 富弘 | AISとユニック車による密防と効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 山形 和三郎 | ノリ集積機他による密防と省力化による経営改善 |
| 兵庫県 | 三原 敏幸 | フィッシュポンプによる省人化による密防と経営改善 |
| 兵庫県 | 中橋 新 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 村上 祐 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 津田 泰史 | フィジカルディスタンス確保のための作業スペース拡大と感染防止策 |
| 兵庫県 | 吉村 克之 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 細野 泰司 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 梶本 一輝 | シングルシード式牡蠣養殖導入による品質向上と生産コストの低減 |
| 兵庫県 | 中橋 誠二 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|----------------------|------------------------------------|
| 兵庫県 | 瀬越 和彦 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 瀬越 謙之 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 梶本 輝重 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 本多 伸弘 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 中川 照央 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 中川 伊佐央 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 山田 耕平 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 山田 稔 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 吉田水産 株式会社 代表取締役 吉田政義 | シングルシード式牡蠣養殖導入による品質向上と生産コストの低減 |
| 兵庫県 | 津田 和哉 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 高木 恒 | シングルシード式養殖資材及びデジタル無線による経営改善 |
| 兵庫県 | 竹田 和樹 | 作業スペースの拡大・養殖資材及びデジタル無線による経営改善 |
| 兵庫県 | 磯部公一 | フィジカルディスタンス確保の為に作業スペース拡大と感染防止策 |
| 兵庫県 | 株式会社津田正水産 代表取締役 津田朝洋 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 株式会社 住栄丸 代表取締役 津田正信 | シングルシード式牡蠣養殖導入による品質向上と生産コストの低減 |
| 兵庫県 | 津田宇水産株式会社 代表取締役 津田克俊 | シングルシード式牡蠣養殖導入による品質向上と生産コストの低減 |
| 兵庫県 | 石上 耕司 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 志智 登 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 久保 昇 | デジタル無線とプロッターでの情報共有と効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 伊藤 幸弘 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 石上 敏弘 | デジタル無線とレーダーでの情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 志智 秀行 | デジタル無線とレーダーでの情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 石上 昌利 | デジタル無線とレーダーでの情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 伊藤 清文 | デジタル無線とレーダーでの情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 石上 健史 | デジタル無線とレーダーでの情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 松本 秀樹 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 地道 哲也 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 森 康彰 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 富山 和彦 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 奥山 修次 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 石上 静緒 | デジタル無線とGPSプロッタによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 魚 裕之 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 魚住 明 | デジタル無線と魚群探知機による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 武田 康裕 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 石上 弘一郎 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 石上 武 | デジタル無線とGPSプロッタによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 石上 尚宏 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 大塚 晴生 | デジタル無線と魚群探知機による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 魚井 宏策 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 東條 公彦 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 東條 孝彦 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 魚 誠司 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 松本 稔 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 大塚 照夫 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 大塚 茂弘 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 河野 崇起 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 石上 福継 | デジタル無線とGPSプロッタによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 魚 忠計 | デジタル無線とGPSプロッタによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 潮崎 弘志 | デジタル無線とプロッターでの情報共有と効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 亀谷 敏雄 | デジタル無線と魚群探知機による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 森下 勝 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 浜端 良記 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 伊勢 互 | デジタル無線とGPSプロッタによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 森下 春彦 | デジタル無線とGPSプロッタによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 船越 寛二 | デジタル無線とGPSプロッタによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 濱岡 勝 | デジタル無線とGPSプロッタによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 新川水産株式会社 代表取締役 新川 光教 | デジタル無線とGPSプロッタによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 谷口 恒彦 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 小島 正夫 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 亀谷 弘人 | デジタル無線と魚群探知機による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 萩原 靖視 | 自動巻き揚げ機による密閉防止と魚群探知機による経営改善 |
| 兵庫県 | 中山 正喜 | デジタル無線と魚群探知機による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 小島 昭彦 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 伊富貴 忠志 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 小濱 虎美 | デジタル無線とGPSプロッタによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 社家 久美 | デジタル無線と魚群探知機による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 山本 幸次 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 横山 昇二郎 | SNSで発信して移動式直販で取り組む |
| 兵庫県 | 濱田 勝 | デジタル無線による情報共有と水揚作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 株式会社やまよ 福本 英作 | デジタル無線による情報共有と水揚作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 福本 啓文 | デジタル無線による情報共有と水揚作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 川崎 隼 | デジタル無線による情報共有と水揚作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 株式会社 竹内水産 竹内 卓也 | 聞くから見るへ、ISANAによる漁場探索情報の共有とデータ化 |
| 兵庫県 | 濱中 稔 | むき身選別機導入による作業の効率化と3密回避による経営継続 |
| 兵庫県 | 野村 定雄 | 殻付き選別機導入による作業の効率化と3密回避による経営継続 |
| 兵庫県 | 岩本 康史 | デジタル無線による情報共有と水揚作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 有限会社 宏栄水産 石井 宏明 | デジタル無線による情報共有と水揚作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 舩本 成治 | デジタル無線による情報共有と水揚作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 松下 一二三 | デジタル無線による情報共有と水揚作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 濱中 浩 | デジタル無線による情報共有と水揚作業効率化による経営改善 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|-----------------------|--|
| 兵庫県 | 岩本 恭輔 | デジタル無線による情報共有と水揚作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 谷 端 優 貴 | 操業の効率化による船曳網漁業者の経営改善 |
| 兵庫県 | 中 村 知 弘 | 操業の効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 中 村 利 公 | 操業の効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 梅 崎 利 博 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 中 川 清 | 操業の効率化による共同申請者等の経営改善 |
| 兵庫県 | 梅 崎 富 雄 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 北 村 彰 悟 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 谷 端 秀 作 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 谷 端 伝太郎 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 北 脇 秀 高 | 操業の効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 橋 泰 樹 | 操業の効率化による共同申請者等の経営改善 |
| 兵庫県 | 中 村 俊 二 | 操業の効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 森 司佳幸 | 海苔結束機用重量計大型表示灯付導入事業 |
| 兵庫県 | 西尾 朋泰 | 自動塩分濃度調整機による三密回避と作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 福岡 裕人 | デジタル無線とプロッターでの情報共有と効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 福岡 準 | デジタル無線とプロッターでの情報共有と効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 保田 友也 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 谷 秀 夫 | デジタル無線とGPSプロットによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 中川 隆逸 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 谷 一 重 | デジタル無線とGPSプロットと小型船用エンジンリモコンによる情報共有と水揚効率化 |
| 兵庫県 | 中川 裕章 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 谷 直 道 | デジタル無線とGPSプロットによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 登日 敏克 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 長浜 恭二 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 増田 隆男 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 肥田 拓也 | 感染リスク低減及び、情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 中川 照敏 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 中川 雄二 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 仲野 和男 | 感染リスク低減及び、情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 福谷 拓也 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 坂 賢治 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 長岡 勇介 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 仲野 隆治 | 可動式ネットローラ導入による省力化 |
| 兵庫県 | 中川 晴仁 | デジタル無線とレーダーでの情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 仲野 昌利 | 感染リスク低減及び、情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 松原 豊文 | デジタル無線と魚群探知機による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 松原 広 | デジタル無線と魚群探知機による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 新田 真広 | デジタル無線とGPSプロットによる情報共有と網外注することによる水揚効率化と経営 |
| 兵庫県 | 仲野 英幸 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 坂 良太 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 福島 寛之 | デジタル無線とGPSプロット及びAISによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 西川 孝拓 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 松下 勝彦 | 海苔集積装置の導入による省力化と省人化 |
| 兵庫県 | 松下 隆 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 福島 富秋 | デジタル無線とGPSプロットによる情報共有と水揚効率化による経営改善。また、魚価 |
| 兵庫県 | 有限会社 成林水産 代表取締役 成林宏次 | 剥き身牡蠣重視の生産から、殻付牡蠣重視の生産形態への転換 |
| 兵庫県 | 株式会社 正真水産 代表取締役 水瀧 正義 | 剥き身牡蠣重視の生産から、殻付牡蠣重視の生産形態への転換 |
| 兵庫県 | 有限会社 光栄水産 代表取締役 大河 優 | オンライン販売への転換による販路拡大による経営改善 |
| 兵庫県 | 川橋 信彦 | 剥き身牡蠣重視の生産から、殻付牡蠣重視の生産形態への転換 |
| 兵庫県 | ヤマシ 水産 坂部 充 | 300型漁船スラスターによる操船力向上による操業の作業力のアップによる経営改善 |
| 兵庫県 | 川端一也 | 新しく船外機を導入 |
| 兵庫県 | 岡田 忠明 | 活性処理における作業員間の接触を減らすための省力化機器等導入 |
| 兵庫県 | 安 田 嘉 昭 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 西 本 琢 美 | 聞くから見るへ、ISANAによる漁場探索情報の共有とデータ化 |
| 兵庫県 | 松本 智之 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 西 野 幸 信 | デジタル無線とGPSプロットによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 橋 正 治 | 高機能漁業無線機 DR-100 27MHz 1W機の導入 |
| 兵庫県 | 高谷 繁喜 | 検品・選別作業の機械化によるノリ漁業者の経営改善 |
| 兵庫県 | 大西 實 | デジタル無線とGPS魚探による情報共有と水揚効率化による改善 |
| 兵庫県 | 安良田 武信 | 検品・選別作業の機械化によるノリ漁業者の経営改善 |
| 兵庫県 | 高須 一成 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による改善 |
| 兵庫県 | 篠原 満 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 奥野 敬太 | GPSプロッターによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 坂口 秀司 | 魚群探知機及びデジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 堀 博明 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 堀 賢治 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 米岡 清一 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 並木 敦茂 | GPSプロッターとデジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 三宅 規正 | デジタル無線による情報共有とリモコン付きエンジン導入による水揚・作業効率化による |
| 兵庫県 | 西田 和伸 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 山本 雄久 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 山本 茂雄 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 菅 良八 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 菅 半次 | デジタル無線による情報共有と若布刈り取り機による水揚・作業効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 中尾 博満 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 中尾 静男 | デジタル無線による情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 中尾 誉 | デジタル無線とレーダーによる情報共有と水揚効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 若男水産株式会社 代表取締役 前田若男 | 自動給餌器と養殖用ペレット飼料による密閉防止と餌やり効率化による経営改善 |
| 兵庫県 | 濱谷 彰 | 3密を避けた「一人漁業」での販路開拓計画 |

| 都道府県 | 補助事業者・代表者名 | 事業名 |
|------|-----------------------------|---------------------------------|
| 兵庫県 | 小山 盛幸 | 残苗の適正規格の維持及びコンテナ苗生産への転換による販売促進 |
| 兵庫県 | 日下部 公孝 | 残苗の適正規格での維持及び大苗化や新品種苗木による販売促進 |
| 兵庫県 | 池本 博 | 残苗の適正規格維持及び大苗化や新たな苗木生産による需要拡大 |
| 兵庫県 | 株式会社 東原畜産 | 作業機械の能力向上で作業効率の向上、省力化を図る |
| 兵庫県 | 岩本 正敏 | 農業機械自動操舵システム導入による未熟練者活用と接触機会低減 |
| 兵庫県 | 株式会社MOTO 代表取締役 田中 愛 | 防除用機器導入による省力化と屋内作業所改修による感染予防 |
| 兵庫県 | SHISURU株式会社 代表取締役 橋本 博明 | 可能な限り人員を要する作業を機械化し、接触の軽減を図る。 |
| 兵庫県 | 黒田 恒平 | 小菊乾式冷蔵保存による供給安定化と売上増、出荷作業の集中緩和 |
| 兵庫県 | (株)ローソンファーム兵庫 | 農作業における機械化・効率化 |
| 兵庫県 | 株式会社 株本産業 代表取締役 株本 寛 | さつまいも生産加工のJ-GAP認証で作業効率向上とコスト低減 |
| 兵庫県 | 株式会社トーヨー養父農業生産法人 代表取締役 岡田吉充 | 省力化及び就労環境整備における作業効率の向上 |
| 兵庫県 | 藤本 章博 | 業務の効率化と生産品目を増やすことにより、売上げの増加を図る。 |
| 兵庫県 | 株式会社トーホーフาร์ม | コロナ禍で取り組むべき働き方改革の推進 |
| 兵庫県 | 柴山 厚志 | WEBと加工品の活用等による販路開拓とそれに伴う面積拡大 |
| 兵庫県 | 有限会社 上岩岡農芸 敦見 昌弘 | 農業用ハウスの環境制御の自動化による省力化 |
| 兵庫県 | 有限会社コサージュ・大小島 等 | ハウス栽培で作業の省力化と生産力アップ |
| 兵庫県 | 竹内 康久 | 環境制御システムでハウス管理作業の省力化、接触機会の削減、。 |
| 兵庫県 | 安原 光寿 | 環境制御による育苗ハウスの省力化と花壇苗直売の強化 |
| 兵庫県 | NPO法人棚田LOVER's・永菅裕一 | 大豆脱穀機・低温貯蔵庫の購入による省力化と規模拡大 |